資料２３

令和元年７月３１日
子ども家庭部保育課

小金井市保育の質ガイドライン
簡易アンケート調査
結果報告書

令和元年７月３１日

小金井市

目次

１．調査の概要 1
２．調査結果の取り纏め 3
（１）保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか 3
（２）保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 4
（３）提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか 5
（４）保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか 6
（５）保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか 7
（６）安全対策が十分取られていると思うか 8
（７）行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か 9
（８）子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか 10
（９）施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか 11
（10）職員の接遇・態度は適切か 12
（11）病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか 13
（12）子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか 14
（13）子どもの気持ちを尊重した対応がされているか 15
（14）子どもと保護者のプライバシーは守られているか 16
（15）保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか 17
（16）利用者の不満や要望は対応されているか 18
（17）外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか 19
（備考）調査 17 項目全般 20
３．アンケート集計結果 21
（１）保護者簡易アンケート集計 21
（２）施設長・保育士アンケート集計 22
４．自由記載欄 23
（１）施設長への簡易アンケート集計結果 23
（２）保育者への簡易アンケート集計結果 42
（３）保護者への簡易アンケート集計結果 66

１．調査の概要

（１）調査の目的

小金井市における「保育の質のガイドライン」策定に当たり、市内の保育所等における保育の特色や強み等を把握するため簡易アンケートを実施しました。

アンケート項目は、「とうきょう福祉ナビゲーション　福祉サービス第三者評価　保護者アンケート調査」と同一の項目とし、保育者側の視点で、それらの項目に対する特色や強みなどを中心に調査しています。

（２）調査対象・回収状況・調査項目

		施設長	保育士	保護者
調査対象	認可保育所	各園１名	各園２名	
	小規模保育所	各園１名	各園１名	保護者全員
	家庭的保育事業所	各園１名		
回収状況	対象者数	41	75	118
	有効回答者数	38	54	69
	有効回収率	92.7%	72.0%	58.5%
調査項目	第三者評価保護者アンケート項目	○	○	○
	小金井の保育の課題や市に期待するもの	○	○	
	小金井市らしい保育の特色として大切にしたいこと	○	○	

注）*1：小規模保育所については、特定地域型保育事業のうち、家庭的保育事業所を除く。

*2：市として把握している保育所のみを対象とする。

*3：認可・認証保育園児童の保護者については、とうきょう福祉ナビゲーション「福祉サービス第三者評価」保護者アンケート調査を使用するため、今回は対象としない。また、認証以外の認可外保育所及び家庭的保育事業所児童の保護者は、市として把握していないため対象としない。（要確認）

（３）調査期間

平成 31（2019）年４月 20 日頃から令和元（2019）年５月 10 日

なお、連休明けの５月７日頃に各施設長や職員より（主任）保育士、保護者に対して再確認頂くよう依頼しており、最終的な期限は５月 15 日としました。

（４）集計方法

①集計した数値（%）は小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が１つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。

②回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の

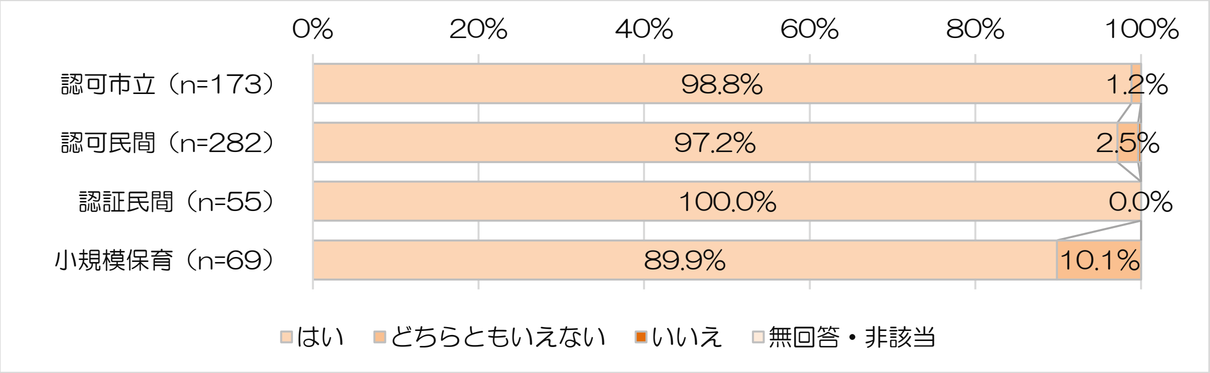
割合を合計すると 100.0％を超える場合があります。
③クロス集計では、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは適宜除外しています。
④アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。

※　回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

2．調査結果の取り纏め

（１）保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		81.6%	特に力を入れている割合		66.7%
自	野外・自然を通して	12 件	自	遊びや生活を通して	8 件
由	個々の様子を観察して	5 件	由	野外・自然を通して	7 件
記	季節の行事の取り入れ	3 件	記	保育計画に取り入れ	6 件
載	世代間交流を通して	3 件	載	友人との交流を通して	3 件

③保護者アンケート自由意見（例）

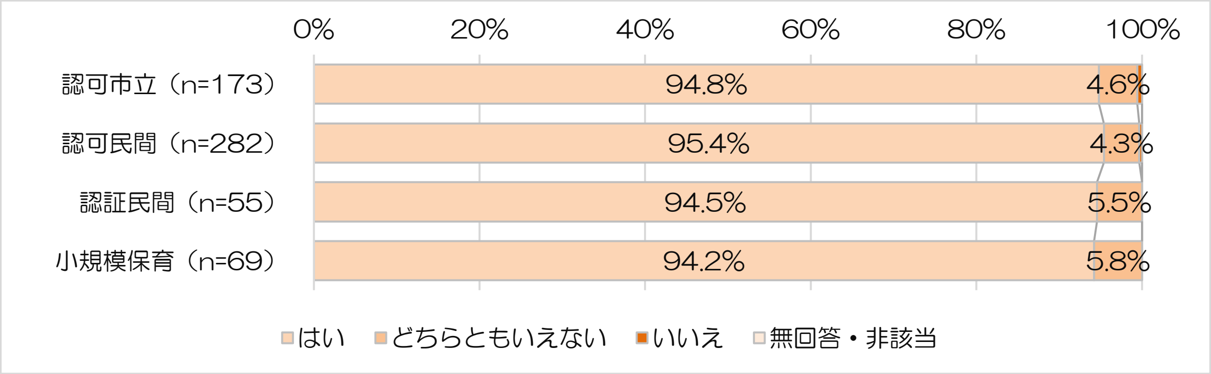
「子どもを中心に、遊びをしっかりしてくれている」、「子どもの自由な発想や、遊びを大事にされてるように感じます。また担任以外の先生方も子どもの名前を把握して、声をかけて下さるので、安心しています」、「成長をよく見てくれているし、保育計画もしっかり説明してくれ、保護者に子どもへの視点を提供してくれている」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、「（２）子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」との質問とともに、施設長・保育士とも特に力を入れており、保護者の評価も高く、特に認証民間保育所と認可市立保育所では非常に高い評価となっています。
野外活動や友人や世代間の交流を通じて「子どもの心身の発達に役立っている」様子が伺えます。

（2）保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		86.8%	特に力を入れている割合		81.5%
自	自主性・主体性を通して	11 件	自	保育計画によって	13 件
由	共感や寄り添うことで	5 件	由	環境を整備することで	5 件
記	発達段階に応じて	3 件	記	遊具・玩具によって	4 件
載	保育計画によって	3 件	載	共感や寄り添うことで	2 件

③保護者アンケート自由意見（例）

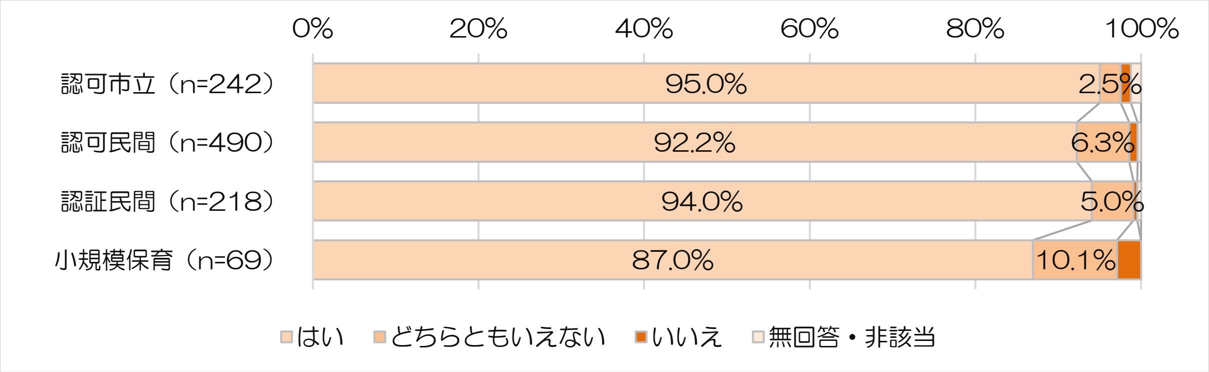
「子どもの遊ぶおもちゃにこだわっていて良いと思う」「晴れの日は外遊び、雨の日でも様々に工夫した遊びをしてくださいます」「遊びやおもちゃをいろいろ工夫して考えてくれているなと思います」「屋内・外の活動をたくさん実施していただいています」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、「（１）子どもの心身の発達に役立つ活動を行っているか」との質問とともに、特に力を入れている施設長・保育士が大変多く、また、保護者の評価も高くなっています。施設長は自主性・主体性を尊重することで、また、保育士は計画に基づき「子どもが興味や関心を持てるように保育活動を行っている」様子が伺えます。

（３）提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		76.3%	特に力を入れている割合		66.7%
自由記載	アレルギー対策をする	10 件	自由記載	アレルギー対策をする	12 件
	発達段階に応じて	8 件		献立計画を通じて	7 件
	献立計画を通じて	4 件		発達段階に応じて	7 件
	その他	3 件		食事の方法について	6 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「食材にも気を遣ってくれるので安心している。形態も子どもに合わせたサイズ、やわらかさに工夫してくれていると思う」「素材にもこだわっていて、大変安心できる」「いろいろ配所してもらったり、教えてもらっている」「毎日連絡帳に『おかわり』とのみ記載で、何をどの位食べているか不明」等の声がありました。

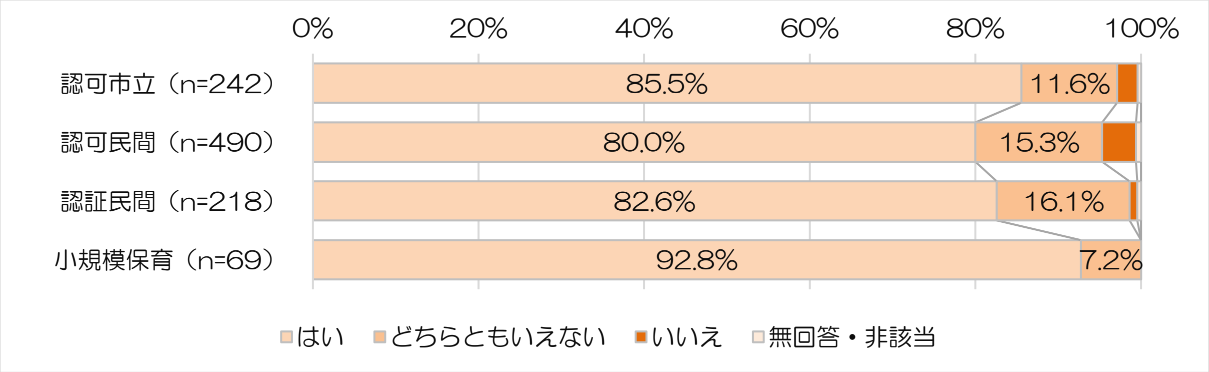
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長及び保育士が多く、また、保護者からの評価もとても高くなっています。

先ずはアレルギー対策をしっかり行った上で、児童の発達段階に応じて献立計画を立ててるなどして、「子どもの状況に十分配慮した食事が提供されている」ものとみられます。

（４）保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		76.3%	特に力を入れている割合		72.2%
自	四季・自然を取り入れている	11 件	自	外遊びを重視している	15 件
由	地域交流を図っている	8 件	由	地域交流を図っている	14 件
記	外遊びを重視している	5 件	記	四季・自然を取り入れている	4 件
載	その他	1 件	載	その他	2 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「今まで興味なかったことも外で遊ぶことにより、自分からやるようになったり、興味を持って話すようになった」、「園庭やプールで日々体を動かして遊ぶことができているが、公園等園外に出かけることは少ない」、「自然と関わる活動もあるが、もっと増やしてほしい」等の声がありました。

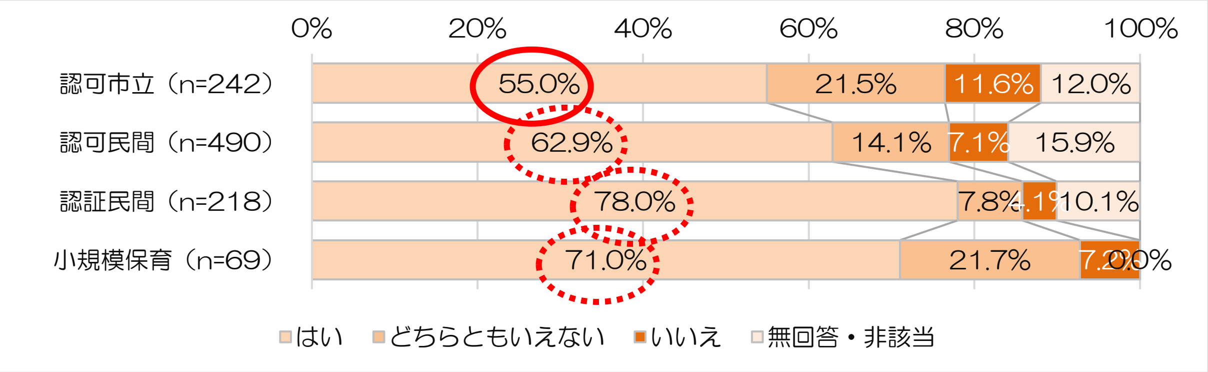
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長及び保育士が多く、また、保護者からの評価も高く、特に小規模保育所で高くなっています。

小金井の自然の中で四季を感じられるよう、外遊びを重視しているとともに、老人ホームや商店街との交流を積極的に行っている保育所もあり、「身近な自然や社会と十分関わっている」様子が伺えました。一方、一部の保護者からは「自然と関わる機会をもっと増やして欲しい」との声もありました。

（5）保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		63.2%	特に力を入れている割合		42.6%
自	急なニーズに対応している	7 件	自	適宜柔軟に対応している	11 件
由	適宜柔軟に対応している	6 件	由	時間制約があり難しい	5 件
記	事前に設定している	5 件	記	急なニーズに対応している	3 件
載	スポット延長に対応している	4 件	載	事前に設定している	3 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「対応はしてもらえますが、気持ちよくとは言えないようなときがあります」「6 時以降の延長保育を利用したい時、ひと月ごとに申請が必要な為、急な延長利用が出来ないのが困ります」「職員に無理をしていただき対応してもらっているので、申し訳なく感じる」「急な残業がまだないので、よくわからない」等の声がありました。

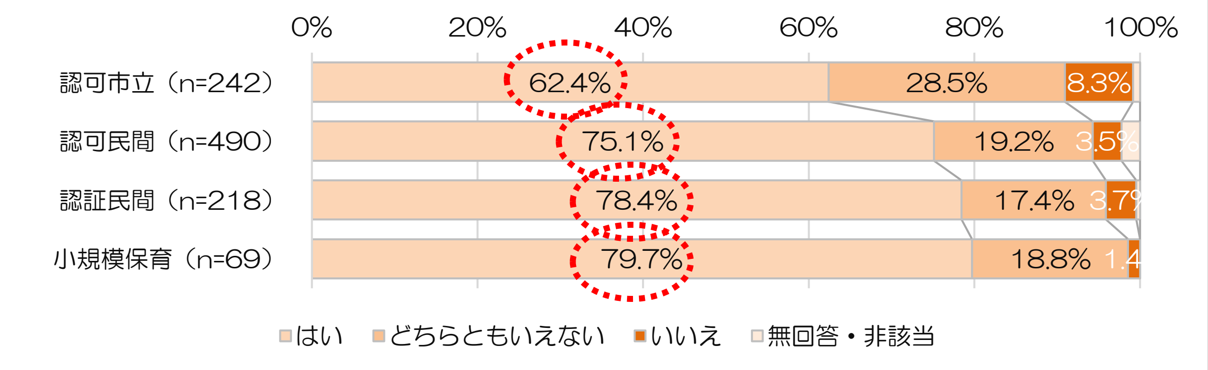
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている保育士の割合が特に低くなっています。また、保護者からの評価でも必ずしも高くなく、民間の認証保育所では比較的高い評価を得ているものの市立保育園では高い評価とはなっていません。

急なニーズに対応している保育所もありますが、保育士からは「臨機応変の対応はなかなか難しい」との本音も聞こえてきます。女性の就労率がますます増え、かつ正社員での活躍の機会が増える傾向にある中、職場の子育て家庭への十分な配慮とともに、多様化する保育時間ニーズへの柔軟な対応が課題になっています。

（６）安全対策が十分取られていると思うか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		73.7%	特に力を入れている割合		59.3%
自由記載	訓練を行っている	12 件	自由記載	注意し配慮している	17 件
	注意し配慮している	6 件		防犯対策を取っている	6 件
	対策会議を行っている	4 件		対策会議を行っている	4 件
	その他	1 件		その他	2 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「避難訓練、不審者訓練は頻繁に行われている」「危険じゃないか？という声があれば、古いことを理由にせず、すぐに対応してくれます。また、その経過も必ずお便りで報告してくださいます」、「門がダイヤル式のチェーンロックなことなどが少し心配である」「マンションの一角にある園であるため不審者の侵入を懸念している保護者が多くいる」等の声がありました。

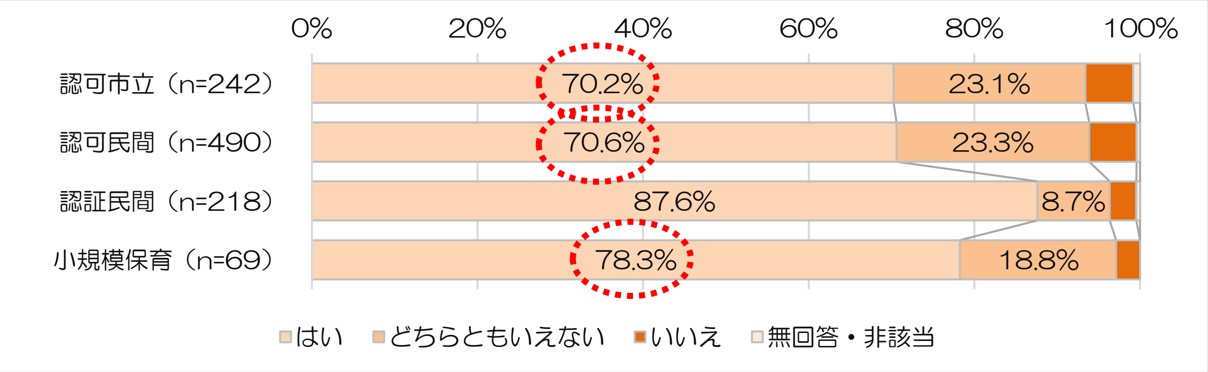
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長が 4 人に 3 人の割合であるの対して、保護者が「安全対策が取られている」と考えているのは約 7 割となっており、若干の認識ギャップがみられます。保護者からの評価では、小規模保育所では比較的高い評価を得ているものの、市立保育園では相対的に高い評価とはなっていません。

保育所では対策会議を行い、避難訓練や不審者訓練も頻繁に行われているものの、世間では児童が巻き込まれる事件・事故が後を絶たないこともあり、安全面で懸念を持つ保護者がいるとみられます。いっそうの安全対策を講じるとともに、日頃の安全対策について保護者に対する緊密な説明が求められているとみられます。

（７）行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		52.6%	特に力を入れている割合		48.1%
自由記載	曜日を配慮している	11 件	自由記載	曜日を配慮している	9 件
	意見を聴取している	4 件		小学校の行事を配慮している	7 件
	回数を抑制している	2 件		日程を配慮している	6 件
	その他	4 件		その他	3 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「基本的土曜日なので、大きなイベントは行きやすいです」「保育参観と面談を別日で対応してくれる。保育参観可能な期間が長い」「平日の日中の懇親会が年２回程度開催されるが、13 時開催となると１日休まないと行けない」「大切な保護者会や災害訓練程度で助かっている」等の声がありました。

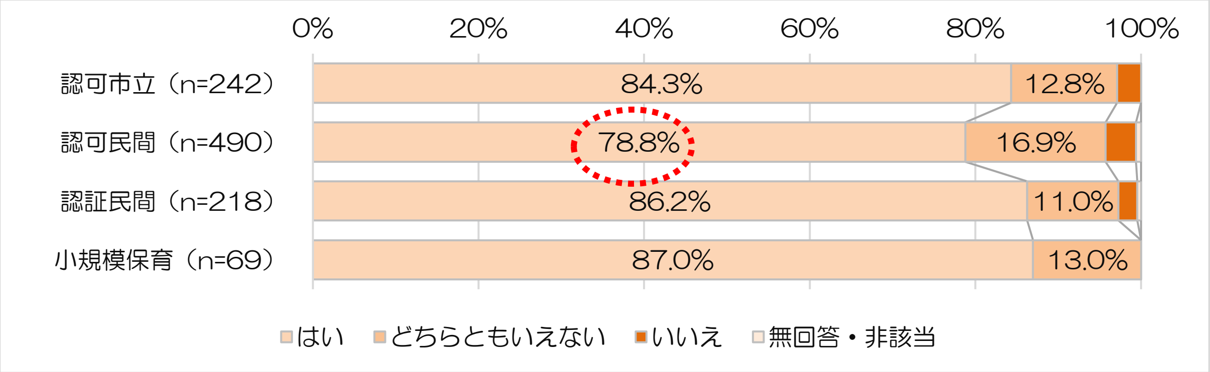
④本項目の講評

本項目は、施設長・保育士ともに特に力を入れている方は半数程度と低めになっておりいます。保護者からの評価も概ね高くない状況ですが、民間の認証保育所においては「保護者の状況に十分配慮されている」と回答した保護者は約 9 割に上ります。

開催する曜日や近隣の小学校の行事を配慮の上、日程が設定されている保育所が殆どとみられます。多くの行事を望む保護者は少数派で、数多くの行事を望まない保護者の方が多いようにみられます。

（８）子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		78.9%	特に力を入れている割合		72.2%
自由記載	連絡帳を活用している	15 件	自由記載	緊密に会話している	13 件
	ニーズを聴取している	4 件		連絡帳を活用している	9 件
	緊密に会話している	4 件		よく面談している	4 件
	家庭の事情を配慮している	2 件		その他	9 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「連絡帳に丁寧に書いてくれる」「先生方、経営層の先生ともに信頼できる方々がそろっています」「担任の先生だけでなく、経営層の先生も子どもについて把握してくださっていることはすごいと思います」「気軽に相談でき、アドバイスしてもらっている」等の声がありました。

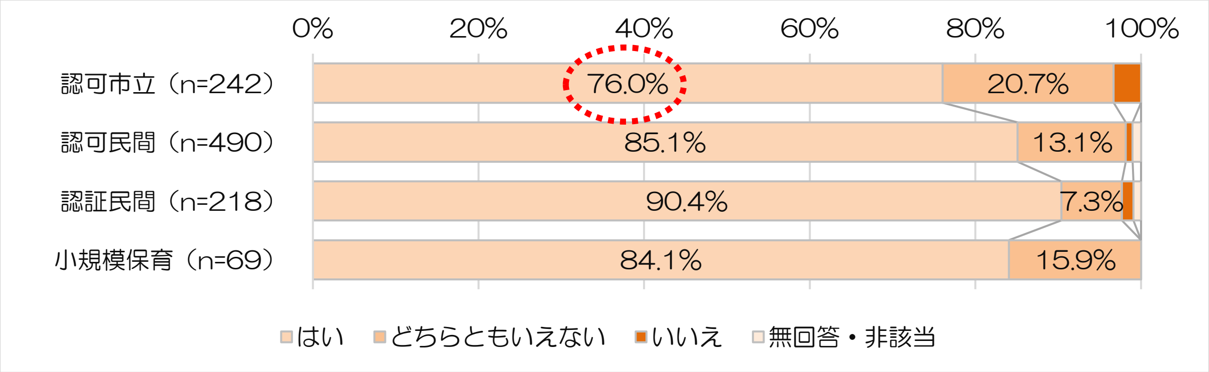
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長・保育士の割合が大変多く、また、保護者の評価も高くなっています。

保育所では連絡帳や日常の会話を通して、保育所における児童の様子を伝えるとともに、育児に関する相談事に適切に対応している様子が伺えます。最近の未就学児の保護者調査によると、育児に関する悩みの相談相手として、友人・知人の割合が減って教育・保育者の割合が増えてきており、かかる専門職の役割がさらに重要になっています。

（９）施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		65.8%	特に力を入れている割合		48.1%
自	日頃、心掛けている	11 件	自	定期的に確認している	16 件
由	玩具を消毒している	4 件	由	日頃、心掛けている	5 件
記	定期的に確認している	3 件	記	その他	3 件
載	―	―	載	―	―

③保護者アンケート自由意見（例）

「清潔さには全く問題はない。部屋の使われ方がフレキシブルなのは良い点だが、子供の遊ぶスペースが雑然としていることが多い」「階段等に埃が目立つ。掃除のひとを入れて欲しい」「中に入る機会がないので不明。活動の記録写真では問題ないように感じる」等の声がありました。

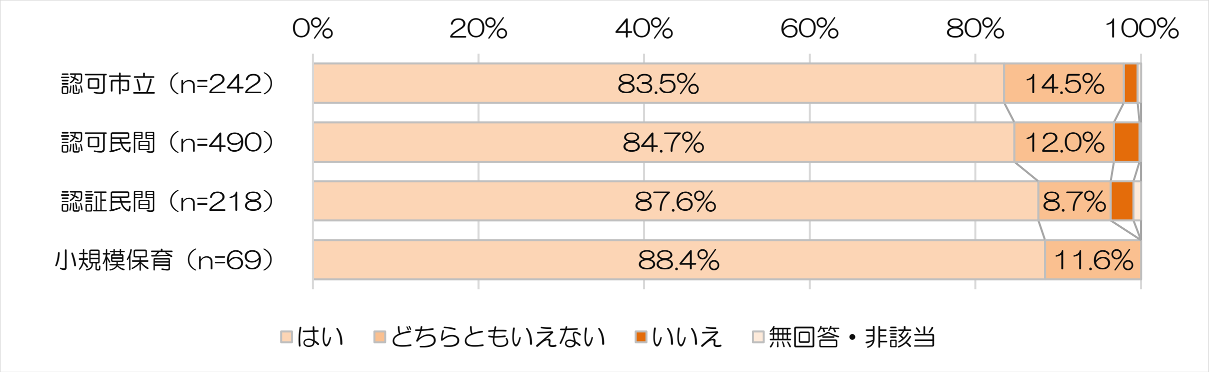
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長・保育士の割合がそれ程多くなく、また、保護者の評価も平均的になっています。市立保育所では、施設の老朽化影響しているためか比較的高くない保護者評価となっています。

日頃の心掛けに加えて、定期的な確認を通して「施設内の清掃、整理整頓を行き届かせている」様子が伺えます。

（10）職員の接遇・態度は適切か

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		63.2%	特に力を入れている割合		55.6%
自由記載	職員研修を行っている	6 件	自由記載	日頃の所作を心掛けている	7 件
	職員心得を周知している	4 件		職員研修を行っている	6 件
	働きやすい職場づくり	4 件		職員心得を徹底している	5 件
	職員の連携を図っている	3 件		働きやすい職場づくり	4 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「特に不適切には感じません」「清潔で動きやすい服装をしています」「子供が好むようなキャラクターのエプロン、靴下を着用している事もあり、見ていて好感が持てます」「エプロンをせず、トレーナーやスウェットで仕事をしている保育士がいるのが気になります」等の声がありました。

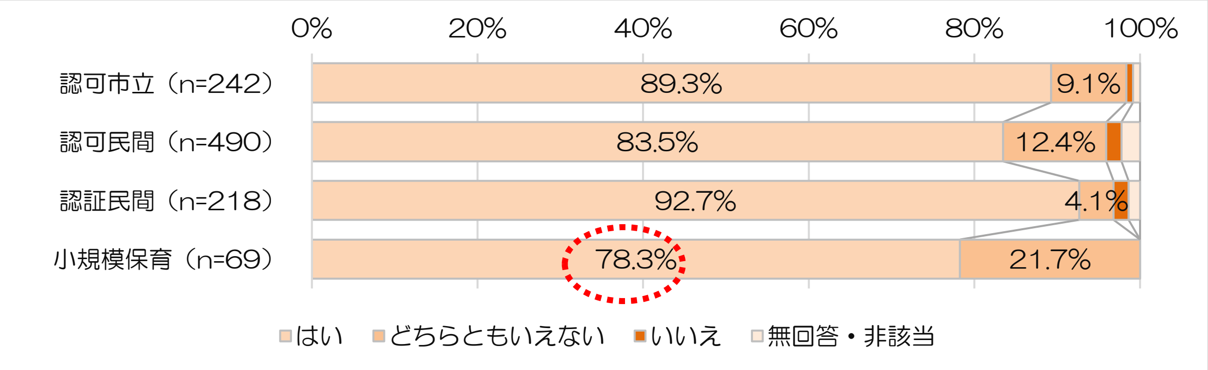
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長・保育士の割合、及び保護者の評価も平均的になっています。

職員研修や職員心得等によって「適切な職員の接遇・態度」に配慮している様子が伺えます。ここ数年で処遇改善手当てや ICT の導入により働きやすい職場環境を整備することで、保育士がより本来業務に注力できるようにする配慮がみられます。

（11）病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		76.3%	特に力を入れている割合		61.1%
自由記載	保護者へ適切に報告している	14 件	自由記載	保護者へ適切に報告している	7 件
	看護師が適切に対応している	5 件		職員の連携を図っている	6 件
	マニュアルにて対応している	5 件		マニュアルにて対応してい	6 件
	職員の連携を図っている	3 件		看護師が適切に対応している	4 件

③保護者アンケート自由意見（例）

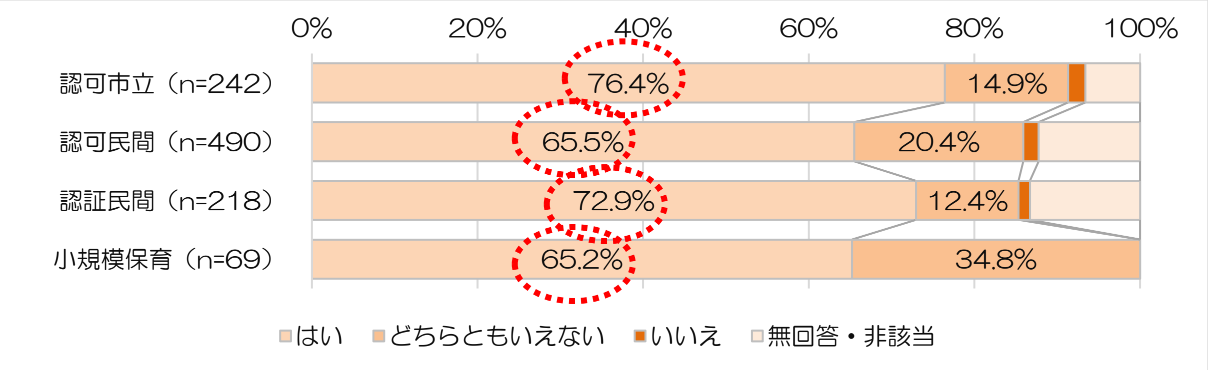
「少しの変化も心配して、必ず報告してくれる」「体調不良時も柔軟に連絡を入れ、対応してくれ助かっています」「ケガがあった時も、小さなことでも知らせたり、父母両方にお知らせして下さったり、きめ細かいです」「念のためと早めに連絡を下さり、病院が空いている曜日（周囲の病院の休診日）を考慮してくれたりします」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている施設長の割合が高く、また、保護者の評価も高くなっています。なお、小規模保育所で「信頼できる」が 8 割を下回っているのは、「入所後間もなく判断できない」との意見が多いことによるものです。
保護者に対する迅速できめ細かい説明とともに、看護師等の専門職による対応やマニュアル等の態勢が整備されており、職員間の連携により的確に対応されている様子が伺えます。

（12）子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		57.9%	特に力を入れている割合		57.4%
自	傾聴・共感で対応している	7 件	自	保護者へ適切に報告している	11 件
由	対応振りを事前説明している	3 件	由	傾聴・共感で対応している	8 件
記	適切に見守るようにしている	3 件	記	適切に見守るようにしている	5 件
載	その他	8 件	載	その他	5 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「いじめと言えるほどの話は聞くことはないですが、諍いには年齢に応じた対応をしていると思います」「小さなことでも口頭と連絡帳で知らせてくれる」「職員によって差があると思う」「職員が忙しすぎて情報が親まで伝わりきれていない気がする」「職員が気づくのが遅く、見ていなかったという状況が見られるので不安あり」等の声がありました。

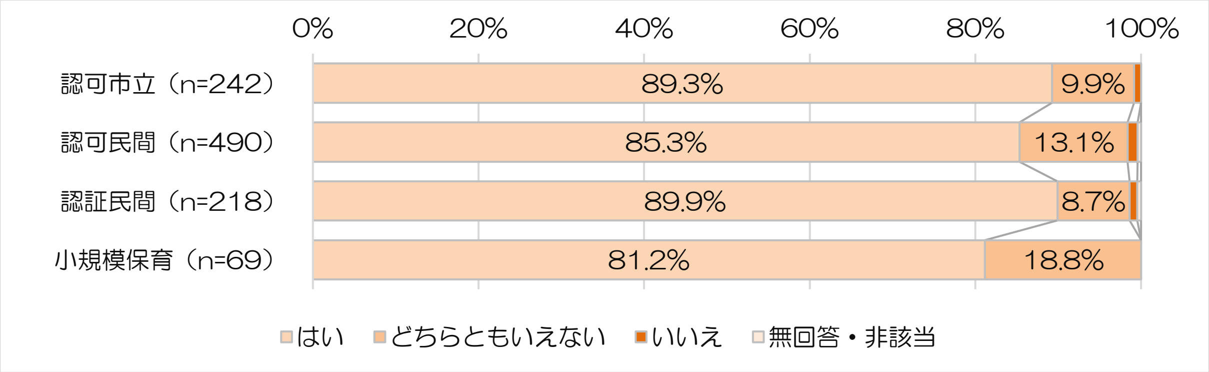
④本項目の講評

本項目は、施設長・保育士とも特に力を入れている割合が高いほうではなく、また、保護者の評価も必ずしも高い方ではありません。なお、小規模保育所で「信頼できる」と回答した保護者の割合が高くないのは、「入所後間もなく判断できない」との意見が多いことによるものです。

子ども同士のトラブルには傾聴や共感を以って対応したり、近くで適切に見守ることで適切に対応している様子が伺えます。一方で、職員の多忙な職務から必ずしも目が行き届かないといった一面も垣間見られます。

（13）子どもの気持ちを尊重した対応がされているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		73.7%	特に力を入れている割合		72.2%
自由記載	気持ちに寄り添っている	12 件	自由記載	気持ちに寄り添っている	17 件
	気持ち主体性を尊重している	8 件		気持ち主体性を尊重している	8 件
	自己肯定を大事にしている	2 件		自己肯定を大事にしている	2 件
	その他	3 件		その他	5 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「こうしなければ、という押し付けのない、素敵な保育をしていると思います」「子どもの言動には全て理由があるという子どもの気持ちを一番に考えてくれている」「子どもの目を見ながら、しっかり個として接してくれています」「子どもの様子から先生や園が大好きなのはわかるので、先生方が良くしてくださっているのだと感じて信頼しています」「職員によって異なる」等の声がありました。

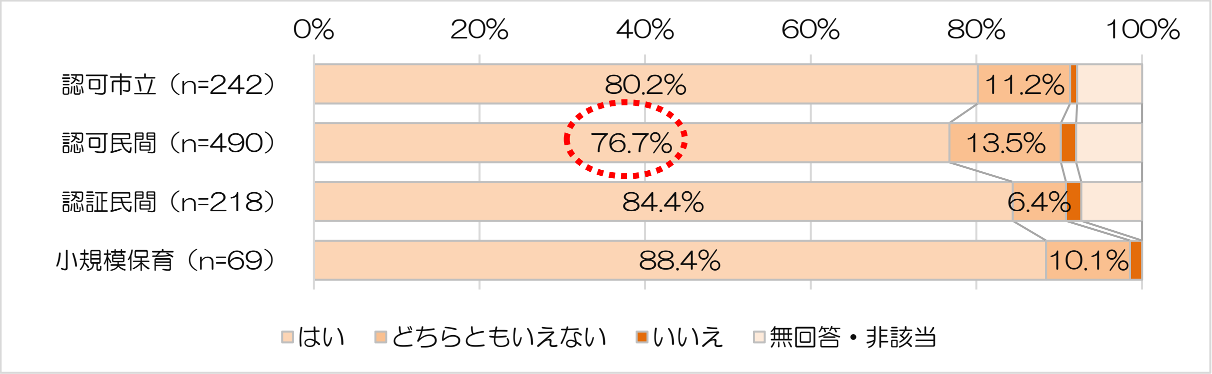
④本項目の講評

本項目は、施設長・保育士とも特に力を入れている割合が高く、また、保護者の評価も高い方です。

子ども気持ちにしっかり寄り添い、主体性や自己肯定感を尊重した、適切な保育が実践されている様子が伺えます。

（14）子どもと保護者のプライバシーは守られているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		60.5%	特に力を入れている割合		46.3%
自由記載	日頃の心掛けで遵守している	9件	自由記載	日頃の心掛けで遵守している	14件
	規定を遵守している	8件		職員間で確認している	2件
	職員間で確認している	2件		規定を遵守している	2件
	その他	4件		その他	3件

③保護者アンケート自由意見（例）

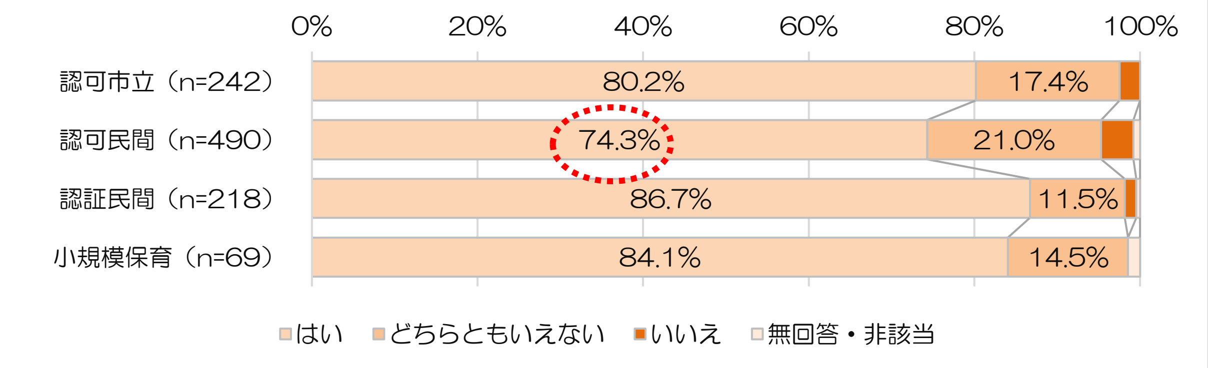
「守られていると思う」「おもらし等を伝える時には、ちょっと別室へ等配慮してくれている」「しっかり対応してくれていると思う」「他の子どものプライバシーに関することをちょっとした会話の中で聞いてしまったことがある」「メモが置かれたままになっているところを目にしたことがあります。もう少し配慮すべきだと思います」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、施設長・保育士が特に力を入れている割合、また、保護者の評価も平均的です。プライバシー保護の規定を遵守するとともに、日頃の心掛けや職員間の連携によって概ねプライバシーが守られている様子が伺えます。

（15）保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		63.2%	特に力を入れている割合		51.9%
自由記載	保護者会を活用している	10 件	自由記載	保護者会を活用している	10 件
	連絡帳を活用している	6 件		お知らせを活用している	5 件
	しおりを活用している	3 件		しおりを活用している	2 件
	ー	ー		その他	4 件

③保護者アンケート自由意見（例）

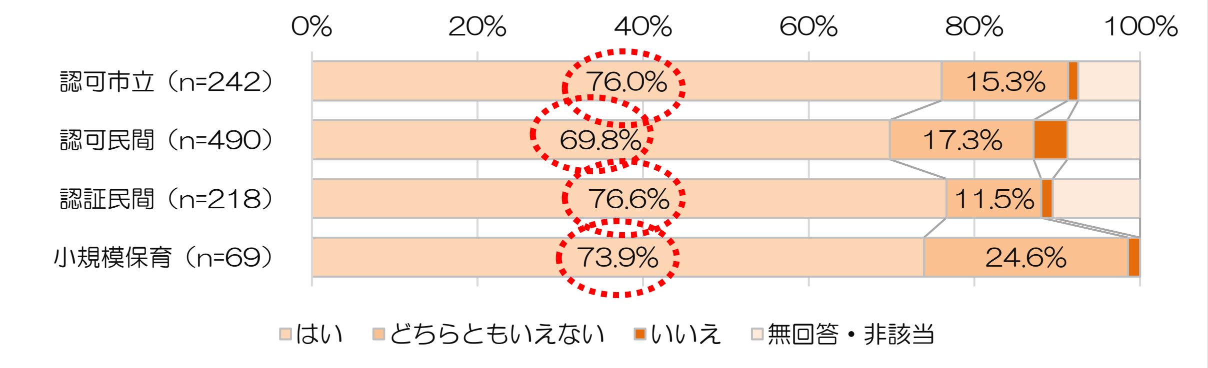
「保護者会の際や手紙による説明がある」「日常的に行っていることで知らない部分もあるが、特に支障はありません」「毎月配られる指導計画や、年度末に個別に園での様子を記してまとめてくれたものをくれ、とても丁寧に見てくれていると感じます」「毎月配られる保育計画の見方がよくわかりません」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、施設長・保育士が特に力を入れている割合、また、保護者の評価も平均的です。保護者会にて説明するとともに、連絡帳やしおり等よって概ねわかりやすい説明が行われている様子が伺えます。

（16）利用者の不満や要望は対応されているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		63.2%	特に力を入れている割合		44.4%
自由記載	保護者の意見を傾聴している	9 件	自由記載	保護者の意見を傾聴している	12 件
	職員会議を活用している	6 件		上長に報告している	4 件
	意見箱を活用している	2 件		意見箱を活用している	2 件
	上長に報告している	ー		アンケートを実施している	2 件

③保護者アンケート自由意見（例）

「不満は感じたことはありませんが、要望はかなり対応してもらっています」「きちんと対応してもらえない事があり、不信感を抱いたことがあります」「対応してもらえる場合と、理由もなく先送りされる場合があります」「要望を伝えてダメだった場合、理由を伝えてほしいです」等の声がありました。

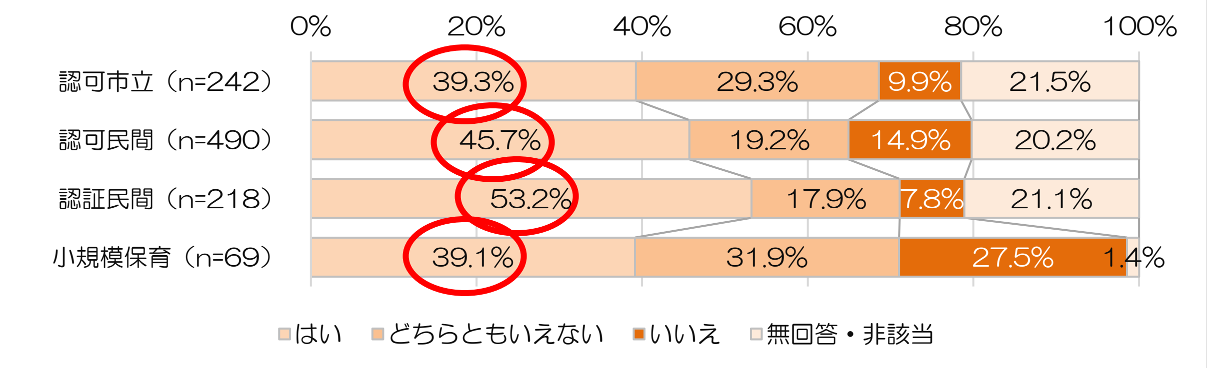
④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている割合は、施設長が 63.2%、保育士が 44.4%と 20 ポイント近いギャップがありました。また、保護者の評価は平均的ですが、民間の認可保育所では相対的に高くない評価となっています。

保護者の意見を傾聴するとともに、職員間で情報を共有することで適切に対応している様子が伺えます。一部の保育所では意見箱やアンケートを実施して、保護者の意見を広く集めて対応しようとしています。

（17）外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか

①保護者アンケート結果



②保育者アンケート結果

施設長			保育士		
特に力を入れている割合		39.5%	特に力を入れている割合		20.4%
自由記載	懇談会を活用している	3 件	自由記載	入園のしおりを活用している	8 件
	入園のしおりを活用している	3 件		その他	8 件
	お便りを活用している	2 件		―	―
	掲示板を活用している	2 件		―	―

③保護者アンケート自由意見（例）

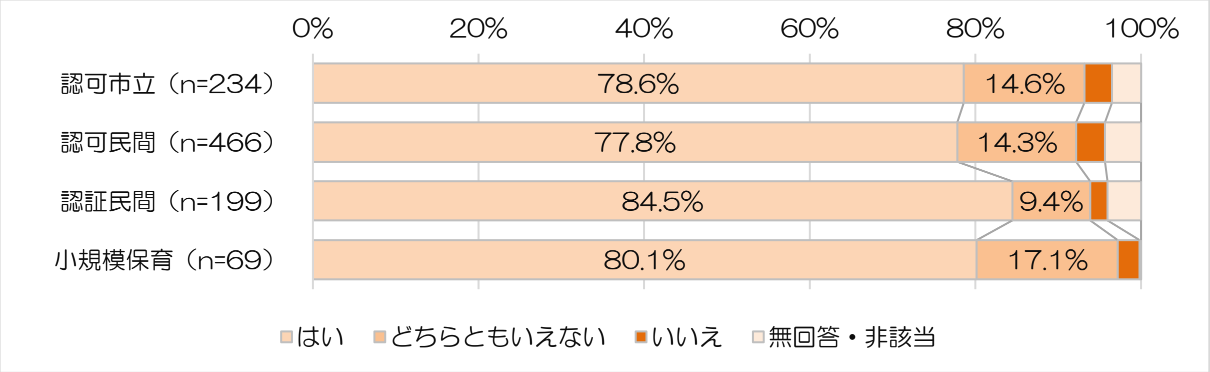
「年度初めに担任の先生から説明があった」「入園のしおりに記載がある」「小さい文字での文章を玄関に貼ってあるのは知っています」「わかりません」「方法がわからない」「おぼえていません」「苦情窓口があることを広報するのは行政の役目です」等の声がありました。

④本項目の講評

本項目は、特に力を入れている割合は、施設長・保育ともに今般の 17 項目の中では最も低くなっています。また、保護者アンケートでは「外部の苦情窓口に相談できることを伝えられている」との回答は 4 割程度に留まり、特に市立保育所や小規模保育所で低くなっています。苦情の相談窓口を活用することで福祉サービスの適正化・質の向上に繋がるものと期待されることから、外部の苦情窓口を保護者に十分周知することが求められます。

（備考）調査 17 項目全般

①保護者アンケート結果（単純平均）



②本項目の講評

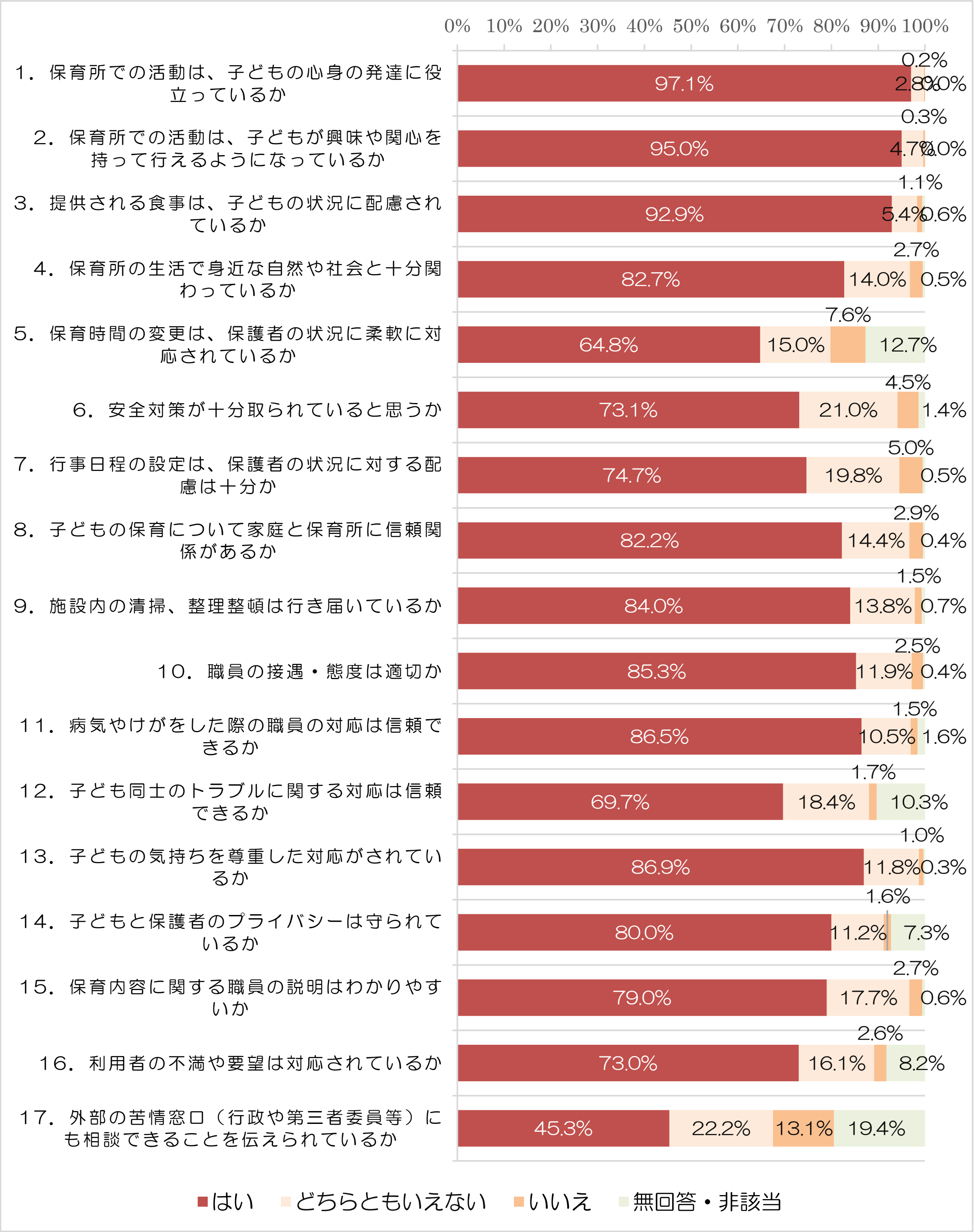
今般の 17 項目を概観してみると、保護者アンケートで評価が最も低かったのは「外部の苦情窓口について伝えられているか」で、施設側にその認識が低いことによるものとみられます。次に低かった項目は、「保育時間の変更は保護者の状況に柔軟に対応されているか」、「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか」となっており、保育士の非常に多忙な勤務状況や勤務体系を反映しているものとみられます。特に首都圏においては極めて深刻な保育士不足の状況が続いており、今後もいっそうの不足がみこまれているところ、国や都によるいっそうの待遇改善を求めるとともに、地域ぐるみの保育士確保策が望まれます。

保護者アンケートにおいて、保育施設別での大きな格差はみられなかったものの、認証保育所で相対的に高く、市立・民間の認可保育所では相対的に低くなっています。なお、小規模保育所については、調査が年度初に行われたため「未だ判断できない」との回答が多くみられ、アンケート調査の時期については課題が残りました。

３．アンケート集計結果

（１）保護者簡易アンケート集計

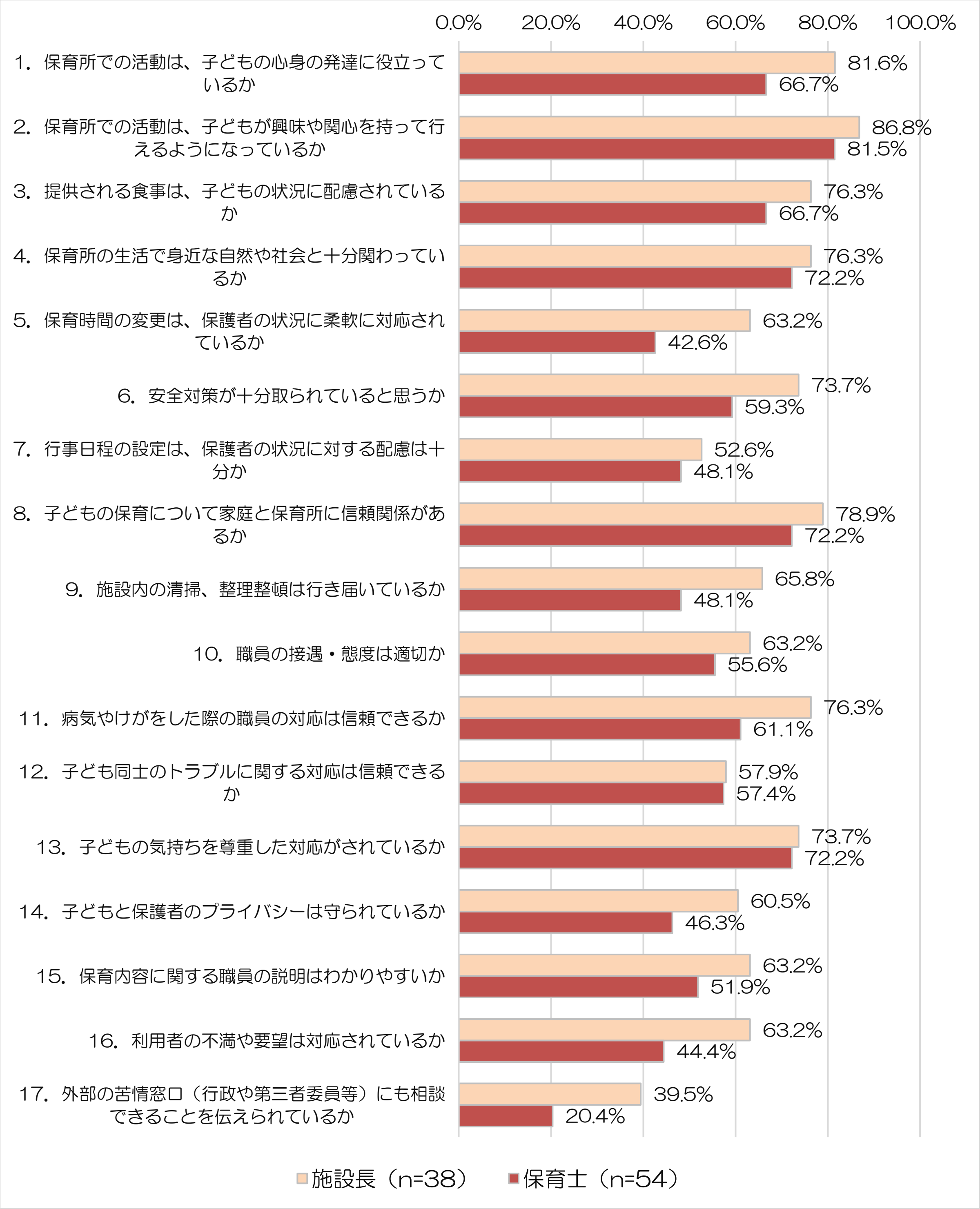
①保育の質に関する評価（認可・認証・小規模保育所の合計、n=1,019）



（資料）認可・認証保育所については「とうきょう福祉ナビゲーション　福祉サービス第三者評価　保護者アンケート調査」を集計

（2）施設長・保育士アンケート集計

①特に力を入れている項目（複数回答）



４．自由記載欄

（１）施設長への簡易アンケート集計結果

①　第三者評価の調査項目

（１）保育所が行う子どもの心身の発達に役立つ活動について　24 件

◇野外・自然について・・・12 件

・散歩を中心にした身体づくりやリズム、わらべうたの活動を楽しく参加しています。

・戸外遊びの充実。室内遊びの充実。

・園庭での運動遊び、集団遊び、ごっこ遊び、水遊び、どろんこ遊び。乳児専用園庭もあり。人とかかわりながら体を動かして五感をフル稼働して遊ぶことが、保育園ならではの基本的な活動だと思う。

・戸外でも室内でも、発散ができるような活動を行っている。

・散歩でいろいろな場所を歩き、体で経験する事を大切に

・雨の日以外は週案ねらいに合った公園へ行き、楽しめるようにしている。室内では 5 歳児がゲームのルールを下の子に教えたりする。

・公園や近隣、乳幼児施設で出会うお友達、大人との交流を通じて人との信頼関係を育む、育児サークル、交流会

・体力を養うため自然に触れ感性豊かに育って欲しいと晴れの日は園庭だけでなく遠くの公園まで散歩に行っている

・毎日、公園、園庭にて外で遊ばせています。土を触ったり、大きい子は縄とびなど行っています。

・野外保育をしている。歩く・遊ぶを子どもの生活の中心に、農作業や手仕事をくみ入れている。

・毎日戸外に散歩に出ています。雨が降っても合羽を着て、安全に配慮しながら戸外に出ることにより、身体的・精神的発達を促しています。また保育室内には、自由に選択できる、豊富なおもちゃを取りそろえ、心を満たすまで取り組めるよう支援。室内では集団と個々の活動をおりまぜ、教育的観点から活動を実施。

・外遊びを中心に保育内容に工夫する。

◇個々の様子について・・・５件

・乳児保育（0～2 歳児）は担当制保育を導入し一人ひとりの育児行為を丁寧にかかわり、心の安定と自立を促す。

・全体の計画を元に、年間の指導計画を作成し保育行っている・子どもの特徴や課題を話し合いその年のテーマを決め保育を行っている・遊びだけでなく、食育や、保健指導等様々な角度から子どもの健康的な心身の発達について考え保育の中で実践している

・子ども一人ひとりの発達の様子や家庭での様子などは、保護者との日々の会話や連絡帳を通じて把握し、児童表に記録しています。子ども置かれている環境に応じて、また発達の状況に配慮した保育に取り組んでいます。全体的な計画は、年齢別に健康・言語・人間関係・表現・環境など、養護、教育の各領域を踏まえて作成しています。年間指導計画・月案など期間に応じて落とし込み、職員会議で話し合い、反省から次の保育の計画に繋げるようにしています。

・子どもの発達に合った保育内容と計画・友だちと協力して行うことや達成感を味わう機会としての行事の設定・子どもが主体的に生活ができるように流れる日課をしている

・子ども一人一人を観察して何をすれば伸びるかを考え保育している。発達心理の研修会に月１回参加したり、講師に直接訪問してもらいアドバイスを受けている。

◇季節の行事について・・・３件

・伝統行事、季節の行事を取り入れ、やさしさ、思いやり、感謝の心を育むように計画。

・季節や行事、自然や生き物、絵本を通してさまざまなことを知ってもらう。お友だちを大切にする。

・毎月季節の行事の体験をする。工作、お絵かき、お料理、種まき、フルーツ狩、手形とり、着物などを通して

◇世代交流について・・・３件

・乳児からのたてわり保育　乳児担当制　遊びの環境づくり

・他に対して（子ども同士、保護者）興味を持っているようにしたい。

・異年齢児との合同保育（集団遊び）によりこども同士のつながり、上下関係、信頼感、自主性、思いやりが生まれる。絵本の読み聞かせも！

◇その他・・・１件

・五感を通してのびのびと活動できるような季節の遊びを取り入れて、健康で丈夫な身体づくりを実践している。毎日の散歩、室内外での遊び、大学との連携活動（造形あそび、科学遊び、運動遊び）その他、わらべ歌やリトミックなど

（２）子どもが興味や関心を持って活動を行えるようにすることについて　24 件

◇自主性について・・・11 件

・身のまわりの自然物を利用して、お子さまが創造的にあそべるように配慮。

・室内では、コーナー遊びを設定し、子どもたちが、自分の好きな場所で満足するまで遊びを遊びこめる環境を大切にしている。

・子どもが、今、何に興味を持ち、関心を寄せているかをよく観察し、遊びの環境を構成していっている

・好きな遊びを遊べるように玩具をすぐに出せるようにしています。

・自主的個別遊びを重視し、個々の発達や興味に応じて自分で遊びを選べる ような遊びの環境づくりに力を入れている。また、じっくり遊び込めるよう日課や保育室の家具等に配慮している。

・自由に絵本を手にとるコーナーや自然物と触れあえるコーナーを作っている

・子どもがそれぞれ自分の好きな遊びに集中できる環境作りに取り組んでいます。各部屋にコーナー（ままごと、ブロック、汽車、机上あそび等）を作り、落ち着いて遊び込み、遊びが継続できる環境作りを目指しています。幼児クラスの行事の参加についても、発達段階により目的があり、準備や参加の取り組みは協力することや自主性を育むことを支援しています。異年齢保育では、大きい子から小さい子へ日常の生活や遊びの中で、教えてあげたり、伝えたり、見て学んだり、子ども同士の関わりからの伝承を大切に保育しています。幼児クラスでは、お当番活動などもやってみたいという気持ちを大切に取り組んでいます。

・子ども自らが関わりたくなるような環境を整えることが重要。１人ひとりの子の発達や興味を理解し、計画を立てて実践。反省を次の活動に生かす。保育士自身も重要な環境の一部。人間性と感性を磨き続けたい。

・子どもが興味や関心をもって活動できるように、子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしながら、積極的に戸外遊びや散歩、その他のあそびなどを取り入れている。

・月一回、公園よりも少し遠くへお出掛けする行き先を皆に決めてもらいます。その日に向けて関連した絵本を読んだりうたの練習をしたりして盛り上がります。

・園の活動は基本的に子ども達の意思を尊重し、行事も含めすべて強制はせず、自主的に参加できるように配慮している。保育士や縦割り保育による様々な年齢の子ども達が切磋琢磨し、刺激や興味・関心を持たせながら、自ら参加したくなるような支援を繰り返し働きかけている。そのためには興味の沸く教材や専門の講師など、保育士以外からの様々なアプローチも 実施している。

◇共感・寄り添いについて・・・３件

・子どもの現状に合った絵本や玩具、遊びの提供をしている。・子どもの想像力をかきたてるようなみたて遊びができる玩具の充実に努めている。・様々な種類のおもちゃを手に取れるよう、室内に配置している・大人が関わり共感することで子どもの感性や遊びの力が育つように配慮している ・季節に応じた環境設定（季節の装飾など）をしている。・季節感を取り入れた遊びや散歩を行っている。・子どもの成長に合わせ、動線を考慮した室内のコーナー作りをしている。

・興味、関心を持ったことを共感共有

・子どもの興味関心をもつことに保育者がより沿って活動している。川遊びや昆虫採集などに対応できるよう保育者も準備している（虫めがね、図鑑、双眼鏡、川靴、虫かごなど）

◇発達段階について・・・３件

・その年令に応じた発達を理解し、おもちゃ、などの充実をはかっています。
・月齢、1 個性に合わせた活動計画と実施。
・一人一人の子どもの成長に促した玩具を用意している。安全で上質な玩具を用意したり、手作りおもちゃを提供している。

◇保育計画について・・・３件

・全体的な計画をもとに各年令・給食・保健など計画を作成し保育を行っている

・保育園が子ども１人１人にとって安心して過ごせる場所であって子どもが心身共に健やかにすごせる場所であることが大切だと考えている。それがなければ子どもの心は興味や関心へは動かない。・子どもの発達に合った保育内容と計画・子ども１

人１人が心を動かした時を見逃さない保育士のスキルが必要・保育士のスキルアップのための更なる研鑽は必要

・曜日毎に、課内の設定保育時間があり色々なジャンルに取り組めるようにしている。

◇環境整備について・・・２件

・生活、活動現場の環境は常に整えておくこと。保育士が楽しく物事に取り組む姿勢や行動を取ること。

・外遊び、手先を使っての作業、音楽、体操等十分な準備をして保護者が臨むと子どもの目が輝く。

◇その他・・・５件

・子ども達が十分に活動できるよう時間の余裕を持つ

・2 歳児クラスの 10 月より英会話・リトミック・モンテッソーリ教室を週 1 回 30 分行っています。様々な事に興味を持つきっかけとなっています。

・絵本等を通して活動の導入を行い、日々の計画、活動に興味関心が持てるようにしている。

・保育のリーダーは毎日交代と、保育士それぞれの持ち味を出し保育のマンネリ化を防ぐようにしている。

・毎年、親を呼び、うた、劇など発表会を行っています。

（３）子どもの状態に対処した食事の提供について　24 件

◇アレルギーについて・・・10 件

・アレルギーのある子どもも、無い子どもも同じ給食を一緒に食べられる「なかよし給食」乳・卵を除去した給食

・アレルギー対策をしっかりと行っていく。

・アレルギー対応、量の調整、無理強いをしない

・乳児は担当制で同じ大人が食事介助をし、個々の様子を把握している・アレルギーの子の食事は保護者と面談し、除去食対応をしている。・宗教食にも対応している・放射能や食事に関して不安のある保護者に対しては、担任、栄養士が面談し、園での食材の安全性や給食の大切さ等園の考え方を伝えつつ、保 護者の意向に添えるようにしている。・障害のある子で食事配慮が必要な場合は、保護者と連携しながら、担任や専門職間で相談して可能な範囲で対応している。・食事の個別の配慮（アレルギー、放射能の弁当持ち）については、食事時間にプラスの保育士が配置できる訳ではないので、全体の中での配慮になり、厳しいと感じる事がある

・食材はできる限り国産のものを使用し、だし汁や素材の味を生かして調理しています。離乳食は一人ひとりの発育や体調に合わせて調理しています。アレルギーのある子どもに対しては、アレルギーマニュアルに基づいて行っています。子どもの成長に合わせた食育を実施し、給食室の栄養士、調理員と保育士が連携し、楽しみながら食事の大切さを伝えられるように取り組んでいます。

・アレルギー配慮食や宗教に配慮した給食を提供している。・離乳食は月齢だけではなく個人の発達に応じて段階を変える配慮をしている・1 歳児クラスでも月齢の低い子どもには必要に応じて離乳食対応をしている。・子どもの体調をみてできる範囲にはなるが対応している。

・和食を基本とした献立表を作成し、乳幼児の発達や体調、食物アレルギーなどに個別に 対応している。行事食では季節感を大切にしたり、野菜作りなどを通して食に対する関心 や興味なども大切にしている。日々メニューを変えて工夫をしている。

・アレルギー児に対応、代替食を提供する。

・アレルギー対応、離乳食の進め方、口唇、口蓋裂など保護者と相談し、食事内容、形態、形状を決めている。

・アレルギーのある園児には医師の指示書をもとに、他児の食事と見た目が変わらないような除去食の提供をしている。宗教食にも対応。皿や席を分けたり、給食室と毎食電話でアレルギー食の確認をし合うなど、安全面で の配慮は、トリプルチェックを実施している。

◇発達段階について・・・８件

・離乳食は７段階でその子に合わせて提供。給食は全て手作りでアレルギー食、宗教食にも対応。保護者の負担を考え弁当持参は極力させないようにしている。

・発達に応じた食事作りに加え、食物アレルギー、障がいのある子ども、体調不良、口腔内のケガ等は個別に配慮している。

・離乳食のすすめ方を冊子で渡し、チェックできるようにしている。かじり取りを大切にした大きさ。

・月齢に応じた調理方法で、食事を子ども１人１人が楽しくおいしく感じるように工夫する。

・0 歳児クラスではその子の成長に合わせて、離乳食を提供しています。又、アレルギー児でアレルギーがある際は別メニューで提供しています。

・離乳食は保護者と相談しながら進めていき、食が細い子には少なめに最初は提供して完食の喜びが味わえるようにしている。

・乳児がいる場合は離乳食、また発達段階に応じた柔らかさの物を提供している。子供達とお菓子（おやつ）作りも

・咀しゃくがきりんと出来るよう柄の長いスプーンを用意し介助している。食事にしても各々の咀しゃく力に合わせた形状で安全な生活クラブ・生協などから食材を確保している。

◇献立計画について・・・４件

・自園での給食だが、栄養士とのコミュニケーションをとりながら取り組んでいきたい。

・全体的な計画をもとに計画を作成したり、保ゴ者と相談をしながら食事の提供をしている。

・食材の大きさ等を考慮したり、月に一度給食会ギを行い、全体で情報共有を行っている。

・毎月１ヶ月分のメニューを配布し確認して頂いていますが、牛乳が苦手な場合豆乳を、野菜、肉類など苦手な場合刻んで体調に応じ変えます。

◇その他・・・３件

・子どもにとって安全、安心（無農薬、減農薬）な食材を用意し、和食で米飯給食、全て手作りで行っている。

・保護者の仕事の状況で子どもへの食事が十分でない場合には食事の追加などを行っている。

・毎日、その子の体調に応じ、食事を作っています。

（４)保育所の生活における身近な自然や社会との関わりについて　25 件

◇四季について・・・11 件

・保育所の周りには自然が豊かで四季を通して自然からたくさんの学びを取り入れています。

・園外への散歩はもとより、園の周囲の樹木や草花、身近な生き物からも季節を感じ、自然を大切にする気持ちを育てる。 地域の活動にもう少し積極的に関わっていく必要がある。

・季節ごとの活動を指導計画や総合活動で計画し、実践している。・同じ公園への散歩でも、季節により目的を変えて計画をしている。・地域の老人施設への訪問をしている

・園内の畑で野菜の栽培と成長の過程を観察し、調理保育へ取り組みへとつなげています。園舎の樹木や戸外の散歩でも季節の移り変わりを感じられるよう、樹木、花、木の実、昆虫、おたまじゃくし、ザリガニなど四季を通じて自然と関われる機会を保育に取り入れています。地域社会との関わりは、近隣の小学校、学童、児童館、鉄道会社、お芋ほりの農家、商店街、消防署、警察、グループホームなどとの交流を継続しています。

・小金井の豊かな自然環境のなかにあり日常的に小さな生き物や植物、木々に触れる機会がある。散歩、園庭で四季折々を感じている。そのことを生かしてカリキュラムに反映している。近くの高齢者施設との交流・小学校訪問・散歩時に交通ルールを学ぶ・自分の住んでいる町の中の店や公共施設について知らせる機会を作っている。

・四季折々を感じられる計画を立て、園庭遊びや散歩を行っている。お店屋さんごっこの時期には商店街巡りをしたり、高齢者在宅センターとの交流や社会との関わりについても年に３回行っている。

・自然に触れ、自然の変化など体験を通して肌で感じ取ることで、身近な事象への関心や愛情が深まる。戸外へ出る時にルールを身につけることで約束を守れるようになる。

・畑を第二園庭につくり、野菜づくり、季節のお花を育て、珍しい種類の蝶々も飼育している。

・春のよもぎ摘み、夏の川遊び、秋の落ち葉拾い、雪遊び etc・・・楽しいことを通し成長できる。

・散歩にたくさん出て季節の自然に触れるようにしている

・野外保育であるので四季の移ろいや寒暖など自らの体験、五感に働きかけるものに敏感になり生活や遊びの中に活かされる（暑いから服をぬぐ、水をのむ、日陰で休む、花や枯葉など自然物がままごとになったりする。風の心地よさ不快さ、汗をかく、どろで汚れる）快不快を知ることは心を強くしていく、身体も心も強くなる。

◇地域交流について・・・８件

・園周囲の自然、地域の人々との交流など、恵まれた環境を保育計画に取り入れている。

・様々な経験が出来るようにお芋掘りいや地域の方との交流をしています。

・広い公園の自然や近くの畑での活動を大切にしている老人ホームとの関わりがある。職員の自然に対する知識を増したい

・散歩の際には、ご近所へはもちろん、すれ違った人達ともあいさつをかわし、顔なじみを沢山作る。

・自然へのふれあいを大切にしている。老人施設への訪問なども行っている

・毎日の散歩で自然と多く触れ、又、交通ルールなどを知り、公園では他の保育園との交流で色々と関りを持つようにしている。

・草花の水やり、野菜の収穫、昆虫、犬猫とのふれあい、おさんぽしながらご近所の方や商店の方との交流を作っています。

・園庭だけにとどまらず、野川公園まで行き、川遊びや木登り体験を実施。認知症病棟の訪問や独居老人の方々とさくら体操を幼児が行う、ふれあいや社会との関わりについて活動も実施している。地域の商店会の方々とは毎日あいさつを交わし、障害のある方々が出店する夏まつりの開催も実施している。

◇外遊びについて・・・５件

・園庭がないかわりに毎日近隣の公園まで散歩に行っています。介護施設等、他施設とかかわりを持てると良いです。

・散歩をする中でいろいろなマナーを知らせ自然とのかかわりを深める

・大学内にあるという立地条件を活かして、0~５歳まで毎日散歩を楽しんだり、自然豊 かな構内で遊ぶことができる。学外に出かけることもあるが、身近な自然や社会と十分に関わることができるように配慮している。

・外遊びを重視し、交通ルールを学ぶ。

・近くにある野川をさんぽ・・・自然に触れあっています（虫・・・鳥）

◇その他・・・１件

・全体的な計画をもとに各年令・給食・保健など計画を作成し保育を行っている

（５）保護者の状況に合わせた保育時間の変更について　27 件

◇急遽対応について・・・７件

・「保育時間変更届への記入や突発の残業、電車の事故などに対応。

・制度としてスポット延長は無いが、急な遅れは延長保育とは別体制で保育している。制度としてあれば保護者は利用したい方はいると思っている・朝夕共に急な勤務、事情での時間変更を受けている。

・急な変更にも対応している

・急な延長保育にも対応している。

・臨機応変に対応できるようにしている。

・日勤帯だけでなく、夜間や緊急呼び出し時の対応もしている。

・仕事の都合で急に遅くなる場合には、事前に電話連絡を保護者の方から頂き、園児を預かっている。規程の時間を超える場合にも３０分単位で、通常の延長保育料にプラスして料金を頂き、対応している。

◇柔軟対応について・・・６件

・依頼があった場合は柔軟に対応している

・保護者の就労状況や家庭の事情、抱えている問題やメンタル、疾病によって、個別に柔軟に対応している。

・保護者から話を聞き、出来る範囲で対応

・保護者の状況に応じての就業保障には快く応じるようにしており、保育所の責務の一つとしている。保育時間が延びた場合には、子どもの負担が無いよう安心して過ごせるよう に配慮している。

・保護者の仕事の都合にあわせ、可能な範囲は保育を拡大している。卒園児に対しても、あずかりを可能にしている。

・各々の要望に応じて変更している。

◇事前設定について・・・５件

・前月の 20 日までにしてもらっています。

・保育時間は延長保育申請が事前に必要づす。日単位でのスポット利用ができず、急な残業などに利用できる柔軟な対応が必要とされています。

・産休・育休時間の設定。

・保育時間変更届けを提出していただく事で開所時間内で保護者のニーズに合わせて、保育を行っています。

・月ごとに変更可能とし、状況を見て提案もする。

◇スポット利用について・・・４件

・保護者の勤務情況に合わせた柔軟な対応、スポット延長保育は、直前まで受けている。

・柔軟に対応している。延長保育のスポット利用も多い。

・当日でも延長や補食の受け付けを行っている。

・常に OK

◇相談対応について・・・４件

・保護者との日々の会話をできるだけ多く取るようにしている。

・保護者と相談をしながら、保育時間を決めている

・その時の事情に応じる。保護者との連絡を密に取る。

◇その他・・・１件

・東京都が言うサービスではなく、子を育てる為の福祉施設です。ＰＭ７：００というのは大切な区切りだと思います。

（６）安全対策について　23 件

◇訓練について・・・12 件

・保健年間計画に沿った保健指導（手洗い、うがい、歯みがき指導、排便の大切さ等）・年度初めに子ども達、職員とで遊具の使い方、ルールについて確認している　・ヒヤリハットや通園しなった怪我、事故報告を職員間で共有し、事故防止に努めている。・年間を通して計画的に避難訓練、ケガの対応などの訓練をし、正規職員だけでなく、非常勤職員も参加できる体制づくりに努めている。・自衛消防組織を編成している。　消防署と連携し、総合訓練や、救急法の講習をしている。・学校 110 番の設置や、警察と連携し、不審者対応訓練を実施している。　警備会社と契約し、オートロック施錠、防犯カメラを設置している。　保育安全マニュアルを作成し、職員の防犯意識が高まるよう努めている。・自衛消防組織編制表を作成している。・プールの事故はリスクが高いと考え、プールに特化した救急法の講習　＊３０年度行っている。正規職員だけでなく非常勤も参加できるようにし、次年度以降も継続して行えるよう検討している。

・建物面での対応では難しいため、訓練などを行い職員のスキルアップを行っている

・年度毎に防災計画を策定し災害発生などの緊急時の役割分担を明確にしている・毎月避難訓練実施・警察署の協力を得ての不審者訓練の実施・上　級救命講習の受講・ヒヤリハットや事故が起きたときの事故検証で再発防止に取り組んでいる・日常的に「安全チェック表」を使用し怪我防止に努めている。・玄関は施錠しインターフォン対応。園庭門はナンバー錠で施錠。いずれはオートロックにしたい・非正規職員の訓練機会をふやし周知を徹底していく事は課題

・不審者対応マニュアルを作成し、不審者訓練を毎年行っている。警察署から職員を派遣してもらい指導を受けているが、セキュリティは甘すぎる。本来なら２４時間、せめて開園時間の間だけでも、ガードマンが欲しい。

・避難訓練、戸外活動での安全対策

・年 1 回職員対象として救命救急訓練、2 歳児クラスも参加して不審者対策訓練を行っています。

・避難訓練

・子どもの安全を第一に考えて園舎の内外の危険物を点検したり、園舎外部には、常時３ ケ所の防犯ビデオが設置されて守衛室とつながっている。また、毎月避難訓練などを実施して、災害や不審者対策に備え保育園の安全対策を行っている。

・オートロックの徹底、不審者対応の訓練。

・ケガ、事故等おこらぬよう配慮している。避難訓練、不審者対応、安全第一

・高い所に物を置かない。固定をする。毎月避難訓練、散歩時携帯電話持参など実施している。

・玄関には暗証番号で入室できる扉を設置。玄関まわりには防犯カメラを数台設置。電話も録音機能を新たに設置。セコムに入り、夜間や休日の防犯対策も実施。子ども１１０番のベルを階毎に設置。警察署の方に来て頂き、防犯訓練も実施。消防計画に沿った災害訓練や引き取り訓練、今年度 からは、災害伝言ダイヤル訓練も年２回保護者の方にご協力頂きながら行っている。ＢＣＰの作成も今年度中に完成させる。

◇注意配慮について・・・６件

・生命を守ることを第一に、園内外での事故や怪我が最小限になるよう十分注意を払う。発達に伴い課題も有り。

・玄関の施錠、散歩では少し遠回りになってもよいので、少しでも安全な道を通っている。

・ぶつかり防止や面取り、道路への飛び出し等常にチェックし職員、保護者へ定期的に呼びかけ喚起をしている

・園庭、保育室内、門扉（外）、（遊具）玩具の不備等。他の点検は毎日行う。『事故は起こさない』を基本とする。

・各所に転倒防止、外部から人が入らないようしています。

・お迎えにいらして引き継いで頂いた時、特に注意が必要。門の施錠は常に徹底して行う

◇対策会議について・・・４件

・定期的な点検を通し、安全委員会での情報共有及び、研修等を行っている。

・散歩時の安全対策や保育室の環境など常にみんなで話し合い対応している。

・門前に警備員置（７：００－１０：００　１６：００－１９：３０）門扉・通用門はオートロック、職員・保護者は専用カード使用保護者と職員による「安全を考える会」の設置、活動

・職員間での安全点検、父母会と一緒に園内外の安全点検を実施し、父母会、職員、保育課と連携して対応しています。施設管理プロジェクトの中で園舎内外の美化と安全について計画的に取り組み、実行しています。リスクマネージメントの点では、睡眠チェック、プール・水遊びの監視体制を組んで保育しています。

◇その他・・・1件

・不審者への対応が不十分だと認識している。

（7）保護者の状況に配慮した行事日程の設定について　21件

◇曜日配慮について・・・11件

・行事はほぼ土曜日に設定し（参加しやすい）運動会など学校と重ならないような日程にしています。

・保護者参加行事は土曜日に実施保護者会は年３回のうち１回は平日実施　日曜日開催の希望もあるが、職員の勤務体制から対応できない。

・保育参観等は期間を設け選べるようにしたり土曜に行う行事は早めに伝え強要はしない。

・年３回の懇談会は、保護者が参加しやすいよう各回違う曜日に開催して いる

・様々な勤務形態の保ご者がいるため、曜日ができるだけかたよらないようにしている

・年３回の懇談会は平日の昼、土曜日と設定し出席がしやすいよう配慮し ている・平日はその年度の保護者の勤務の状況を考慮した曜日の設定を行 うできうる範囲で兄弟の学校行事を考慮して設定している

・前年度の反省を含めて年間の行事計画を立て、保護者が参加しやすいように土曜日などに設定している。年間の見通しが持てるように行事表や園だよりなどで知らせている。

・基本的に全体の行事（運動会など）は日曜または祝日に行い、土曜日が出勤の保護者にも配慮している。

・保ゴ者参加の行事は（土）に設定している。

・年末に行う発表会などは日曜日に行っています。

・保育連絡会は、園に入所し、慣らし保育中の職場復帰前や育児短時間保育が終了する前の、４月の第２週の土曜日に、今年度より変更し参加しやすいように配慮した。また、他にも行事などを平日に開催する場合にも、できるだけ保護者の方の負担が無いよう、夕方午後３時４時からの開催にし、そのままお迎えになれるよう配慮。運動会も土曜日に実施。遠足に関しては、園児のみの参加。

◇意見聴取について・・・４件

・年間行事予定の配布。行事のついてのアンケート調査を実施し、保護者の意向を反映した行事設定をいている。

・年間の行事日程については、保護者からの感想やご意見を考慮し、各行事の反省をふまえて、近隣の小学校行事と重ならないように設定しています。

・保護者の都合、要望を聞き入れながら行事に出席できるようにする。（振り替え等）

・年度初めに保護者会を開き、日程調整をしている。

◇回数抑制について・・・２件

・保護者参加の行事をあまりしない。負担をかけないように年 5～6 回にしています

・保育士不足のため行事を全てやらない事にした。保育士の負担の少しでも少なくし、離職を防ぎたい。

◇その他・・・４件

・第三者評価でわかった保護者側の想いを形にできるよう取り組んでいきたい。

・保育参加など、一週間設定しています。それでも都合の悪い方は別の日に。

・小学校の行事予定を考慮してから調整。

・その都度話し合って、早めの連絡を心がける

（８）子どもの保育に関する家庭と保育所の信頼関係構築について　26件

◇連絡帳について・・・15件

・保護者、園の職員が一緒に学び合える父母職員共催学習会を年に１回実施している。連絡帳・あゆみでの毎日のやりとり、また直接声をかけ、会話をするように心がけている。・個人面談は、各家庭 1 回ずつはを行うように働きかけ、それ以外でも必要に応じてその都度、行っている。

・子どもの様子だけでなく、保護者の様子や家庭の状況にも気を配り、必要に応じて担任や園長、専門職が話を聞くようにしている。・父母会役員会に園長が出席し、情報共有をはかっている。

・父母職員共催学習会を年に１回開催し、共通の問題点や疑問について学習する機会を設けている。・懇談会では、事前に保護者の悩み等を拾って話し合いのテーマにし、子どもの今の状況、発達の特徴など伝えたり、保護者の意見も聞いたりしながら共通認識が深まるように工夫している。育ての参考になりそうな内容や保育と関連して薦めたい内容の本や資料がある場合は、懇談会資料に載せたり、保護者が閲覧できるような場所に置く等の工夫をしている。"

・連絡ノートや個人面談、こんだん会などで情報の共有をして、子育てについて話す機会をつくっている

・連絡帳、懇談会や個人面談などの機会を通じて保護者の意見を聴くことに努めています。行事後のアンケートや連絡帳からの意見を職員会議で反省し、引き継いでいます。懇談会では保護者同士が自由に話せる時間を設け、育児の工夫方法などの情報交換に取り組んでいます。

・連絡帳を通して子どもの様子を伝える。保護者の気になる事や相談事は送迎時に話しをする。（その日のうちに）個人面談もします。

・送迎時直接お話ししたり、連絡ノートを活用し、保護者とコミュニケーションを取る事を心掛けています。

・連絡帳や迎えの時に子供の様子を話す

・子どもの日々の様子は、連絡帳や送迎時の保護者との会話で伝えているが、その他の育児の悩みや相談などについては、個別に担任や園長との面談を実施して問題を解決するように配慮している。

・連絡帳、送迎時にマメに情報交換する。

・普段は連絡帳で連絡を取り合い、お迎え報告、面談の時間ももうけ、ちょっとしたことでも話してもらうようにしている

・毎日の連絡帳で日中の様子を伝え、登園降園時にも直接伝えるようにしている。その他けがや事故などの際、迅速な対応、正直に説明、謝罪を心掛けている

・毎日のおたより帖、玄関先での会話、年に４、５日の父母会を行っています

・交換ノートで毎日確認

・お便り帳や送迎の際の会話や、1日保育体験を通じて、保護者の方が保育中のお子様の姿をまじかに感じ、また保育士の仕事を身近に感じてもらうことで、信頼関係を築くことなどに力を入れている。入園前や保育連絡会でも、年間予想されるような様々な事象を事前に詳しく説明し、よく出る質問や課題について、納得して頂けるよう努力している。

◇ニーズ聴取について・・・４件

・保育参観、保育参加、行事等を通して個々の家族のご意見や感想に迅速に対応する等で培っている。

・日々の情報提供に努め、保護者の不安や不満、要望を敏感に感じ取り、言葉を尽くして語り合える場を作るよう努力している。毎年利用者アンケートや行事終了後のアンケートを実施し、集計結果とともに改善要望に対する回答を公表している。

・保護者の声を聞き、保護者として実現できる事をめざしていきたい。

・朝夕の時間を利用し家庭や保育の様子を伝えあう。連らく帳の活用。個人面談。意見箱を活用。

◇日常の会話について・・・４件

・日頃から保護者の方とは、よく話しかけるように心掛けています。（世間話も含めて）

・日常的に挨拶、送迎時の話などから保護者との信頼関係を作っていく事を大切にしている。・連絡帳や話の中で子どもの成長や課題を伝え共に考えていく姿勢を示していく事、保育園として大切に考えている保育の内容を懇談会などでも丁寧に伝えていく事で保育への信頼を構築していきたいと考えている。

・保ご者でのこんだん。

・登降園時に保護者との連絡を密にとっている。

◇家庭の事情配慮について・・・２件

・担任のみに留まらず、園長をはじめ、かかわる職員が子どもや家庭の情況等を共有し、家庭との対応をする。

・保育を行っている子どものみならず、兄弟、姉妹の状況も把握し、関係を築く。

◇その他・・・３件

・事務室もオープンにして、いつでも相談できるよう、そして保育者とも気軽るに相談できる体制をとっています。

・「一日保育士体験」を全保護者対象で行っている。保育の見える化を進めることで、保護者との信頼関係が深まってきているのを実感している。懇所との信頼関係構築について談会や個人面談の他に、交流会やおやじの会も定期的に行っている。

・一番大切だと思いますが、鋭意努力中です。

（9）施設内の清掃、整理整頓について　22 件

◇日頃の心掛けについて・・・11 件

・清潔、整頓を第一に、気持ちよく過ごすことができるように努力している。

・朝夕、午睡後など常に清掃に心がけ遊具の整理などについては日課として子どもと共に整頓。

・年齢により、危険と思われるものは手の届くところに置かない、鍵付きの 棚に収納する。園庭はシルバー人材にお願いしている。

・子ども達の健康の為にも又成長の為にも職員一丸となって取り組んでいきたい。

・施設内の清掃については、用務職員が中心となり清掃業務を行っています。施設管理プロジェクトの中で計画的に、マス掃除、草取り、教材・倉庫整理、粗大ごみの解体、すのこ修繕など、園舎内外の美化に取り組んでいます。

・用務員が園全体の清掃を行う・子どもたちの美意識を育てていくようにクラス担任が日常的に部屋の美化、整理整頓を心がけている・美化係や安全点検係による指摘で気付いていない箇所の整理整頓をおこなう。・施設の大きな整備については課題が多い

・自分の家と思って使うように社長から言われています。

・日々、全てにおいてていねいに行っている。感染症の時と変わらない清掃、消毒。

・常に清潔を保つように清掃や、整理整頓を心がけている。専門の非常勤職員を採用したり、職員も気づけば動くようにしている。

・施設自体が、コンパクトな為、収納や物の配置には気を配ります。不潔な施設では、まず園としての体を成さないと思うので、園内美化にも力を入れています。

"

◇玩具消毒について・・・４件

・玩具の消毒が不十分なので今後しっかりと行っていく。

・おもちゃの消毒を毎日する、子のトイレは 2 回清掃（1 日）全体の掃除は毎日行う。定期的に本箱や備品の整理をする

・乳幼児の生活の場だけに常に清潔にしゴミや危険な物が落ちていないか、玩具類も同様に点検、消毒、片付けは毎日、都度行う。

・０才児がいるので、おもちゃの消毒には気を使っている。

◇定期的な確認について・・・３件

・美化デーを年６回入れて園舎内外を整備。その他定期的に環境整備と安全点検。父母会との合同安全点検も行っている。毎日の消毒も徹底。施設も備品も古すぎる。メンテナンスや買い替えをきちんと入れてもらいたい。

・毎日確認

・基本的には、保育士が毎日チェックシートをもとに清掃を実施している。トイレや共有スペース、園児のいない時間帯などは用務員の方が専門で清掃にあたっている。園庭の草刈りもおこなってもらっている。日頃の清掃は、保育士や看護師が手分けをして実施。感染症流行時には、特に念入りに行う。年２回、大掃除を実施。また、年１回は清掃業者が入り、給食室のグリストラップの清掃や床のワックスがけ、空調設備の清掃、窓ふきも行ってもらっている。

（１０）職員の接遇・態度について　21 件

◇職員研修について・・・６件

・職員研修、OJT 等で園の理念に即した対応ができるように促している。

・採用時に研修を実施している。

・職員と連携を取れるように相談しやすい雰囲気を作る。研修やマナー講座を行っている。

・研修を通して仕事への姿勢や態度を確認しあっている

・子どもが少ない時等園内講習を行い、理解を深めています。E ラーニングで自己学習を行っています。

・採用時のオリエンテーションでは、数日かけて、保護者への応対の仕方や電話のとりかた、服装や髪型などについて、丁寧に説明をしている。また、年度毎に、人事考課を実施。接遇や態度の項目を複数具体的に入れ、評定し、給与にも反映。また第三者評価を実施し、内容を職員間で共有し、反映。社会人としてのモラルや遵守すべきことについては、そのような研修にも参加し、確実に行えるように、入社して数年の職員には、特に力を入れて行うようにしている。

◇職員心得について・・・４件

・項目１０~１４については、全職員が所持する「職員心得」の冊子に記載し、対応の仕方を共有している。保育者の立ち居振

る舞いや言葉づかいが子どもに大きな影響を与えることを常に念頭に置いて行動すること、保護者に対しては常に誠実な姿勢で応 対することを申し合わせている。

・園の「職員手引書」があり、個人情報の取り扱い、自己の向上を目指すこと、マナーなどが記載されています。内容については全職員の会議やオリエンテーションで説明し、毎年見直しを行っています。子どもの権利を尊重し、理念である「子どもの最善の利益を守り、心身共に健やかに育つことを目指す」保育に取り組んでいます。接遇研修にも参加しています。

・市役所入所時に接遇研修を受講・毎年新年度の会議にて職員心得を確認しあう・園内研修のなかで互いに子どもや保護者に対する態度を考える機会を設けている・保護者から意見があったときには職員全体に周知したり、本人に直接伝え態度を振り返るよう声を掛けている

◇職員環境について・・・４件

・ここ 2、3 年で大幅な処遇改善をし、キャリア、処遇改善手当もでている。有休も取りやすい状況である

・どの職員の声を大事に歩みよっていける様にしていきたい

・ICT 化をすすめ、事務仕事の負担を減らす。時間外勤務減少、持ち帰りの仕事はしない。

・職員が気持ちよく働けるように職場の雰囲気を気遣ったり、保護者に対しては服装や言葉遣い、挨拶なども含めて明るく笑顔で接するようにしたり、保護者の実状に応じて細かい配慮をするように心がけている。

◇職員連携について・・・３件

・接し方、対応のしかたなど考えているが、まだ改善していく必要あり。職員間で話しあいをしていく

・急になることをミーティングで共有、改善している。

・挨拶、言葉使い、聞く姿勢、身だしなみなど心掛け居心地のいい空間作りをし、お互いのコミュニケーションにおける相違をできるだけなくした保育を基本に考えている。

◇その他・・・５件

・誰が訪ねて来たり、問い合わせがあっても相手が話しやすい表情、態度をもって対応するよう心がけている。

・幼児教育者としての自覚をしっかり持つこと。大切な命をお預かりしている事。お仕事をしながら子育てをしている保護者の気持ちを理解する。

・長年にわたり変わらぬスタッフです。

・子供を一番に考え、おだやかでいられるように

・職員を指導したくてもする時間なく、そのままにしてしまっているが課題だと認識している。

（11）病気やけがをした際の対応について　21 件

◇保護者への連絡について・・・14 件

・発生した経緯経過と原因を解明し、保護者説明につなげている。

・状況をしっかりと説明し、けがについては、特に園の責任として謝罪する。園長が同席する。

・保護者へのすみやかな連絡、希望によっては受診、本部への報告、行政への報告

・子への対応、保ご者への説明などの対応を丁寧に行っている。職員間で対応について学びあっている

・入園の時に既往歴を把握しておく・発熱や発疹などが見られたときは、保健コーナーで別途に様子を観察し必要に応じて保護者へ連絡迎えをしてもらう・怪我があったときには他に怪我はないか全身の様子もチェックし保護者へ連絡の上医者に通院・病気怪我共に経過報告、その時の状況を保護者へ丁寧に説明し怪我に関しては誠意をもって謝罪する。事故（怪我） は事故報告書を担当課に提出。・消防署の協力を得て職員全体で毎年救急法を学んでいる

・特にご心配な方には、小さなケガもご希望通り、TEL で知らせています。

・保ご者に早めに連絡し、様子を伝えている。

・保護者にすぐに連絡を取り、報告。状況によってはこちらでそれぞれ子ども達のかかりつけ医を受診する。

・保護者への連絡、病気や怪我の程度により、病院受診をします。更に大きな事故等の時は救急車での対応を取り、行政へ連絡する。

・応急処置を行い、保護者に状況を伝えています。又、ヒヤリハットを記入し、全職員に周知し、再発防止に努めています。

・子どもの身の周りにある危険物やけがなどについては、未然に防げるものは防ぐようにし、交通安全教室の実施や、救命救急の講習を保護者も巻き込んで実施している。病気の予防なども、手洗いうがいを含め、保健だよりなどで細かく知らせたりしている。実際に熱が出たり、具合が悪くなった場合はすぐに保護者に連絡をしたり、怪我をした場合や心配な場合は、病院に連れて行くなど保護者と連絡を取り合いながら対応をしている

・状態に応じて保護者へ連絡、必要あれば病院へ連れていく

・実状の正しい把握、正しい処置、保護者へ正しい情報を伝える。事態に上り病院へ連れて行き、保護者の代理となって対応する。

・親との連絡は常に着くようにしています。

◇看護師対応について・・・5件

・看護師に見て頂き必要なら病院に行きます。状況説明を保護者に連絡を入れます。

・看護師の指示を受け、受診が必要な場合には保護者の承諾を得た上で、保護者が指定した医療機関を受診する。（緊急時は園判断）ケガの場合、事故簿に保護者との連絡内容、受診結果、経過、原因と今後の予防策を記載する。

・園の看護師が中心となり、子どもの心身の健全な発育を目指して健康管理を行っています。急な発熱や体調不良の場合は、事務室のベットで健康状態を観察し、保護者に連絡をする場合もあります。ケガの場合は応急手当をし、通院が必要と思われるけがの場合は保護者に連絡をし、対応しています。

・看護師が対応する他、緊急時にいつでも対応できるように全職員が研修を受けている。保護者への状況説明や謝罪を丁寧に行うと共に、治療や経過 観察についても保護者の不安に寄り添い園でできることを継続している。

◇マニュアルについて・・・5件

・病気、けが共に保ゴ者に連らくする場合のマニュアルや対応についてのマニュアルがある。場合によっては施設長が対応

・対応フローがあり、すぐに対応できるようにしている

・マニュアルがあるのでだいたいその通りにしている。様子がおかしかったり、怪我した場合、必ず保護者に伝えている。

・病気やけがに対しては、その状態によって、経過観察するものと、その場で処置し、保護者に連絡するものなど、対応が分かれる。場合によっては、病院受診することもあり、看護師や園長・リーダーなど複数で症状を判断し、対応している。またマニュアルとして、フローチャートを作成。救急車の呼び方の訓練や応急訓練、主治医による年２回の保健研修も臨時職員の人も含めて全員対象に実施している。外部の保健研修には毎年参加。保護者連絡では、病気のお子様がいたときにはすみやかに迎えをお願いしている。病気やけがの説明も、保護者の方が不安に思われるないよう、時系列で丁寧に行うように心がけている。

◇職員連携について・・・３件

・どんなに小さなケガや熱、その他でも子どもの声を大切にし、視診をかかさず、職員同志の連携をしながら保護者へも伝えている

・事故、ヒヤリハットはすぐに園長、保健師に報告している。・ケガ等が発生した時は、関係者で現場を確認し、原因をさぐり対応策を検討し報告書を作成している。・怪我やヒヤリハット、感染症の状況は朝礼、職員会議で速やかに全体で共有している。・感染症は保健師を中心とし、拡大、再発防止に努めている ・日頃から会議の中で事故の防止についての研修をし、職員の意識を高め ている

・常に確認しあい、報告しあう

◇その他・・・３件

・首から上へのケガについては、病院受診をしていき、その他のケガにもきちんと対応できるようにしていきたい。

（12）子ども同士のトラブルに関する対応について　21件

◇傾聴・共感について・・・７件

・”どんな子どもの行動にも意味がある”という思いと、その子の行動の意味（声）をきき大人の価値観で判断することなく、子どもの思いに寄り添う対応をしている。

・双方の話をよく聞き、言い分を一度受け入れます。その後注意すべき点を伝えます。

・基本的に噛みつき等の危険な行為があった場合には、保育士が止めに入り、噛んだ子の理由を代弁して噛んだ子の気持ちと噛まれた子の痛さ、両方の気持ちに共感しながら言葉にしています。子ども同士のトラブルがあった場合には、子ども同士が納得して落ち着くまでお互いの話を聞き、子ども達で解決できるような対応を心掛けています。

・大人が決めるのではなく双方の意見をきき交通整理をし、双方が納得できるように働きかけている。

・お互いの言い分は最後まで言わせた上でその原因やどうしたら良いと思うか子どもにも考えてもらう事は大事。暴力に発展する時は介入する。

・双方から話を聞いたり、子どもの気持ちに言葉を添えて対応したり、年齢にもよるが、子ども同士で話し合って解決できるようにしたり、怪我をさせた場合などは、双方の保護者に事情を説明するようにしている。配慮が必要な子どもには、個別に配

慮をして対応したり、臨床心理士による発達相談や巡回指導などを実施して保育に活かしている。

・年令に応じて対応の違いはあるものの、子供が伝えられなかったこと、気持ちを汲み取り、両者に伝えるようにしている。

◇事前説明について・・・３件

・対応については年度はじめのこんだん会で保ご者に話をしている。トラブルについては職員間で情報共有している

・「ケガの対応について」を園長名で毎年全世帯配布し、年度初めの懇談会で、子どもの育ち、リスク、防止策、対応策について説明をしている。トラブルやケガは園の責任として、十分な説明とフォローを心がけている。

・トラブルやけがなどの対応は入園前の説明会の折りに、こちらの対応をしっかり話しをさせて頂き、納得して頂けるよう努めている。特に、保護者の方からの強い要望により、双方に園児のお名前を告げ、内容を丁寧に口頭で説明し、誤解がないようにしている。直接保護者同志で謝罪してもらうこともある。

◇見守りについて・・・３件

・出来る限り見守り自分達で解決させる様にする。大人が入りお互いの話を聞き考えさせる

・すぐに口出しせず、ケガのないように近くで見守る。

・大人の見守り方の問題

◇その他・・・８件

・「けんかをした場合」「かみつきやトラブルによるけがに対する対策と対応」「保護者への伝え方」等の対応手順を決め、職員全員で共有している。

・小さなことはその場で対応し解決している。深刻なことは保ゴ者に相談するときもある。

・相手の気持ち・自分がやられて嫌なことは、しないということを伝えている。

・まだうまく気持ちを言葉にできない子には、職員が代弁し、伝え方を教えています。

・ケガ等になってしまった際は特に状況を説明謝罪を丁寧におこなっている。

・親子の交流の機会をもうけているとトラブルがあった場合も大事にならずにすんでいる気がする。お互いさまも大切

・保育園で起きたトラブルは保育園の中で処理しています。

・怪我した場合のみ、お互いの保護者に話しをしている。（まだ一度しかないが・・・）

（13）子どもの気持ちを尊重した対応について　25件

◇寄り添いについて・・・12件

・お子さまの発信する事項に気付き、気持ちを汲み取ることのできるに、研修や日々の保育にて保育士に指導を行っている。

・子どもが主役、子どもの心に寄りそう保育の実施。保育士が命令や禁止をしない保育を基本とする。

・”どんな子どもの行動にも意味がある”という思いと、その子の行動の意味（声）をきき大人の価値観で判断することなく、子どもの思いに寄り添う対応をしている。

・子どもを常に肯定的に受容し、指示命令、否定的な声掛けや対応をしない、子どもへの声掛けはできるだけ個別にそばで寄り添うように行うことを申し合わせている。

・子どもの気持ちを感じ取る事と、その背景にも目を向けていきたい。

・乳児クラスは担当性を取る事で信頼関係を深め、日々の細かな様子を保護者と共有できるようにしている・幼児クラスは異年齢保育を実施し、クラスの中で性別・年齢等に関係なく、その子らしさを大切にできるようにしている・子どもの言動から気持ちを汲み取り、気持ちに寄り添うようにしている・子どもの個性・特徴を理解し、その子に合った支援ができるようにしている　・当たり前のように思える小さなことでも、できたこと・頑張ったこと言葉や行動で示し、子どもが大切にされていることを実感できるようにしている

・子どもの気持ちに共感したり、時間に余裕をもって計画をたてている

・１人ひとりのどんな思いも受け止め、共感し、言葉にして返すように全職員が実践している。一斉行事や何かに特化した活動ではなく、その子のタイミングで達成感を味わえるような日々の活動を重視している。

・自分の意見、思っている事は言えるようにまずは耳を傾け子どもの話をよく聞く事、本当にダメな時は「ダメ」と理由を説明して伝える。

・子供の言い分を限らず聞く

・幼児期の子どもたちの言葉にならない思いを言語化することを大切にしている。帰りの会では一日のふりかえりをし子どもたちの思いをきく、伝えるようにしている

・子どもの発達をまず、しっかりと把握することにより、その年齢にあった、子ども気持ちを尊重した対応が求められる。できるだけ子ども達の気持ちに寄り添い、「いけない」「だめ」ではなく、「(×走らない) 歩こうね」などポジティブな声かけをすることが重要。低年齢児の場合は、特に保育環境の工夫が必要。

◇主体性について・・・８件

・無理強いをせずあまり無理なことはさせないようにしている

・生活の中で子どもが自分から次の行動に切り替えられるよう待つことを大切にするが、必要に応じて声をかけうながす事もあわせていく事を大切 にしている子どもの様子を観察し状況を把握して気持ちを一緒に整理し言葉にする。

・少人数での保育を活かし、一人ひとりの子どもの気持ちを尊重した「子どもが主体の保育」を実践している。全職員と保護者で子どもの育ちを共有している。

・活動、行事への参加を促すが強制はしない。

・思い、気持ちを言葉にする手伝いをし、次の行動へとつなげていけるよう向き合っている

・できる限り子供の気持ちを尊重し、何事も押しつけないよう心掛けているが、少人数といえども集団なのでＴＰＯに応じ順番など約束などして対応している。

・その日の体調を見ながら、やりたいこと、やりたくないことを見極める

・保育士は、子どもの代弁者なので折に触れ代弁している。

◇自己肯定について・・・２件

・出来るだけヤリたいと思うことは受け入れます。〇〇はいけない、ダメと否定的なことを言わない

・乳児期は人格形成の基となる人への信頼関係と愛着を育てる大切な時期であり、いつもお世話をする人が決まっている担当制で保育をしています。幼児期は自我を確立し、人と関わる力を養う大切な時期です。異年齢保育では、大きい子が小さい子を手伝ってあげたい、教えてあげたい、守ってあげたい等の気持ちが育ち、小さい子は、大きい子へのあこがれ、自分からやってみたいという気持ちを育てる保育に取り組んでいます。

◇その他・・・３件

・不適切な保育についての研修。毎月、不適切な保育がないかを確認

・時と場合によるが、最初から最後まで同じ保育士が付き合える環境を作っている。

・お教室や製作・遊び等子どもが興味を持てるような声掛けし、無理なく行っています。

（14）子どもと保護者のプライバシーについて　21 件

◇日頃の心掛けについて・・・９件

・園全体として、情報を共有して、守っていける様にしたい。

・身体測定やおむつ替えは外からなるべく見えない様にしている。保ゴ者との話も他者に聞かれないところでする

・ICT 化でなるべく書類を減らす。個人書類は鍵付き書庫に入れる。メールもパスワードをつける

・子どもと保護者の個人情報については、厳重に管理しています。保育の中では、子どもの人権を守り、個性を尊重し、安心して生活できる環境を整えています。オムツ交換コーナーの設置、プールやシャワー使用時には外部から見えないように目隠しを設置しています。

・職員は子どもの事や家庭の事等知り得た情報は一切口外してはならない。守秘義務は厳守しております。今後も当然です。

・よくよく気をつけている

・施設外への情報の持ち出し禁止、園だよりや保護者との会話にも配慮し、心掛けている。

・プライベートなことは他言しない。保護者間での会話できる時間を時々作り保護者同士でふれあいを作ってもらう

・園児や保護者の個人情報についての書類は、鍵のかかるロッカーに保管して管理している。かみつきやけがについての説明も、できるだけ保育士と保護者でお話ができるように実施。連絡帳で対応することもあります。 プライバシー（身体的なこと）については、戸外でも室内でも、配慮をしている。

◇規定遵守について・・・６件

・規定を設け、プライバシー保護と個人情報保護に取り組んでいる。

・プライバシー保護については職員との合意文書にて取り交わしている。

・個人情報保護規程の徹底職員はパートも含め、ボランティア、実習生等誓約書を作成し守秘義務の徹底をはかっている。

・小金井市個人情報保護条例にもとづいて入園する時に保護者には同意書をもらい保育園で管理している・外部に子どもの情報を伝える際は保護者の同意を得るようにしている。・保育園の生活を伝えるために撮影した写真のデーターは鍵のかかるキャビネットにいれ保管しSDカードのだしいれはノートに記述する。・データーは利用後すぐに消去する。・子どもの心と身体を守るために乳児の時から羞恥心を育てるように配慮し保健指導 としてプライベートゾーンについて話している。・職員には新年度の会議に置いて個人情報の取り扱いについては周知している

・入職の際のオリエンテーションで保育者の役割の一つとして、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて説明し、子どもと保護者に対して守秘義務があることを伝えて守っている。

◇職員間の確認について・・・２件

・職員間で年度始めに確認し、必要に応じて会議などで再確認している

・保育会議で話して気をつけている。

・保育士に対し定期的に専用のシートをつかってチェックをさせています。

◇その他・・・４件

・連絡網を作ろうと思うが中には載せないで欲しいと言う人がいるので難しい。

・面談をお迎え時等に行っている。

・保護者からの情報は父母会で話をしています。

・小さい集団なので何か話すとすぐに広がってしまうので気を使っている。伝えても良いかどうかは必ず保護者に聞いてからにしている。

（15）保育内容に関する保護者への説明について　19件

◇保護者会の活用について・・・10件

・入園のとき、保育懇談会、保育参加、保護者会などで説明。又、個人的な質問があった場合も応えている。

・保護者会で説明、又半日の保育参観で実際の様子をみてもらう。写真もなるべく多く撮りみてもらう

・こんだん会やおたよりなどで知らせている。こんだん会のもち方については、保ご者に興味をもってもらえる内容を検討中

・保育内容については、懇談会で各年齢の発達についてと年間の保育内容を伝えています。日々の保育内容や様子は、登降園時に保護者に話し、連絡帳・今日の様子・クラス便り・園だより・写真によるドキュメンテーション等で伝えています。

・保育園案内で概要・入園時の説明・年３回のクラス懇談会内で説明・日程を決めず保育参観にきてもらい実際の保育を見てもらう・日常の保育の様子を写真にし掲示してお知らせするクラスだよりの発行

・玄関前を保育や給食の発信コーナーにして日々更新。年間指導計画、月案、週案を保護者が見えるように各クラス掲示。懇談会では映像も使い具体的に説明。毎月の園だよりに保育の意図を載せるようにしている。

・保ご者会を通して伝え、行事はその日の内にプレゼンテーションを玄関へ掲示している。

・会議や行事、お迎えの時

・入園前、入園後には父母会で話をしています。

・入所前に話しをしている。登降園時に話しをしたり、室内を見てもらいながら説明したりもする。

◇連絡帳の活用について・・・６件

・連絡ノート、保育室の掲示板、お迎えの時に説明をしています。

・子どもの一日の生活状況は連絡帳にて記載されますが、月のおたより等でも行事予定をお知らせしています。変更等の場合もお手紙にて説明しますが、口頭でお話しもします。理解を得てます。

・連絡帳、懇談会で共有する。

・連絡帳、おたよりを通して保育の内容がすぐに分かるよう心がけている

・毎日の連絡帳の他、登降園の際直接口頭で説明、また、園だよりでも伝えている。

・交換ノートに毎日記入

◇しおりの活用について・・・３件

・園のしおり、懇談会等において、各種お知らせを実施している。

・重要事項説明書や園だより、保護者会等で活動の内容や目的を説明している。保育参加、個人面談を随時受け入れ、個別の説

明も行っている。ドキュメンテーションを取り入れるなどして、もっと日々の活動の理解を深めることが必要と感じている。

・入園時説明会（入園前の２月の内定時）では、入園のしおりを事前に送付して、読んできて頂き、その上で保育が始まる前に、予測される保育での疑問や意見に対して、説明を実施している。また入園後も、保護者連絡会を実施し、保育について、クラス毎の保育目標や活動内容について、丁寧に説明をしている。

（16）保護者の不満や要望への対応について　23 件

◇傾聴について・・・９件

・可能な限り、保護者の意見に耳を傾けるが、園としての考え方も伝え、理解・努力も頂くようにしている。

・真摯に意見を受けとめ、対応できるようにしていきたい。

・その都度、時間を作ってお話ししています。

・どんな些細な事でも、何でも気軽にお話が出きるようにこちらから声を掛けてみたり、個別に時間を設けています。

・話を聞き、職員で共有し対応する

・連絡帳、送迎時の会話で迅速に対応。

・常日頃から声かけさせて頂いている

・その都度、話を聞き、当然聞ける話、受入れられない話もありますが、対話して解決しています

・毎日送迎時忙しくない時に会話の時間を持ち対応

◇職員会議の活用について・・・６件

・大きな不満はないが、事務室が開放されているので保護者が相談にきている、要望については運営委員会に持ち寄られている。

・職員に直接言えないこともあるので保護者理事を 2 名置いています。

・速やかに会議を開き、その内容について十分な協議を行い、その結果を当事者に詳細に説明する。対応の公表が必要な場合は園だよりや報告書を全家庭に配布する。

・保護者からの不満や要望については、職員で周知し改善できる事は早急に対応しています。すぐに対応できない場合は、職員会議で話し合って改善策を考えて対応し、他園や保育課との連携が必要な場合は、連携をとりながら解決策を考えて対応しています。

・職員間で共有し改善していくために、保護者支援プロジェクトチームを中心に検討や改善策を全職員で考えるようにしている。園長は意見要望に素早く対応し、でき得ることを口頭か文書で即提示し実践を心がけている。

・１人での対応は避け、ミーティングで話し合い対応策を考える。その場で決まらない内容は所長、看護部長、保育所委員会などで考える

◇意見箱の活用について・・・２件

・意見箱を設けている。又、普段からなんでも話しやすい雰囲気を作っている

・入園時、園だよりにて苦情解決制度を利用できる事を伝えている・保護者の意向意見は日常的に送迎時に話す、連絡帳などで聞き取るようにしている。又意見箱を用意し様々な手段をとって把握に努めている。・頂いた意見は職員会議での周知とともに改善に向けて話し合い直接答える、園内に張り出す、園だよりで答えるなどしている・公立保育園運営協議会のアンケート、第三者評価での意見は職員会議内で議題とし解決に向けてプロジェクトチームを立ち上げ改善させる

◇上長への報告について・・・２件

・連絡帳への要望の記載や直接保育士に伝えてくることの内容は、事務室で情報収集するような体制になっている。・担任保育士だけでなく、園長、専門職が連携し解決に努め、必要に応じて保育課へ相談している

・保育士が受けた保護者からの不満や要望はすみやかに調査し、園長に報告。臨時リーダー会議で周知し、すみやかに問題解決ができるように心がけている。また、園に話ずらい内容も、入園時説明会にて、第三者委員の方から、委員の活動について直接説明をしてもらい、気軽に第三者委員に相談してもらうよう声がけをしている。但し、理不尽な要求や園で対応が難しい場合には、弁護士や外部機関にも連携を図るようにしている。

◇その他・・・４件

・申し出のあったことに対しては複数の職員で対応を考える。要望にこたえられないことに対してはより丁寧に説明することが必要。

・苦情係をおき、不満や要望を聞く窓口を設けています。なにかでた時は迅速に対応しています。

・要望等にはすぐ対応するようにしている。

・何かあったら言って下さいとは言っているが、誕生会など保護者参加にしているが「満足です」という答えがかえってくる。

（17）保護者に対する外部の苦情窓口（行政や第三者委員会）の周知について　16件

◇入園のしおりの活用について・・・８件

・「入園のつどい」にて周知
・入園案内に記載しております。第三者評価は 7 月に行う予定です。
・園内掲示、しおり記載、入園説明会や保護者会等機会あるごとに周知に努めている。
・入園時に説明、しおりに記載
・入園のしおり(重要事項説明書)や園だよりに記載し、年度当初の懇談会でも具体的に伝えている。
・保護者に対する外部の苦情窓口の周知については、園舎内の掲示、入園のしおりに記載、園だよりに記載しています。
・入園時、新年度当初の園だよりで苦情解決制度を利用できる事を伝えている
・重要事項説明書に記載し、懇談会で周知。

◇その他・・・８件

・外部の方々との交流を深められるようにしていきたい。
・年度の始めに保ご者に伝えている。園内での苦情窓口についてはこんだん会時に伝えている。
・苦情窓口として行政や第三者委員会は周知しております
・年に何度か苦情窓口について周知している。もっと活用してもいいことを伝えていく。
・こちらが至らない場合の相談ができる場所として話している
・院内保育所なので苦情は所長（事務長)、もしくは看護部長へと伝えている。
・保護者があまり知らないかも知れない。
・保育士が受けた保護者からの不満や要望はすみやかに調査し、園長に報告。臨時リーダー会議で周知し、すみやかに問題解決ができるように心がけている。また、園に話ずらい内容も、入園時説明会にて、第三者委員の方から、委員の活動について直接説明をしてもらい、気軽に第三者委員に相談してもらうよう声がけをしている。但し、理不尽な要求や園で対応が難しい場合には、弁護士や外部機関にも連携を図るようにしている。

②小金井市の保育の課題や小金井市に期待するもの

◇組織間の連携について・・・７件

・待機児童対策として保育園の増設など進んでいるが、保育内容（質）においての話し合いが出来ていないことが不安である。
・行政との交流を密に持てるようにし、情報交換ができるようにしてして欲しい。小学校との連携も含む
・幼、保、小、中と連携を厚くしていける様その間を、とり持って頂きたくお願い申し上げます。
・小学校との連携が無いことに不安が多い。また、公立保育園との連絡会も無い。幼・保・小・中、の連携、連絡会など、情報を提供し合える環境を作ってほしい。
・保育に携わる職員が「子どものため」「保育に必要なこと」と考え計画したことに専念できるようにしたり関係機関と連携ができるような環境を整えてくれることを期待します。
・課題として考える事→他機関、他部署と連携を強化し様々な家庭への支援を強めること・保幼小の連携・障がい児保育、配慮が必要な家庭への支援体制・待機児対応のために多くの保育園が建てられているが環境に恵まれていない園もありそこへの支援・災害時の対応・人手不足・　期待すること→公民園だけでなく全ての小金井の子どもたちが健やかにのびのび生活できる体制づくり(子育て環境日本一の実現)
・子育て環境日本一と掲げているならば、それをもっとアピールできるような他市にはない子育て支援策を打ち出してほしい。乱立する保育園を統括するところがない。地域ごとの連携も幼保小の連携もない。希望に満ちた指標が欲しい。

◇公園について・・・６件

・公園を作って下さい。ジャノメがなくなると公園不足で各園大変なことになります。

・0~2 さい児が安全にのびのびと遊べる公園を増やして欲しい。道はば（道路）の整備。

・公園の整備（修復）、安全に子どもが遊べる環境をお願いします。

・公園が少ない（園庭のない園の数に対して）

・保育園がたくさん出来たので（園庭のない園）遊び場が少ない状況になっているので、もう少し公園を増やしていただきたい。

・小規模保育施設は増えたが園庭のないところが多く散歩や公園での遊びは制約が多い。赤ちゃんならともかく３才以上上の子にとっては充分な運動量ではない

◇保育士の確保について・・・４件

・保育所が増えていく中、園庭のない園も多くなっています。子供には外遊びが大切、保育士が足りなくては外にも出られません。保育士不足に不安を感じています。

・小金井市に限らず、園庭かそれに準じた場所で遊べるよう、余裕をもって子どもを見られる人員配置、狭すぎない教室等期待はつきない

・待機児童解消の為に沢山の園を開設したけれど、保育士不足により保育の未熟な人の集まりばかりになっており、散歩で公園で一緒になる時が多く、公園から子どもが何人も出ていってしまうのを見ていなかったり、散歩中子供を忘れて進んで置き去りの子が居たり、こちらが手助けできたから事件にならずに済んだと思う。子供も可哀想だが何も知らない保育士も可哀想でならない

・次々に新しい保育園ができているが、子どもが減った場合どうなっていくのかが疑問。保育の質はすなわち保育者だと思う。保育者が育っていける状態にしてあげて欲しい。

◇研修の機会について・・・２件

・人材育成、離職防止のための保育士向け研修などを充実してほしいです。「みどり号」に代わる園外保育で利用できるバスも是非お願いします。

・”保育”とは、そもそもどういった取り組みなのか、どのような制度なのか、その基本的なところを十分に理解する機会を作って欲しい。

◇巡回相談について・・・２件

・開園以来、保育課の担当の方が保育園巡回指導にお見えになっていない。これまでの自治体では、保育士経験者が年に数回巡回に見えて、相談、指導等寄添って頂けた。ご検討下さい。

・補助金については、近年市からの情報が増え、様々な補助金を頂けるようになったことは感謝している。保育制度がめまぐるしく変化している中で、数年にわたって在籍してくださる職員がいないため、苦慮することが多い。逆に、園長などが助言することも多いため、そのあたりを配慮して頂きたい。また巡回相談について、経費や複数の専門職の巡回など民間と公立保育園の格差があるため、格差の解消に期待します。また、公立保育園のサービスの拡大（児童一人当たりの面積基準にあった定員数の拡大。延長保育時間（午後７時以降）の延長や土日休日保育、病児病後児保育、一時保育や障害児保育の年齢と定員数の拡大。子ども家庭支援センターや要保護児童の受け入れ先としての機能の充実など）や民間へ委譲すること、待機児童の解消などを期待します。もし公立保育園の存続があるのであれば、これらの課題の解決をセットとして考えて頂きたい。

◇障がい児保育について・・・２件

・① 障害児保育の充実 ・障害児保育を実施している園は多くあると思いますが、いずれも定員が決まっていたり、年齢による枠があったりしています。ある程度の枠はあった方がいいとは思いますが、年齢枠を引き下げる等の検討ができるといいと思います。現状だと、明らかに加配が必要だと思うお子さんも、障害児枠がないため、健常児枠で入園するケースがあると思うので。 ・障害児を受け入れていく中で、職員のスキルアップは必須です。講義だけではなく、実際に療育の現場で研修をする等実践に役立つ研修をすることで、職員のスキルアップがなされ、どの園でも障害児を受け入れやすくなるのでは？② 保育の量ではなく質の充実 ・待機児解消の為、多くの新設の保育園が出来ていて、保育の量は伸びていると思うが、保育の質が追い付いていないのでは？・公立、民間問わず、経験の浅い保育士が増えてきている中で、愛情を持って子どもたちを豊かに育てることに重点を置いて 欲しいというか、預かるだけの保育にならないような取り組みをしてほしい ③あそび場の確保 ・園庭が無い保育園が増えていて、近隣の公園に行くことが多いと思う。認可園でも、園庭を毎日存分に使えるわけではなく、 乳児と幼児で分けて使ったりしているので、公園で他の園とバッティングしてしまう事も多くなっているので。保育園の数と同じくらい、子どもが安心して遊べるスペース（安全できれいな公園）があるといいと思います④ 地域の子育て支援の中核になる ・地域に開かれた子育て支援の中心的な施設として、園庭開放だけでなく、定期的な子育て支援事業の充実を図れるとよい・地域の保護者の子育て力を高めるための取り組みができるとよい

・０歳児からの障がい児保育について問い合せが多いが、しっかりと加配がきできないため対応できない。補助の拡充と認可園での受け入れが必要だと感じています。

◇その他・・・８件

・保護者に必要な保育時間の設定について、短時間等、市で決めてほしい。

・申請書や、請求書等の提出期限が短いように思います。

・これだけ多くの民間園があり、小金井市の子ども達の多くが民間園で育っているにもかかわらず、相変わらず公私の格差があり、その格差をもって公立園の保育は質が高いと言われているように思われます。公立園は民間園に比べて、経験を積んだ人材が多い事、給与の高さから人材の確保や定着がしやすい雇用の安定性があること、　公的関係機関との連携がしやすいことなどから、比較的重度の障がいやアレルギーなど特別な配慮を要したり、養育困難なリスクを抱える家庭で児童相談所や子家センターの支援を受ける子どもを定員に関わらず、また、当事者任せにせず、積極的に受け入れていただきたい。それが小金井市の公立園の役割ではないだろうかと考えます。

・小金井市の計画として、令和４年公立保育園の民間移譲があります。計画が平成３２年~令和４年に延びたことで、不安に思う保護者の方々や職員の声があります。子ども達にとって、今とこれからが大切です。その子ども達にとって、保育園で働く職員が変わる事は、できることなら経験して欲しくない事という思いはずっと深く抱えています。民間移譲していく引継ぎの期間と移譲後、子ども達と保護者の方々が今までと同じように不安に思うことなく保育園で安心して生活できるような引継ぎの様々な対応が小金井市の課題だと思っています。どの子も平等に伸び伸びと育つ環境を望んでいます。３０年前は広い園舎、園庭、プールがある保育園が多かったと思います。　現在は園庭、プールがある園は恵まれているという状況です。子ども達にとって、いつも安心できる大人と友だちがいて、自分の大好きな場所と大好きな遊びを遊び込める環境と、おいしい給食を食べられて。これから生きていく根底の時期を、本当にいい環境で生きて欲しいと考えています。　年々、アレルギー児、障がい児、医療的ケア、要保護児童が増えています。どのお子さんも近隣の希望する保育園に入所できるような保育環境や職員の人員配置、専門機関とのさらなる連携と保育体制を期待しています。　地域の子育て世帯の支援のため地域支援事業に取り組んでいます。園庭開放や子育て相談、「くりのみで遊ぼう」、給食の試食会、ミニ劇場などの他、看護師や栄養士が児童館で出張講座などを行っています。地域との関係を深め、地域に根ざした保育園としての、さらなる対応が求められていると思います。災害時の二次避難所としての役割と対応についても、大きな課題です。ここ近年、小金井市に待機児解消の対策として、たくさんの保育園が開設されています。小金井市として、保育アドバイザーの配置が必要だと思っています。すべての子どもが安全で安心できる環境と職員体制で保育が行われ、保育課、保育園、保護者の連携の役割を担って欲しいと期待しています。

・すべての子ども達が分けへだてなくすこやかに成長されるようにそして頑張って働く保護者にゆとりが出来るように生活の質が向上されることを願います。

・せっかく小金井市は緑多く子育てし易い町なのに、年度の途中で引っ越して来たり出産した人たちを受け入れる小さな保育室を少なくしてしまいました。子どもは箱が育てるものではなく「人」が育てます。今のように企業保育園が増えてしまった事を残念に思います。

・駅前の駐輪場の充実、路線バス、シティバスの本数の充実

・業務用ゴミの無料等の優遇措置を、企業主導型保育園にも拡げていただきたいです。

③　小金井市らしい保育の特色として大切にして欲しいこと

◇自然・公園について・・・13 件

・武蔵野の自然豊かな小金井は、子育て環境にとって非常に大切に感じてきました。次々に高層階の建物ができ始め、寂しさを感じています。

・公園が周りにたくさんあるので活用して、地域との関わりも大切にしていきたい

・自然環境を大事に市の公園の設備を整えて頂きたくお願い申し上げます。

・多くの自然の中で子ども達の主体的な活動を尊重できるような保育を行い、保ご者や市民が子育てをする中で保育園が相談できる存在でいられるようにして欲しい。

・大きくもないし名物もないし先進的でもない小金井市。でもだからこその安心感や、昔ながらのものや、自然あふれる場所が随所にある。のびのびと遊べて、その子らしく生きていける、それを保障する環境を維持し、地域で子どもを育てたい。

・緑の自然を大切にしてほしいです。

・川沿いを歩いたり、川に入れるのがわの存在や緑を保有する者だけでなく、大人達が子ども達のために大切にしている、していくことを機会があるごとに伝えていく。

・沢山の緑と水が残る小金井のこの自然環境は子どもたちにはかけがいの無いものです。老若男女問わず自然とのびのびと自由に触れ合える場所があることは学びの宝庫です！いつまでもこの自然が守られるよう大切にして欲しいです。

・小金井公園、野川公園と大きな自然あふれる公園があり、子供を育てるには素晴らしい環境です。保育園で過ごす時間は長いです。どの様に過ごし６年間送るかは本当に重要。どの園の子供達も自然の中でのびのびと遊び込んで欲しいです。

・子育てがしやすい環境（緑が多い）を大切にし、必然性のない道路の拡張作業工事や公園に手を入れることはやめてほしいです。

・自然が豊かな方だと思うので、沢山自然と触れ合う保育

・四季それぞれに感じられる豊かな自然は子どもの情緒の発達にもとてもいいと思う。プレイパーク（学芸大、くじら山）のような所は素敵では

・緑豊かな小金井市、公園の整備。園が増えたことにより、公園難民になることも多々ある。しかし保育園は園庭があるので園に戻ればいいが、近所に住んでいる子育て中の方々が安心して遊べる公園がないのではないかと心配になる。時間帯や年令、人数、曜日など市で決めてもらって市内の子どもたちが楽しめるようになって欲しい。

◇主体性や尊重について・・・３件

・①主体的に遊ぶ ②その子らしさを認めあえる関係③自己肯定感を持ち、素直に自分を出せる ④豊かな感性と温かい愛情を注がれ、安心できる環境の下で信頼できる大人と関わる⑤保護者の方が安心し、信頼できる

・子ども一人ひとりを大切に、子どもの気持ちを尊重し、いつもそばに寄り添う保育。それぞれの個性を見つけて発揮できる 環境と仲間づくりと自分でやりたいことを見つけ出し、そのことに夢中になれる力を育てる保育。 自分自身を大切に思い、友だちを認め、力を合わせて取り組む力を育てる保育。 保護者と共に子どもの成長と子育ての楽しさを共感できる保育。 地域に根ざしていて、近隣の農家でお芋ほりをさせてもらったり、鉄道会社との交流、地域の方による絵本の読み聞かせ、職員ＯＢによるお話会やマジックショーなど、地域と連携しての取り組みは、地域に支えられていると感じています。 野川と野川公園、多摩川上水、小金井公園、近隣にもたくさんの樹木や自然がある環境で、春は桜と鶯の鳴き声やおたまじゃ くし、夏はセミの抜け殻と川あそびのザリガニつり、秋は落ち葉とドングリ拾いとサツマイモ堀、冬は氷や雪あそび、と自然の中で四季を感じながら保育できる環境を大切にして欲しいと思っています。

・トップダウンではなく、職員みんなで保育の内容、計画を検討し積み上げげて作っている事。・乳幼児期をこれから生きていくための力を身につけていく大切な時期ととらえて保育にあたっていること・小さくとも１人１人が人格をもった人として尊重されていく事を大切にしている事・子どもをまん中にして保護者と共に子どものことを考えて保育をしている事

◇保育の質について・・・２件

・新たな補助金等に速やかに対応していただけることを感謝しています。定期利用保育や家賃補助にいち早く取り組み、午睡センサーも導入できました。今後は、どの保育園で生活していても小金井市の子どもとして健やかな成長を保障する小金井市らしい子育て支援施策を生み出してくださることを熱望いたします。

・上記にも記しましたが、大切なのは経験豊かな保育士を育てることです。（良い保育を目指すなら・・・）施設が大きい小さいではなく、長く施設、保育士が金銭的に不安なく保育できる環境を作ってほしいと思います。緑が？れより、公園も？れあるこの環境は大切にしてほしいと思います。

◇その他・・・４件

・市内に大学も多いので、大学とも連携し、先を見こして、保育を行うことを特色としたらいいのではないか。

・こきんちゃんキャラクターのようにもっとジブリキャラクターがあふれる小金井市になるといいなっと思います。あちこちの（公園、保育所）にポニョやトトロやキキがいてほしいです

・いまだに公立５園が残っている市は珍しい。民間化の波がきているが、公立としての役割を残したものにして欲しい。

・子どもの権利条例があること。施設・保育内容・職員の研修など充実してほしい

（２）保育者への簡易アンケート集計結果

①　第三者の調査評価

（１）保育所が行う子どもの心身の発達に役立つ活動について　　　　　　　　　　　３４件

◇遊びや生活について・・・８件

・日々の遊び生活の中で身体機能の発達を促す遊びを提供していっている。

・散歩、リズム、わらべうた等を多く取り入れていく中で個々の発達状況を保育士間で確認し必要な援助なども話し合い行っていけるようにしている

・園では「プレップ」というカリキュラムを取りいれ、子どもたちに経験できる事を増やしています。

・一つひとつの活動がじっくり取り組めるよう、時間をしっかり取ったり、おもいっきり遊べるよう、環境を整えたりしている。

・１歳（０才後半）～幼児まで幅広く楽しめるリズム遊びに力を入れている。職員会議の中でリズムあそびスキルアップ講座がある。

・体操指導を行っている事で、その年齢に合った事を行い、心身の発達につながっている。

・外遊び（おさんぽや庭・公園等身体を動かし、自然と触れあう）や絵本を読んだり、歌を唄う、ごっこ遊びで情操を育てる

・室内だけでなく戸外で思い切り身体を動かす活動を取り入れることで体力面も気持ちの面でものびのびと過ごせると思う。

◇野外・自然について・・・７件

・戸外での遊びを大切にし、自然と触れ合う中で心身の発達を促している。
園の理念の元、野川公園など遠方の公園にも徒歩で行くことで、十分な運動量を確保し、子ども達の身体づくりをしている。

・戸外保育を重点的に行っています。戸外では四季問わず、泥水遊びを行い、五感を養っています。遊びを通して心の満足が図れるようたくさんの玩具を提供しています。

・基本、毎日の日課は変えず、安心して活動に取り組め、休息時間も設けている。屋内、戸外あそび、散歩、リズム、製作など幅広い活動を計画している。

・戸外遊び（自然に触れる機会を多くもつ）、リトミック、季節に合わせた歌や紙芝居、年齢、発達段階に応じた製作など。

・安全に配慮しながら、戸外あそびを重要視し、お散歩を楽しめるよう活動。たっぷりあそぶことで心身とも、満たされる子どもたち。

・自然の移り変わり等を肌で感じられる野外での保育。事前に決められた活動もあるが、基本的には子ども達自身の興味が赴くまま時間や予定に区切られない連続的な遊び。更には、その連続性が１日の活動内だけでなく、翌日、翌々日へと続いていく。子どもの好きなもの、興味あることをやり込める保育であること。

・自然や季節の移り変わりを感じながら散歩や園外保育、川遊び、プール遊び等を経験し楽しさを感じながら五感を働かせ、自ら学べる保育の実践。年齢や発達に応じた遊び(室内、戸外)や保育計画と実践。・子ども達がお互いに個性を認めてあげられる異年齢保育の実践。

◇保育計画について・・・６件

・全体的な計画を元に、心身の発達を促す活動をとり入れている

・年カリ、月案の立案、自ら考え判断し行動できる力は充実した毎日を送ること。すべては生きる力につながっている

・子どもの発達に合った保育内容と計画をたて、日々の保育をしている。友だちと共同したり、それぞれの達成感が味わえるような行事の設定をしている。毎日の生活の中で子どもが主体的に生活できるよう援助している。

・異年齢保育（0～６才児）だが、各々の発達を促す活動が出来るように保育内容を設定している。

・日本の伝統行事、季節の行事を取り入れ、やさしさ、思いやり、感謝の心を育むように計画している。

・月　体操教室、英語教室　火　ダンスレッスン　木　トリミック　金　お絵かき教室　主に幼児クラスだがカリキュラムの時

間がある

◇交流について・・・３件

・異年齢ですごすことが多いのでそれだけでも十分と考えている。

・子ども同士で話し合う活動を入れるなど、コミュニケーションがとれる場面をより多く作っていく。

・集団の中での相手を思いやる気持ち、言葉かけなど学べる場になっている。

◇個々の様子について・・・２件

・発達段階を踏まえ、目の前の子の一人ひとりに合った関わりと発達において必要な活動や援助を行うようにしています。

・少人数保育の中で一人ひとりに合わせた保育を心掛けている。

◇その他・・・８件

・子ども自身が考えて行動できるように保育者がなんでも指示を出さず、見守ること。

・長期的な視野を持って心身の発達を促す

・不適切保育に関する話し合いの場を職員間で設けた。

・一人ひとりの発達にあわせた活動、働きかけを行っている。子どもたちの成長を見通して活動を考えている。

・「うまれてきてくれてありがとう」という命の誕生の話をする行事をし、に役立つ活動について
自分が愛されて生まれ、大事な存在だということを伝えている。〝

・個人の発達に合わせて働きかけを行っている。

・定期的な専門機関の活用（巡回心理等）。

・遊びを通した総合的な指導を目指し、保育者も研修にいったりして学んでいるところです。

（２）子どもが興味や関心を持って活動を行えるようにすることについて　27 件

◇保育計画について・・・13 件

・季節に合わせた行事や製作を行っている

・各クラスの年間カリキュラムや月案の中でどのように育てるかを園全体で、毎月話し合って提供していっている

・園独自の幼児教育プログラムの実施。

・子どもたち一人ひとりのようすや、季節等にあわせて、関心をもって行えるよう活動内容を工夫している

・指針に基づいた月案、年カリの計画、反省をもとに継続的な計画の立案

・絵本により興味をもってもらえるよう、絵本貸出コーナーに絵本のキャラクター人形であそべるコーナーを月１回毎行っている。

・心身共に健康であり、安心できる場所であることで子どもの活動が広がっていくと考え、保育の基盤としている。また、保育の中で興味関心に気づいていけるスキルも磨いている。子どもの発達に合った保育の計画をたてている。

・全ての子どもが同じように興味、関心を持つことは難しいが、活動前の導入部分をとても大切にしていて、色々駆使しながら楽しめるよう努めている。

・遊具がなくても、自然とふれあい、工夫して自分たちで考えながら遊ぶ。また自分たちで調べるよう促していく

・クラスの子が興味を持つような活動や遊びを取り入れ、いつも同じではなく、毎日違う保育を行っている

・興味・関心に応じた活動設定。意欲を高められる環境設定、保育者の関わり。

・子どもの興味関心をとらえ、次の保育にいかせるような話し合いをしたりしています。ただ時間が限られているため思うようにできないことも多くあります。

・季節毎の行事を大事に行っています。その集大成でクリスマス会で劇や歌や踊りを披露しています（家族をよんで）

◇環境整備について・・・５件

・子供に対して多角的なアプローチができるよう自分自身もいろいろなことに興味を持ち知識を養う

・環境を大事にしている。幅広い、発達に合った教材を用意し、じっくり取り組めることを考えている。

・子どもたちがどんなことに興味関心をもっているか把握し、それに見合った環境を整えている。

・室内は０才クラスから棚や子どもの手の届く所にオモチャや玩具を置き、自由に選び遊べるよう、子どもの関心を大事にした環境作りをしている。

・大人、先？でなく、見守ることや、どんなことに目が向いているのかを、大人はアンテナをはっていく

◇玩具について・・・４件

・わざと、月齢より低い玩具を提供したりして新鮮さを遊びの中に取り入れている。

・子どもが興味関心を持って遊びを自由に選択する事が出来るよう、充実した量と種類の玩具を用意し、それらを子ども達が自由に選択し取り出せるよう設置している。また、日々の生活の中で子どもたちが興味関心を持ったことに対して十分に探求できるよう絵本や図鑑も充実させ、知る事の楽しさを感じ、より興味関心を高める事が出来るようにしている。

・乳児が使える遊具を増やしてもらいたい。

・年令に合った活動を計画し取り組んでいます。室内のあそびについては細めに玩具の入れ替えをし、個別あそびも提供しています。

◇共感・寄り添いについて・・・２件

・保育士がまず興味を持ち楽しむこと。子どもの目線に立って共感し一人一人のタイミングで活動できるようにする。

・まずは、子どもの興味関心に寄り添う。何に興味を示しているかじっくりと見て、気持ちを表現する言葉がけを行う。また、子どもの気付いていない様々な楽しさ（風の音、花の香り、色、雲の形、など多数）がある時は自らが楽しんでいる姿を見せる。そこでの感覚の違い（花の香りが良いにおい、くさい等）も個々の感じ方として楽しみ、驚き、受入れる。また、季節によって全く違う姿の自然も、その時にあった童謡を歌って目と耳で感じられる様に心がけている。

◇自主性について・・・２件

・子どもが何に興味を持っているのかを感じながらそれが意欲的にできるような環境を考えていっている。関心も多く持てるような環境も常に考えるようにしている

・子どもの自主性を育む為、遊びでは保育士が提供しすぎず、子ども達が自ら選べるようにしています。又、行事等も無理強いせず参加型にしています。

◇その他・・・１件

・園周辺にある、身近なお店や植物に対して声をかけ興味をもっていけるように声をかけています。ただ、今、保育園での人材がたりていないので、準備をする時間の確保が難しく、幼稚園より行事が不足している現状です。

（３）子どもの状況に配慮した食事の提供について　31 件

◇アレルギーについて・・・12 件

・特にアレルギー児については、食器やネームタグの使用など、対応を徹底している。

・給食室の職員との会議を設け、子ども達の給食の様子を共有し、状況に応じて提供の仕方を考えている。アレルギーのある園児、宗教上の理由での除去にも対応している。口内の怪我等で配慮が必要な場合はメニューを変更して柔軟に対応している。

・アレルギー児ノ除去食の対応はもちろん、宗教上の理由でも除去の対応をしています。除去の際は誤飲がないよう、おぼんに乗せて運ぶ等見た目で分かるようにしています。

・子どもたちの食事段階、アレルギー児に対して、職員や保護者とよく話し合い、誤食にならないよう、工夫をしつつ、食べる

楽しさがもてるようにしている。

・年齢別のクラス分けにとらわれず個々に合わせて離乳食を提供したり、アレルギーや宗教食の対応も可能な限り行っている。

・手作りのメニュー、季節の旬の食材、行事食のメニューをとりいれている。アレルギー食に対応している

・アレルギーの配慮や文化の違いに応じた食事を提供するのはもちろん、1才児でも乳児食が難しい場合は離乳食を提供するなど、給食室・栄養士と連携して配慮している。その日の子どもの体調によってお腹にやさしい食事の提供もしている。

・アレルギーに応じて除去食、代わりのもので提供。食事の量も個々に応じて違うため、食べられる分を配慮して出している。

・個々に応じてアレルギー対応。また配慮が必要な子は横で見守り、食事の量（たべない子）の調整も行う。

・アレルギーや体調によって食材やメニューを変える等で対応しています。

・アレルギーなど個々に対応している

・アレルギー児には除去食を提供しているが、皆とできるだけ同じメニューが食べられるよう配慮している

◇献立計画について・・・７件

・月齢や季節の物、行事にあったものを出している

・子どもひとりひとりの食べ方、量など把握し、給食室職員を含め話し合ってその子どもに合った食事を提供したいと考え行なっている（無理のないようにしている）

・おやつを手作りのものを増やし、果物の提供を増やしたい。

・安全性の高い国内の食材、市内の野菜等の使用。マイファームとの継続したつながり

・1人1人、食べられる量や苦手な物も違ってくるので、個々に寄って対応している。

・栄養士との連携。

・園では地産地消の取り組みをしています。行事の時には行事食を提供しているが、今後は郷土料理など保護者を含め食に関心が持てるようにしていく必要があると思う。

◇発達段階について・・・６件

・離乳食、移行食、完了食（幼児食）のすすめ、アレルギー食も個別の対応を行っています。

・離乳食は家庭と連絡をとりあいながら進めている。アレルギー食は医師の診断により、提供している。食事量は子ども一人ひとりに合わせ調整している。

・離乳食表の目安と照らし合わせながら、えん下、そしゃく等子どもの全ての状況により、形態等を栄養士と相談しながら決めている

・個人の発達に合わせた離乳食の段階を、保育士、栄養士、看護師とで相談しながら決め、アレルギーの配慮食にも対応している。

・2才児は、調理保育（玉ねぎの皮むき、ピーマンさき等）0才児は、中華麺、揚げ物など油の多い物は出さない

・年齢、発達に合った離乳食、アレルギー配慮食、宗教食などお子さんに合った食事の提供をしている。

◇食事方法について・・・４件

・食べることが楽しいと思える雰囲気作りや食育を行う。

・一人ひとりの食の状況をみきわめ、無理強いすることなく、長いスパンでとりくんでいる。

・苦手なものの多い子には自分で盛りつけられるようにしています。子どもとのやりとりの中で少しずつ口にできるようにしたり、食べない選択もできるようにしています。

・個々にペースが違うので、それぞれに合った時間配分を見て関わり、様子を見ている。

◇その他・・・２件

・直食、おやつ共に手作り。

・弁当持参

（４）保育所の生活における身近な自然や社会との関わりについて　　35件

◇外遊びについて・・・15件

・自然の中で、たくさんの植物等を見たり感じたりのびのびと遊んでいる。

・散歩、戸外あそびを多く持つようにしています。園外の活動の際は３名以上大人が引率する体制をとっています。

・散歩をしている中で触れています。

・はだしやどろんこ遊びを園庭でたのしんでいる。年長児近隣の老人施設との交流あり。

・野川や公園での戸外活動を通して様々な動植物に触れ、園で飼育したり図鑑で調べたりしている。5歳児は公共施設巡りやお店巡りもしている。

・豊かな自然に恵まれた環境で、散歩や庭遊びから季節を感じたり自然と触れ合う機会がある。保育の中にも意識して取り入れている。散歩時には交通ルールを伝え、近隣のデイケアセンターとの交流、学校訪問、施設見学、お店巡りを通して社会を知らせている。

・体力づくりや裸足でどろんこ遊びをしたり、老人施設との交流を設けたり、商店街へ子どもを連れて見に行ったりしている。

・自然豊かな公園がたくさんあるので、散歩に出かけ、四季折々の自然に触れ親しむ。夏まつり等で地域の方と関わり楽しむ。

・毎日場所を変えて散歩にでかける。幼児になると年数回は電車で遠足にいく

・探索や探究、散策などを通して、伝えていく。五感をふるに使って楽しんでいける活動や生活を考えていく。

・野外保育であるため、自然の中で五感をフルに働かせながらあそび、育つことの出来る環境である。社会との関わりについては近所の方との挨拶を交わすことから始まると思っているので、私自らが見本となる様努めている。

・野川でさんぽ（花見でお弁当を食べる）や神社の池の鯉や亀にエサやりに行ったりします。

・裏面に記入。少人数・異年齢保育のため、戸外活動を多く取り入れたり、他園の園庭開放や移動動物園等に参加させてもらっているが、他にもオープンに参加出来る行事を増やしてもらうことで、多くの大人や子どもたちと触れ合える機会が設けられると良いと思う。

・近隣の公園、野川公園、武蔵野公園、川遊び、川や原っぱ、公園などで小動物や昆虫とのふれあい、各クラスでの飼育や成長の観察、草花遊び等季節ごとの遊びを経験している。他にも季節ごとのピクニック・遠足などもおこなっている。・鉄道会社の方が来園してくださり、園児に電車遊びを通して電車でのマナー等の話をしてくださったり、園のあきまつりに遊びに来てくださることもあります。近隣の老人通所施設での交流、園庭解放、アップル劇場、地域試食会、芋掘り、などの経験から社会との関わりを計画し体験している。

・戸外活動において図かんを持ち歩いたり生き物や植物に触れる時間作りを積極的に行う。

◇地域交流について・・・14件

・老人ホームと交流したり、散歩に出ている。

・野川の自然を日々の散歩から感じとっている。挨拶をしたり老人施設訪問、地域の方々との関わりを多くしている。

・四季を感じられるよう子ども達が目で見て触れていけるよう考え散歩先などを設定している。老人介護施設で触れ合ったり消防署など見学に行ったりしている。

・園庭だけでなく、野川公園、湧き水広場等へも行っている。川遊びや木登り等、自然の中でしか体験できない活動を積極的に取り入れている。また、介護施設への訪問や、行事の中で地域の商店街の方との交流もしている。

・近い野川公園がある為、夏場は川遊びや木登り等をして体を動かしています。又、散歩時には商店街の方々との交流や、さくら体操を通して年配の方々との交流も設けています。

・自然物を使って遊んだり、虫や生き物を飼ったりする機会を設けている。福祉施設への訪問、大学との交流も行っている。

・近隣の中学校の授業に協力して中学生が子どもたちと関わる遊びの企画を作り、そこに参加したり、老人施設を訪問する等、異世代交流を行っている。

・サマーキャンプ、遠足で色々な事を学んだり、ハロウィンなどの時は、近所のお店の方々と関わり、関わりを増やしている。

・近隣店舗等地域交流（行事含む）。公園や畑の利用。

・近隣の八百屋へ買物に行く、室内に季節の花をかざる

・挨拶などしっかり行う。子どもも大人も

・散歩で自然に触れる機会を多く作ったり地域の高齢者施設との交流をする。地域の畑での芋掘り体験

・園のまわりの自然、地域の人々との交流など、恵まれた環境を保育の計画に取り入れ、子ども達に豊かなふれあいを創出している。

・近隣の農家の方に果物の収穫体験をさせて頂く交番や消防署に行き交流する事もある。

◇四季について・・・４件

・外に出れば四季を感じられる環境であり、自然に関われているが、室内や食卓に季節の花を飾り、子どもたちも気がついている。園以外の人と関わる行事や機会をもっている。

・戸外に出かけ身近な自然や季節の変化に気づかせたり、交通ルール等望ましい習慣や態度を身につけている

・庭や散歩先の小さな虫探しや、道端の小さな花、季節を感じる景色を子ども達とたのしんでいる。

・のびのび自然にふれられる場所を散歩コースに入れ、季節も感じながら遊ぶ。また地域のイベントに参加交流。

◇その他・・・２件

・戸外活動を主としているが小金井市は公園がとにかく少ない。年齢に合った遊具、水道がないので困る。

・広い園庭があり自然とふれあっています。社会、他園とのつながりについては全くなく、課題です。

（５）保護者の状況に合わせた保育時間の変更について　２３件

◇柔軟対応について・・・11 件

・育休、休職中でも時間を変更し預かっている

・仕事の状況・家族の状況など話しを聞き、状況に応じてはできる限りで保育時間を変更している。親に無理のないよう考えている。

・個別に、その家族に合った保育時間を提供し見直しをしている。

・急な延長保育も事前に電話をもらう事で対応している。その為の保育士の人数調整もしっかりとチェックし不足になる事のないよう配慮している。その他土曜保育等も保護者の状況に合わせて必要書類の提出をしてもらう事で対応している。

・保護者より依頼があった際、保育時間の変更の対応を行っています。

・変更時は保護者と相談して対応している。

・お迎えが 18 時を過ぎてしまった子にはおやつ、指定の時間までにお電話頂ければ補食の対応も行っている。

・保護者のニーズに合わせ、都度可能な限り時間変更への対応。

・保護者の残業に対応した時間外保育を行っている。

・都度受けつけている

・延長 19 時まで行っている為（朝は 7:30 より）、現状保護者のニーズに沿えていると思われる。

◇保育時間について・・・５件

・融通性があるが保護者によっては、必要以上の保育時間でどうなのかと思う

・人手が足りず、長時間の開所が難しい。

・課題は、保護者の保育時間への意識。通常も守らない人が多く、職員の勤務に負荷がかかっている。

・保育園の閉所時間が決まっていないので 19：00 までとか決めてほしい。

・子どもが、犠牲になるのはおかしい。子ども中心に保育時間を考えてほしい。

◇急遽対応について・・・３件

・急な保育時間変更の対応は行っている。開園時間外であっても迎えが来るまで対応している。

・急な勤務の変更にもできるだけ対応している。制度として日割りの延長保育(スポット利用)があればいい、と考える。

・緊急的なものには対応しますが、日常的な時間の変更は基本的に行っていません。

◇事前設定について・・・３件

・仕事の都合や、家庭での都合でお迎えが遅くなる際は事前に連絡をして頂き、お預かりしたいます。保護者の毎年の状況に合わせて職員同士話し合い、預かりの工夫をしています。

・変更届け書類を提出して頂くことで、変更可能である。（状況に応じて）

・保護者からの要望も聞きつつ園長と連携をとりながら行っている。

◇その他・・・１件

・園長に申し出て変更

（６）安全対策について　29件

◇注意配慮について・・・17件

・散歩コースで危険個所がないか確認する

・飛び出し防止ネットを付けたり、保護者が先に出るように声かけや貼り紙をしたりしている。

・ヒヤリハットを上げて、原因、対策を全体に周知しています。

・定期的に職員内、あるいは保護者とも協力しあって、安全点検ツアーを実施し、改善につなげている。不審者対策について警察の方からアドバイスももらっている。

・職員間で園舎内、園庭の安全対策を定期的におこない、補修している。職員間で危険個所をすぐ周知している。不審者対応マニュアル作成、職員周知している。

・定期的な安全点検、改善に努力し新年度をまたがない。長期計画の確認

・各クラス内で定期的、毎日安全を点検しながら保育し、職員会議の中でクラス毎、職員同士互いに見合い、改善修繕する。

・安全点検係を決め、職員全員が定期的に園全体を点検し、危険個所を出し合い修繕、対応している。

・父母会が安全点検に参加し、不審者対策などもチームを作って対応している。欠員がある中でケガが多くならないよう見守る事には職員の努力を要する。

・安全点検表等を用いた定期的な安全確認。タイマーを用いた午睡時の安全チェック。ひやりはっとやアクシデント（怪我）等の職員間の情報共有。国内研修等での知識の共有。

・子どもが自分の体の使い方が向上するための色々な部位が使える保育を考えていくことや、園からの行動範囲内の危険か所をマップにして、園内で共有する。また他園にも伝える。室内では、月１回は安全点検とヒヤリハットの話し合いをする

・保育者自身の不注意等により事故がおきないよう常に見直しています。ヒヤリハット報告書の記入をはじめました。

・都の指導に沿って、設備面、外部の人の出入、戸外活動等を行っています。

・裏面に記入。室内では低家具を固定して使用し、角にはクッション材を貼ったり、家具の背面の木材のざらつきにはテープを貼り、事故や怪我の防止、震災対策に努めている。戸外活動は、子どもの体調、気温や湿度、熱中症情報を考慮して行っている。通年、水分補給をこまめにしている。

・日々気をつけている

・定期的な点検、安全委員会でのインシデント研修など行っている。全職員の意識づけが課題である。

・職員全体で全クラス、ホール、園庭、遊具、プール等をまわり安全点検をしている。また、毎年、父母会とも一緒に安全点検をしている。

◇防犯について・・・６件

・玄関の扉の暗証番号は定期的に変更しセキュリティを高めている。また監視カメラの設置や電話の録音機能等も新たに設置している。夜間はセコムによる警備体制を行っている。また小金井警察の方に来所して頂き、防犯研修を行い、非常時に備えて知識を学んでいる。

・防犯対策として玄関はロック式にしており、防犯カメラを設置しています。年に一度防犯訓練として警察の方に不審者が来た時の対応策や護身術を学んでいます。

・職員、保護者と共に安全については考えその都度できることは改善している。門は電子錠になっており、関係者のみ自由に入ることができる。災害の避難訓練は行っているが防犯訓練もこれからおこなう計画がある。

・日中や土曜日は玄関への施錠を行っているが、充分ではない。

・災害時は防災計画に基づいて役割分担があり、基づいて行動するよう周知されている。防犯のために日中の玄関扉は施錠してインターホン対応している。園庭側の門にはナンバー錠をして常に施錠するようにしている。保育室の安全は毎月職員同士で安全点検チェックをして危険個所がないように努めている。

・避難訓練月 1 回行なう。外部からの訪問に対して、園庭テラス、玄関施錠しているが手動の為、更に強化の課題あり。

◇対策会議について・・・4件

・社会の出き事について、いち早く職員会で取り上げ、確認し、共有していっている

・危険と思った事などはその都度話し合いを持ち、細かく話し確認をしていくようにしている。危険予測が職員様々なので充分に話し合いをする事が必要だと思う。

・週一回の保育者会議で安全対策も含め話し合う。保育者だけではなくパートの意見も取り入れる。

・保育所同士で対策について意見交換できる場があれば良いと思う。

◇その他・・・2件

・バギーや散歩で安全に通行できる歩道の整美

・安全対策がしっかりと行える予算を組んでもらえたらありがたい。

（7）保護者の状況に配慮した行事日程の設定について　25件

◇曜日配慮について・・・9件

・行事は土曜日に設定している。

・大きい行事（運動会、夏祭り）については土曜日に設定しています。小さい行事については平日が多いが 15 時や 16 時など、スタートを午後にし、保護者が参加しやすいよう配慮しています。

・こんだん会は土曜日と平日の設定を年間の中で入れている。プレイデー、祭りは土曜日に設定している。

・休みが平日の保護者も考慮し、懇談会を平日と土曜に設定したり、平日定期的に休む子がいる時にはその曜日を除いて行事を設定している。

・イベントは基本（土）設定、こんだん会も（土）を設けている。保育参観も期間が長く、面談も別日で対応している。

・行事はほぼ土・日に行っている。

・土曜日にお仕事をなさっている方も多いので、日曜日に行事を行い、全員参加出来るようにしている。

・行事は土曜日に設定（保護者参加のもの）

・父母会や発表会は週末（土・日）に行い、親子遠足は父母会でスケジュール調整をして日程を決定しています。

◇小学校行事配慮について・・・7件

・近隣の小学校、中学校の行事、地域の行事などを考慮して日程設定を考えている（できる範囲内で）

・近隣の小学校の行事予定を事前に教えて頂き、年間行事予定を作成しています。

・保護者参加の行事は近隣の小学校の行事日程もみながら土曜日に設定している。年度始めに年間予定表を配布している。

・近郊の小学校との日程確認

・懇談会は平日と土曜日に設定して出席しやすいようにしている。平日は保護者の勤務状況によって曜日の設定している。できる限り近隣の小学校との行事が重ならないように配慮している。

・兄弟がいる子は小学生のスケジュールを確認し、行事が重ならないよう配慮する。

・きょうだい関係も考慮して近隣の小中学校の行事と重ならないように日程設定をしている。

◇日程配慮について・・・６件

・早目に、お知らせを配布し、参加しやすい日程を提供している。

・平日の行事でもできるだけ保護者が参加しやすいよう、実施時刻を夕方の設定について時間に設定する等配慮している。

・自由参観と面談の日をあわせるようにしています。

・ひと月の間に兄弟関係で重ならないよう、回数もできるだけ多くならないよう配慮して設定している。

・夕方～お迎えの時間帯で行えるよう配慮。（0～2 才児なので運動会、おゆうぎ会などなし）

・少しでも多くの方がかかわれるよう設定しています。

◇その他・・・３件

・各行事（保護者参加のもの）の後にアンケートを配布し、次年度に意見等を取り入れられるようにしている。

・子ども中心として考えていきたい。保護者へのサービスは必要最低限にしたい。

・基本前年度や月のお便りに一年間の行事内容や日にちを載せ伝えている。

（８）子どもの保育に関する家庭と保育所との信頼関係構築について　３５件

◇日常の会話について・・・13 件

・親の不安・悩みを聞き、一緒に考えたり、話をしていく事で不安が安心となるようまた、悩みも一緒に解決していけるようにしながら関係を作っている

・送迎時に保護者の方と話す機会を多く持つようにしています。日々の子どもの成長を喜び合ったり、悩み等があった際は個別に面談を設けています。

・乳児クラスは担当保育士が、口頭や連絡ノートを利用し伝えあい、幼児クラスは担任が直接伝えていくことで、関係が作られている。

・保護者の悩み等、気軽に話してもらい、守秘義務を守りながら温かい言葉をかけ、共に子育てを考えている。

・日常から挨拶を交わし、送迎時に言葉を交わしてコミュニケーションを取るよう心掛けている。子どもの成長や様子をノートやお便り、会話でこまめに知らせ、保育の理解・保護者の理解、相互理解を深められるように努めている。

・職員は親身になって相談相手になるよう心がけている。

・連絡ノートのみでのやりとりではなく、何か気になることや伝えたいことは必ず、保護者の方のお顔を見て、口答で言葉を交わすようにしている。

・登降園時に直接会話を交わしたり、日々の連絡ノートで子どもの姿を共有し、関係作りにつなげている。

・自分のクラスの保護者だけではなく、他のクラスの保護者の方ともコミュニケーションを取り、信頼関係を築いている。

・子どもの良い所、家庭での頑張りや協力など伝えられる手段はすべて利用してコミュニケーションをとり、安心してもらえるように努める。

・日々の生活の中であったことなどをていねいに伝えるようにしています。いつでも面談をお受けしています。

・連絡帳では伝えきれないこと等もあり、毎日の受け入れや申し送りを一対一で多めに時間を取り直接話しをすることで構築を図っている。

・園での出来事を話し、家庭での様子や過ごし方などを聞き出し信頼してもらえるようにしているが、常に保護者の立場にたつとが必要だと思う。

◇連絡帳について・・・９件

・送迎や連絡帳で情報を交換している

・連絡帳を使っての保護者とのやり取りや、年に一回は必ず保護者と担任との面談の時間を設け、子どもの状況を共有する中で子どもにとってより良い保育を保護者と一緒に考えるようにしている。また送迎時のちょっとした時間も積極的にコミュニケーションをとる事で信頼関係を築くことが出来るようにしている。

・一日の保育について、おたより帳や、送迎時に保護者と話す時間をできるだけ作っています。保護者からの相談等については面談なども実施し、密に関われるよう努めています。

・0～2 才は連絡帳を通して行っています。3～5 才は、時間がなく書けていない事が多いです。

・幼児クラスになっても個人の連絡帳があり、日々の子どもの姿を伝えるツールとなっている。会えた時には、子どものかわいいエピソードを伝えたり、保護者の家庭状況や仕事の状況背景も気づかい、ねぎらいの声をかけたりしている。

・日々の連絡帳で日々のやりとりをベースに密に連絡をとりあっている。連絡帳だけではなくおむかえ時保護者と直接子どものようすをつたえくわしくお話しすることもある。信頼関係をきづくことを第一に考え対応している

・おたより帳と朝夕の送迎時間の会話で双方の連絡や意思疎通を量っています。

・日々の連絡帳でのやりとり、おたよりや交流会、懇談会などでの保育の発信、参観や面談の取り組み

・保護者との懇談会、個人面談、保育参観や日々の保護者との会話を大切にし、連絡ノート(個人持ち)やドキュメントで日々の保育を紹介し保育内容も丁寧に伝えながら信頼関係を築いている。

◇面談について・・・4 件

・全家庭と個人面談を年 1 回実施している（必要に応じて数回）。また、連絡ノートで家庭との連絡をとりあうようにしている。

・参観、個人面談、懇談会での保育の発信。必要に応じて面談（園長、保育士、栄養士、看護士）

・個人面談の設定や必要に応じた面談の設定。また園全体で各家庭の情報共有を行い、どの職員も適切な対応を行えるようにしている。

・個人面談習慣を設けている

◇その他・・・9 件

・保護者と連携をとり

・過去に問題があった時に、再度どのようになったかをフィードバックしている。

・プライベート、個人情報はもちろんあるが、入園する園には家庭の事情、情報を知らせてもらいたい。

・保育士確保優先のため保育士の質が悪い

・お便りの発行や写真の掲示を通して保育の見える化に努めるとともに、日頃から子育ての情報を保護者と共有することを心掛けている。

・保護者同士、保育者との交流会などがあるが参加する人が年々減っているのでもっと参加を促していく。

・信頼関係が良い保育とつながっていくと思うのでお互い思いやる気持ちが大切

・保育参観、保育参加、行事等を通じて個々の家庭のご意見や感想に迅速に対応する中で培っている。

・保育所の実態をひらくことで、不信感を抱えにくくすると良いと思う。保護者の目で見て信じてもらう。

（9）施設内の清掃、整理整頓について　24 件

◇定期的な確認について・・・16 件

・清掃場所を表にしてチェックがつけられるようにしてある。

・清掃整理整頓する箇所を明記し、担当を決めて日々行なっている。チェックして確認

・用務の職員を雇用し施設内の清掃をおこなっている。また感染症児が出た際は玩具消毒を行い、感染拡大防止、清潔な保育環境を保つ事に努めている。また、定期的に倉庫の整理や各クラスの保育室内の整理整頓を行っている。また、保育室の玩具は子どもたちが整理整頓しやすいよう写真を使って棚の整理をし、片付けやすい環境作りに努めている。

・クラスについては各クラスが責任を持ち整理整頓を行っています。保育士は子ども達が戸外に出ている間は用務員の方が清掃

してくれています。玩具消毒については各クラス毎日実施。

・清掃は時間を決めて行う。棚の上に不必要な物は置くことのないよう周知している。

・用務職員だけではまかなえない部分については、他の職員で行う。美化デーを設けて美化につとめている。

・清掃は毎日、行き届いている。そのつど、園内を良く見て安全かどうかも点検している。

・計画的な美化デーの実施。パート職員との連携

・クラスでは常に清潔で使いやすい園の環境作りに努め、全体では年間美化デー計画を立て園の環境作りに努めている。

・用務員が園全体の清掃を担当し整理担当者を置いたり、安全点検の際に美化のチェックもしているのですぐに対応するようにしている。保育の中で気づいたことにも対応するようにする。施設の老朽化が進んでいて課題となっている。

・8:00～18:00 の一日の中で 2 人の用務さんが入れ替わり清掃。会議の日は美化デーを設けて整頓にあたっている。

・清掃はパートの方に専門にやってもらうようにしている。日常の整理整頓については、クラス担任間で危険のないよう行う。

・日々の清掃、消毒。保育環境の見直し。

・終業時・始業前に行っています。洗面所やトイレは汚れた都度にも行います。

・係分担を決めて取り組んでいる。・棚の上が汚くなりがちなので、毎日の整理整頓を心がける。

・月一の安全確認表の記載　美化委員会中心の呼びかけ

◇日頃の心掛けについて・・・５件

・気づいた時に細めに行なうよう心がけている。保育上難かしい時には改めて時間を作り行なっている。気づかない職員には声をかけている。

・各職員が、気づいた時に行なったり、日に何度か片付け等をしている。

・朝、昼食後、おやつ後の夕方のそうじのみで、日々細かい所までそうじできないので、土曜日に取り組む等、やる日を決めて行っています。

・子どもの視座からとらえ、物をおかないなど徹底しているところです。

・手分けしながら心がけているが、人手不足で日々なんとかこなしている

◇その他・・・３件

・各園でのやり方を向上させていく。

・書類が多く手が回らない

・毎日玩具消毒している

（１０）職員の接遇・態度について　26 件

◇日頃の所作について・・・７件

・笑顔を心がけている

・対人関係の仕事である、明るいふるまい、挨拶、適切な距離感など保つよう心がけている

・親の思いに寄り添いながら話をし接するようにしています。相手の今の思い気持ちを考え話をしていくようにする（丁寧に行なう事を心がける）

・保護者対応も難しくなってきている部分があるが、園での様子をお話することで信頼関係を深められるよう努力している。

・職員同士、保護者、子どもに笑顔で挨拶、動きは大きくなりすぎず、いつも穏やかでいることを心がけている。新人職員は皆が大事に育てていくという気持ちをもつ。

・保護者の方々や、近隣の方々との接遇には全職員気をつかっている。あいさつをまずきちっとしている。

・子どもを呼びすてにせず、保護者には敬意を込めて、丁寧に誠意を持って対応している。

◇職員研修について・・・６件

・入社時のオリエンテーションで働く上での接遇や態度を伝えている。また新人職員に対して先輩職員から社会人としてのモラルについての指導もしている。一方的な指導にならない様、気持ちを聞き出しながら話すようにしている。

・新人にはオリエンテーションで社会人の心得を話しています。他にも気になる点などがある時は、その都度職員に声を掛けたり、会議で話し合う。又一年を通して人事考課を実施している為、毎年初心に戻ったつもりで記入しています。

・保護者との接し方、挨拶の大切さなどを学ぶ園内研修を行い、職員一同同じ意識で接遇できるよう気を付けている。

・本社研修や外部研修への参加。→園内での研修報告。

・職員研修や OJT を通じて、園の理念に即した対応が誰でもできるように図っている。

・e-ラーニングを使用しての研修を行い、言葉使いや身だしなみなど、特に気をつけるようにしている。

◇職員心得について・・・5件

・職員の心得について、いつでも見ることができるようミニ冊子を職員一人ひとり持っています。

・手引書を読みあう機会を設けて接遇について話しあうようにしている

・職員マニュアル読み合わせ（年に一回）

・職員心得を年に一度は確認し、新任研修として接遇を学んでいる。園内研修をしてお互いの保育の様子を確認しあう機会を設けている。保護者からご意見があった場合は周知徹底し振り返る機会を作っている。

・保護者対応、子どもへの関わり方など細かく職員の心構えとして「保育園の手引き書」の中に入れ、全職員で話し合い周知している。

◇職員環境について・・・4件

・残業がないように、園長先生が日々声をかけてくれています。

・休日も開所しているのにそれに手当もなく、資格手当てもない賃金が低い→人手不足につながっていると思う

・色々な事を求められるわりに給料に反映されない

・給与の増額を希望。

◇職員連携について・・・2件

・職員間で、困り事や悩みなど気軽に話せる雰囲気や場を作っていく。足を引っぱり合うのではなく皆で向上していけるように特に、経験の多い保育士は、気を配る。

・長く顔ぶれが変わっておらず、皆中高年なので意思疎通は◎です。

◇その他・・・2件

・必要に応じて面談を行なったり、評価表をつけたりしている。

・保育士の質が悪い（言っても改めない）

（11）病気やけがをした際の対応について　30件

◇保護者への連絡について・・・7件

・当事者から、直接説明をしている。できるだけ、他の職員が間に入らないようにしている。

・病気、ケガの際は必ず複数人で確認で行い、必要であれば保護者への連絡や病院受診も行います。万が一にそなえてフローチャートを作成し、救急車の呼び方等職員全員が出来るようにしている。

・けんかをしたときは、おきた状況や、けがの内容を保護者にていねいにつたえ、対応している。必ず全職員に周知するようにしている。

・ノートと送迎時に細かく保護者へ報告し、その後の様子も確認。

・病気や怪我は、状況によって保育園で様子を見るように、病院受診やお迎えが必要な場合はご連絡している。

・まずは速やかに保護者に連絡し対応を決めます。

・すぐに患部を確認し、その都度園長に報告する。保護者へは口頭に重ね、連絡帳、メモにて伝える。

◇職員連携について・・・６件

・職員内で対応の仕方を共通確認しながら、相談しあいながら、そのケースごとに応じて対応するよう気をつけている。

・定期的にケガや病気の対応についてシュミレーションして実践的な訓練をして全職員が対応できるようにしている。

・計画的な実践研修（全員参加）会議等での報告。各園報告周知

・緊急時対応マニュアルを各クラスに置き、会議では園内研修として実際の場面を想定してシミュレーションをして学んでいる。

・感染症の周知。姉妹園の看護師との連携。定期的な園内研修での対応等の確認。

・発生時の記録をとることや、保護者への口頭、文書でのご説明をしている。看護師、保育士の連携・役割分担に沿って対応する事が大事と考えている。

◇マニュアルについて・・・６件

・複数人で子どもの状態を確認後、経過観察、保護者連絡、病院受診等判断し対応している。連絡や病院受診の判断はマニュアルに沿って行っている。共通していずれの対応も一人ではなく複数人で行うことで的確な対応をすることが出来るよう配慮している。

・各園でのマニュアルにそってしっかりと対応していくこと。

・マニュアルに沿って対応しています。看護師に相談し、早急な対応ができるようにしています。

・幸い、現時点では大きな病気、けが等の発生はないが、フローチャートを作成、職員間で周知をはかっている。

・フローチャートを作成し掲示。散歩用バックにも入れている。

・月に１回事故想定訓練を行い、マニュアルの見直し、話し合いをしています。受け入れてくれない病院も多く、困ることがあります。

◇看護師対応について・・・４件

・看護士を必ず間にはさみ、保護者に連絡しています。

・看護士が中心となり行っている

・ケガ状態を確認し、必要な処置を行う。また、管理職、看護師に伝え、指示を仰ぎ、書類で記録を残している。

・日々、看護師と連携を取り合いながら行っている。また、マニュアル化して全職員で読み合わせを行い実技講習をして実践している。

◇病院受診について・・・２件

・子どもの様子を見て、必要であれば、受診している。

・けが、病気の状況に応じて親へ報告し病院に受診をするようにしている。（判断は看護師、園長のもと行なうようにしている）

◇その他・・・５件

・伝染病が出た場合、病気の特徴、注意点等を示したプリントを各クラスにはりだし周知する。急な熱や嘔吐等は保護者に連絡をし受診をすすめる。ケガについてはお迎え時に、状況を伝え謝罪する。病院受診の際は事前に保護者に許可をとり、基本、園の職員が引率する。

・大切なお子様の命をお預りしている責任感を持ち、ケガがあった場合、その時の最善方法で処置を行い、正直に誠意を持って説明謝罪する。

・入園時に既往歴を把握して配慮をしていく。ケガの際は全身のチェックをして見逃しの無いようにして必要があれば通院をする。保育中に視診・触診をしながら観察して具合の悪いことに気づいてあげられるようにする。保育室を離れて経過を観察し、保護者にお迎えを要請することもある。大きなけががあった場合は事故報告書を出して報告し、職員で検証をして再発防止に努めている。消防署に依頼をして毎年救命講習を受けている。

・看護師が居ないため、保育士の対応にも限界がある。知識不足も不安材料。

・裏面に記入。保育士が応急処置をした上で、医療関係者である保護者（同じ職場内）に連絡を入れ、症状を確認してもらっている。感染症に罹患した児が発生した場合、他の保護者にも周知し、自身の児の体調の変化に留意してもらう。

（12）子ども同士のトラブルに関する対応について　29件

◇保護者への連絡について・・・11件

・両方の親に伝えるようにしている

・子どもの発達やその時の状況をしっかり伝えて保護者にも理解をしてもらっている。

・その時の状況を出来るだけ詳しく伝えるよう努めている。また、シフトによってトラブルの対応者が保護者に直接会えない際は、残る職員に状況をしっかり伝達し、対応者でなくとも明確な状況説明が出来るよう配慮している。

・状況に応じて、ではあるが、親にもあった事を伝えていくこと。

・トラブルが起こった際は双方に間違いがないよう、双方の名前を上げて伝えています。双方の名前を出す理由については、保護者の方から「名前を知りたい」という要望があったからです。

・状況をしっかり把握し、経過、やりとりの様子も保護者にきちんと説明、対応をしています。

・園長先生に相談しながら、保護者に伝えるようにしています。

・年度始めに園の方針を保護者に示している。

・ケガがある場合は、両方の保護者へ報告。子ども同士で解決できることは様子を見守る。

・ノートや口答で、当日には必ず当事者の保護者に伝えている。

・何かあった際は、細かい部分まで、保護者の方にお伝えをするようにしている。

◇傾聴・共感について・・・８件

・年齢によって、対応に少しずつ違いが出てくるが、双方の気持に寄り添い気持ちをうけとめていっている

・互いの思い気持ちを聞きながら状況を考えながら対応していくようにしています。かみつきなどあった時は親には状況を細かく伝えるようにしている（両者）

・子どもたち双方の意見を拾い、双方に伝えるよう仲立ちとなり、職員全体でも状況を共有できるよう伝えている。普段から日々の子どもの行動、姿を家庭に伝えておくようにし、いつもと異なる変化がある時も状況をみて知らせている。

・年齢にあわせた、トラブル解決の対応を職員も仲立ちしながら解決に導いている。お互いの気もちを理解した上で解決に導いたり見守ったりしている。

・お互いの気持ちに寄り添いながら話しを聞き幼児は特に相手の気持ちに気づかせたり、大人の主感を主張しない

・双方の子どもの気持ちをしっかり聞き、双方の子どもの気持ちを大切にしながら対応している。ケガ、トラブルは園長と朝令報告を行い必要があれば保護者に説明

・互いの気持ちを聞いたり言葉を引き出すなど、向き合う時間を長すぎないように気を付けて持つようにしている。気持ちを言葉にしてあげ、決して大人が整理して「ごめんなさい」を言わせることの無いようにしている。

・子ども同士の気持ちを大人が理解してあげながら、子どもの気持ちを大人が代弁し関わり方を伝えている。

◇見守りについて・・・５件

・なるべく子ども同士で解決できる様に保育者が仲立ちとなって見守る。

・年齢にもよるがある程度は見守る。お互いの気持ちを聞いて、相手の気持ちもあるということがわかるよう仲介をする。ケガにつながらないよう配慮するが、ケガをしてしまった時は園での責任のもと謝罪する。学年が大きくなると相手の名前を出すようになる為、周りから伝わることのないよう園より事実の説明をすることもある。

・相手の気持ちを理解し、どうしてそれがいけなかったのか子ども自身で考えさせて見たり、年長は話し合いの中で解決するプロセスをしている。

・年齢が小さいため、大きなトラブルはないが、保育者が間に入り、必要な場合は保護者への対応も。

・自分自身の価値観だけで一方的に判断しない。お互いに言い合えている状況ならば、少し見守り介入しすぎない。入るときは、しっかりと双方の話を聞き、伝えることとそこで子どもの気持ちがどう動くかを大事にしたいと思っている。無理やり、解決させて終わりにはしない。

◇その他・・・５件

・保育補助が必要

・園内で全て対応します。

・怪我や事故につながりそうな児の動きや様子を早目に察知し、阻止・制止することで、不必要なトラブルは未然に防いでいる。

・保育中に起きたトラブルについては親同士は関与しない方が良いと思う

・園での対応を統一し、また内容は合同の

（13）子どもの気持ちを尊重した対応について　32件

◇寄り添いについて・・・17件

・子どもの気持ちになり、寄り添っている

・寄り添ったふるまい、言葉かけ。

・担当制保育を実施し、より丁寧に細やかに子どもと関われるよう努めている。

・一人一人の発達に応じて適切な対応をしている。

・子ども達が何を求めているのか、を常に考え対応している。子ども同士のトラブルでは代弁する事で子どもの気持ちを受け止め、発達によっては子ども同士での解決が出来るよう様子を見守る事もある。気持ちを尊重しつつ、育ちを促すことも考え対応している。

・子ども一人ひとりを大切にする保育を念頭に日々の保育を行っています。子どもが「うん」と首をたてにふるような子どもの気持ちに寄り添った声掛けを意識しています。

・手引書を読み合わせする機会をもち、子どもと同じ目線に立つ事を心がけ、対応について振りかえる機会をもっている。

・子どもの気もちによりそい、共感し、気もちのきりかえを行うようにしている。

・お互いの気持ちに寄り添いながら話を聞き幼児は特に相手の気持ちに気づかせたり大人の主観を主張

・伝えなければいけないことも、子どもの気持ちに寄り添いながら伝えるよう心掛けている。

・子どもの気持ちを受け止め、同じ目線に立って考えることを大切にしている。また、個々のペースを大切にし、一斉の声かけは極力していない。

・子どもの気持ちを受けとめる、頭ごなしに否定しない。こちら側が常にゆったり余裕のある対応を心がける。

・あまり上手く気持を表現できない子は個別で対応する必要がある。ゆっくり話を聞く時間が必要。

・集団生活においては、子どもの思い通りにならない場面が時として出てくる。その時は、一度子どものやりたい思いを受け止めた上で出来ない理由も伝え、今できる選択肢を見せる様努めている。そこでどうするか子どもが次へ気持ちを切り換えるまで待つことも大事だと感じているので寄りそい待つ。心の距離＝実際の体の距離と考えているので、自ら歩み寄り話をすることも心がけている。

・１人１人の子どもの気持ちに寄り添えるように個々に対応するようにしている

・切り替えを大切にし、個々の気持ちを受け止めたり話しを聞く時間を設ける。

・トラブルの際は必ず双方の気持ちも確認する

◇自主性・主体性について・・・８件

・子どもの気持ちを尊重するようにし、可能である事は聞くようにしていく。

・活動を無理強いせず、可能な範囲での個々に応じた対応。

・少人数なのでできる限り子どもの気持ちが尊重できるよう指導しています。スタッフの連携、共有が課題です。

・子どもの自主性や意欲は尊重しますが、ワガママや危険な事など「ダメなものはダメ」です。最近の風潮で言われている「子

どもの気持の尊重」には？

・子どもがこうしたい、これは嫌だ等（食べたくない、やりたくない等）等できる限り尊重していきたいとは思うが、難しい（体制上）事もある。"

・子どもの様子から伺える気持ちを言葉にしてあげ、共感する保育をしている。生活の切り替わる場面では、出来るだけ待つようにしたり、「一緒にやろう」の言葉で安心できる関係づくりを大事にし、言葉がけに工夫を持つなど普段の保育で気持ちを交わすよう心掛けている。

・子どもを主体として興味関心がある物に常にアンテナをはるようにし、遊びや考えが発展できるような援助ができるように向上していきたいと思う。

・大人の気持ちにゆとりを持ちながら、一人ひとりの子ども達の意見や気持ちを聞いてあげ大人が理解してあげるように対応している。また小さい子どもたちでも一人ひとりが違うこと、一人ひとりを認めてあげることを大切にしている。

◇自己肯定について・・・２件

・子どもの気持ちを肯定的にとらえ対応している。又、声をかけすぎず待つことも大切にしている。

・まずは受けてあげること、そして認めて？くことをする。一人一人表現の仕方は違うのでみのがさないようにしていく。そしてその表現を認め、さらにどうしたら良いかを伝えていく。

◇その他・・・５件

・当園では否定的な声掛けを禁止しており、常に子どもの気持を受け入れるよう肯定的な声掛けをしています。又、一人一人の個性や発達を職員が理解し、丁寧な関わりを心掛けています。

・本当はどうしたかったか、気持ちをくめるよう、やりたいことができるよう、人手は今後も必要。大人が足りず、慌ただしいとゆっくり受けとめられなくなる。

・臨床心理士を呼び父母、職員共催で子どもの気持ちについて連続して勉強し共通認識を持って行えている。職員が入れ替わる中では継続した取りくみになるよう努力したい。

・職員マニュアルを毎年確認したり、職員会議の中で実践報告や事例研究などをしてスキルアップに努めている

・子どもとの信頼関係を基本に子どもの発達に気づき気持ちを汲み取ることのできる保育士の育成研修に力を入れている。

（14）子どもと保護者のプライバシー保護について　21件

◇日頃の心掛けについて・・・14件

・園での出来事を口外しないよう、徹底して園長から伝えられている

・プライバシーに関しては絶対に他言するという事のないよう充分気をつけるという事を1番に考える。職員間ではその内容を充分理解するよう、対応していけるよう考えている。

・できるかぎり、トラブル等があっても子どもの名前を出さないようにしている。

・個人情報の書類は鍵がかかる場所に保管して、部外者が見る事のないよう配慮している。日頃の保護者とのコミュニケーションでも、話の中で内容によってプライバシーにかかわるような場合は場所を移動し他者に聞かれる事のないよう配慮している。

・家庭の個人情報は確実に守られるよう、個人ファイル等はカギのかかる事務所の棚に保管し、管理しています。保育以外では個人情報となる会話は避けています。

・保育をする上で知り得たことは、口外しないことは、実習生、ボランティアの学生さんにも伝えています。

・名前表記はなるべく下の名前だけにしています。書類はセキュアサンバにはいってい

・守秘義務を守りながら、ケースに対応している。プライバシーに関する書類の取扱いは厳重注意している。

・子どもや保護者の方のプライバシーに関わる話をするときには、他の保護者や子どもがいない場所を選ぶよう配慮している。

・保育所内の職員間での情報共有以外は、守秘義務を守ることを徹底。

・HPでは、子どもの写真（顔がわかるもの）はのせずそれ以外でも保護者の許可をとる。

・園外には持ち出ししない事を守っている

・同意書を提出してもらい園内に写真を掲示する旨を伝える　園内は原則さつえい禁止としている

・病気や怪我についてむやみに名前を出さず掲示することとそのことについて保護者にも理解してもらえるようにする。

◇職員間の確認について・・・２件

・知り得た情報は必要な職員のみで共有し、守秘義務は徹底している。

・「保育園の手引き書」の中にも入れ新年度は必ず全体で話し合いをしたり確認をして実行している。他でも朝礼、各クラスの打ち合わせ、会議、パートさんとの打ち合わせなどでも確認をして徹底している。

◇規定遵守について・・・２件

・小金井市個人情報保護条例に基づいて、子どもに関する情報は保育園の鍵のある書庫に入れて管理しており、外部とやり取りする際は必ず保護者の同意を得ている。保育の見える化で使用した写真の管理も同じように管理し、使用後は速やかに削除することを徹底している。職員も管理方法や個人情報保護について周知徹底されている。子どもにはプライベートゾーンの話をして、自分を守ることを伝えている。

・プライバシー保護、個人情報保護について、規定を設け保護者・職員共通の理解のもと、子ども達の権利を守るよう指導している。

◇その他・・・３件

・個人情報の取り扱いについては入園時に確認書をとっている。

・これまで守られていないことが多かったので、現在見直しをしているところです。

・利用者の情報は園長が管理しているので、私達保育者が目にする事はありません。

（15）保育内容に関する保護者への説明について　26 件

◇保護者会の活用について・・・15 件

・懇談会などで詳しく伝える

・懇談会や、連絡帳、掲示板などで伝えている。疑問となり質問を受けた時はその都度口頭で伝えている

・入園説明会より、理念や保育方針について説明を行っている。また在園児に関しても、４月に連絡会を開き、各年齢の保育方針の説明を行っている。年間カリキュラム等も保護者がすぐに閲覧できるよう設置し、保育内容についての理解をはかっている。

・見学の際に各クラスを周り伝えています。又、新入園児説明会でも園の取り組み等、スライドで伝えています。入園後は、日々伝えたり、懇談会でご説明します。

・おたよりや、保護者が集まる会等で写真や（スライド）動画を利用し説明している。全家族が参加はむずかしい為、不参加の方は会の報告をして伝えている。

・毎日のようすを連絡帳でしらせる。行事やとりくみのとき、写真掲示して紹介する。懇談会のときに日々のようすを紹介している

・個人面談、参観、懇談会での発信。園だより、クラスだより

・年度初めの懇談会にて、そのクラスの年間を通しての保育計画と大切にしている事を伝え、クラス便りで可愛い姿、成長と共に保育内容を伝えている

・保育方針やクラス目標を懇談会で説明したうえで、実践については園だよりやクラスだよりで伝え、日々の様子を写真掲示している。

・入園のしおりで案内し、入園時にも説明の時間を設けている。年に 3 回の懇談会でも保育方針・クラスで大切にしたいこと(クラス目標)を基に話して、こまめにクラスだよりを発行している。日々の子どもの様子を写真で分かりやすいよう知らせている。

・入所前の説明会でもっと園の保育特徴や内容をアピールして差別化をはかる。

・入所時に説明している。

・入園式や懇談会等で都度丁寧に伝え、理解を深められるようにしている。

・入園案内や父母会でお話しています。保護者から問合せがあれば随時お話しています。

・各クラスの懇談会、クラスだより、毎日の連絡ノート(個人持ち)、その日の保育内容をドキュメンテーションで伝えている。また、保育参観、保護者との面談などの機会を多く持ちながら伝えている。

◇お知らせの活用について・・・5件

・園だより、クラスだより、各クラスの掲示ボードなど又、個々にお迎えのときなどに伝えていっている

・各クラスに、その月の保育目標を貼り出し周知している。

・日々の活動内容で「お知らせ版」として、文章にして掲示したり、写真やエピソードも添えて掲示したり、クラス便りも発行して伝えている・こんだん会でスライドショーも行い、目で見て分かる工夫をしている。

・園だよりなどを通してお知らせ。

・クラスの月の指導案を保護者に渡し、今月のねらいや目標、配慮を理解してもらえるように配布している。また、週案も掲示し、内容がわかるようにしている。

◇しおりの活用について・・・2件

・入園2ケ月前の入園説明会で、事前に送付した入園のしおりを元に園の決まり、保育内容について説明しています。入園後4月の第二週目の土曜日に全体での連絡会を行い、改めて保育についての説明をしています。

・園のしおり・懇談会等で年間の計画をお知らせすると共に日々、写真などの掲示を行い、その日の内容をお伝えしている。

◇その他・・・4件

・今日の様子を日々の保育や年齢別活動、行事での子どもたちの様子を写真等まじえて紹介している。

・連絡票だけでなく直接話をしたり、保育の経過や結果を随時伝えるなど細目に説明を行ったり疑問質問に丁寧にこたえていく

・裏面に記入。0才児から6才児まで毎日連絡帳でその日の保育について伝えている。また、送迎時には5分程度申し送りの時間を設け、口頭で補足している。

・安心して預けていただけるよう努力している

（16）保護者の不満や要望への対応について　24件

◇傾聴について・・・12件

・主任や園長が窓口となっていて、うけている。又、運営委員会のときなどに不満や要望を伺い。

・保護者の不満・要望は聞きどこがどうしてその思いになってるかを考えその都度対応を考えていくようにする。担任で難しい時には園長対応となる。

・状況をしっかり確認をして、当事者の保育士が丁寧に対応している。

・まずは、話を聞く。保護者の方の気持ちを汲み取り、解決に向けて丁寧なやりとりを行っていきます。基本は、保護者の方との信頼関係作りだと思います。

・直接対応した担任が誠意をもって行うが、場合により園として園長が対応することもある。

・第三者委員会を開き、きくようにしています。また、日々細かく声をかけるようにしてます。

・個々の要望や不満については真摯に受けとめ、職員間で話しあい対応をしている。

・必要があれば、面談を行い配慮するよう話を聞いている。

・保育園内で窓口をもうけ、担当者を決めている。その他の保育者も日々コミュニケーションをとって対応する。

・その都度、説明、話し合いを行っています。

・あまり、聞きすぎて保育に支障がでてはいけないと思う

・園としては施設長が苦情窓口の責任者となって対応している。クラスでの取組みとしては話しやすい環境をとれるように心がけるようにしている。

◇上長への報告について・・・4件

・保護者よりご意見や要望を聞いた場合はすみやかに園長、上司に報告し、状況に応じて、面談を設けている。また、その他の職員に対しても、臨時会議を設け、情報共有を行い、より良い運営に繋げるよう努めている。

・保護者からの要望については早急に園長に報告をし、臨時リーダー会議を設け、対応策について話し合っています。すぐに解決できないこともありますが、何度でも保護者と話し合い納得して頂けるよう努めています。又、入園説明会や保育連絡会では第三者委員の存在を必ず伝え、相談して頂くよう促しています。

・担任間で処理するのではなく必ず主任→園長に状況報告、園全体として真摯に対応することを心がける。

・言われた時は、すぐに園長に伝え、保護者の方とお話して頂き、園内で話し合ったり、本部に伝えるようにする。

◇意見箱の活用について・・・３件

・苦情解決制度が利用できることを知らせ、苦情受付窓口・解決責任者も知らせて常に受け付けていることを懇談会でも知らせている。運営協議会で集約しているアンケートの回答や第三者評価の結果を参考にして対応している。園の二か所にご意見箱を設置して常時意見を取り入れられる体制であることを知らせている。

・意見箱の設置。本社との連携。

・苦情受付窓口、解決責任者を保護者には園だよりで伝え、玄関には意見箱を設置している。また、気軽に職員に伝えてもらったり連絡ノートなどでも伝えてもらえるようにお知らせをしている。

◇職員会議の活用について・・・２件

・会議で職員全体の問題として、又はケースによって延長主査主任打合せの中で考え、できるもの、できないもの、努力がどこまでできるかを誠意を持って伝える。

・保護者から意見をもらった時には職員全体で周知し話し合い、対応を考えたり、面談を設けたりしている。

◇アンケートについて・・・２件

・行事アンケートや連絡帳での自由意見、面談で直接お話しする時間をとる等の対応をしている

・個人面談、アンケート調査の把握、次年度への検討

◇その他・・・１件

・行事を増やして欲しいとの要望に応えた

（17）保護者に対する外部の苦情窓口（行政や第三者委員会）の周知について　15件

◇懇談会の活用について・・・３件

・入園説明会、保育連絡会等で第三者委員の紹介を行い、またどのような活動を行っているのか等も伝える事で、より気軽に相談しやすい関係性を築くことが出来るよう配慮している。

・入園する時、おたより、懇談会等で伝え、ポスターも掲示し、周知に努めているが、利用者はほとんどみられない。

・外部の苦情窓口については懇談会などで伝えている。

◇入園のしおりの活用について・・・３件

・入園のしおりなどで伝えたり話をして周知していっている。

・園のしおりに記載、新入園児説明会で口頭説明をしています。又、園内にも掲示しています。

・入園のしおりでお知らせしているが、周知はより広く必要。

◇お便りの活用について・・・２件

・入園時、園だよりで知らせている。

・福祉オンブズマンなどの紹介を園だよりでお知らせしている。

◇掲示について・・・２件

・保護者の目にとまりやすい玄関の壁に掲示してある。

・玄関への掲示等。

◇その他・・・５件

・周知している

・保護者からの要望については早急に園長に報告をし、臨時リーダー会議を設け、対応策について話し合っています。すぐに解決できないこともありますが、何度でも保護者と話し合い納得して頂けるよう努めています。又、入園説明会や保育連絡会では第三者委員の存在を必ず伝え、相談して頂くよう促しています。

・そういった窓口があることは知っているが周知まで至っているかという点については、把握していなかった。

・まずは苦情は園に相談して頂いています。

・保育所で対応しきれない部分などはありがたい。

②　小金井市の保育の課題や小金井市に期待するもの

◇保育士の確保・・・10件

・保育士の年齢層が高い。若い保育士の確保

・正規職員が減っていることで、従来大切にしてきた保育内容、保育の質について、伝承、向上継続されにくくなっている。人が単に足りていれば良いのではなく、子どもの成長を継続して長い目で見守っていけることや、若手職員の成長の為にも、正規職員の補充が必要。

・子どもたち一人ひとりの育ち、家庭での育児力向上のため、ていねいな対応をしている。人手がないとていねいな対応ができず、今までていねいな対応をしてきたこともへらさなくてはいけないこともでてくることが予想される。人員不足問題は、一刻も早く解決してほしい。

・人員の確保（正職不足）民営化への保護者説明、保育計画の明確化

・小金井の保育の質や給食の質を低下させないためにも、人員の確保が課題だと思います。また、公立園は施設の老朽化がひどく、子どもの安全のためにも修繕をぜひお願いしたいです。

・正規職員の減少により保育の継承が困難になっていること・職員に余裕が無くなり保育を掘り下げていく学習意欲や新しいことへの挑戦も減っていること・保護者の保育へのニーズにこたえたいが職員が足りていないことによる弊害・地域への子育て支援や関連施設との連携が漠然としていること・公立保育園のあり方、役割、今後の運営計画が整理されて展望を持つことのできる保育所運営と保育ができるようにしたい

・認証保育園、家庭福祉員、無認可保育園等、保育所が急に増えた小金井市、公立私立に関係なく職員の欠員が続いている。この状況が続く中では、上記園での待遇がせめて少しでも人が集まらない中、よくなるような施策を期待したい。子どもの貧困が多くなり、孤食が問題となっている。この２つに関した施策が行われるよう期待したい。

・ここ数年、保育所の数がぐんと増え、待機児童解消に対する期待がうかがえます。ただどこもある程度資格をもった保育士の確保が困難な面もあるのでは、と思われます。

・保育者不足の対応。小金井市で総合説明会（保育者募集）を開催して欲しい。

・園を増やすのなら保育士の人数も増やしていただきたい。子ども１人１人に寄り添う保育をしたくても、保育士が不足していたら保育の質もおとしてしまうことになるので・・・。

◇公園について・・・９件

・園庭が狭いところも多いので、散歩先で多くの園と一緒になってしまう。公園を増やしてほしい。今ある公園の設備を整えてほしい。

・小金井の人口増加とともに、子どもの人数も増えてきて、新園もできて少しずつ改善されているとは思うが、園庭が狭い、ない園も少なくはない。公園では複数の園が一緒になることもあり、近隣との関係も気になるところだ。子どもが安全安心に遊べるよう環境の点検、防犯面に力を入れて欲しい。

・線路の下に公園を作ってもらいたいです。そうする事で、夏の暑い日もあそべるのでおねがいします。シルバーセンター広場はなくさずに、また整備をしてほしい。交番前の信号が短いので青の時間をのばしてほしいです。・グレーラインの子たちに対する対応をもう少し手厚くしてほしい。園に見回りにきてもらいたいし、きらりでも 1 対 1 の対応でなく、グループ活動を見てもらいたい。"

・公園が少ない。年齢に合った遊具も少ない。交通量が多いが歩道は狭いなど不便が多いです。公園にトイレや水道もないのでそちらも不便です。夏は日影のある公園も限られ、多くの園で混雑したり十分に遊べません。

・保育園を増やすと共に公園等子どもが安全に体を動かして遊べる場所の確保もお願いしたい。園庭がない保育園同士、数少ない公園に集まってしまい、安全に遊べるか不安に感じることがある。もしケガ、事故が起きてしまった時のことも不安になる。

・公園の増設（複数の園が同じく公園に集中することがあり、充分に活動できない為）木の公園前の横断歩道への信号の設置（車通りが多くなかなか渡れないことが多い）保育士の処遇改善（仕事量、負担の多さ、給入の少なさ）

・保育所が増え、近隣の遊び場が混雑している。小さな子が遊べる施設を増やしてほしい。

・公園を増やしてほしい。子ども達の遊びが大切です。

・公園にトイレを設置して欲しい。（水道含む。）

◇環境整備について・・・３件

・駅近くの自転車よけの柵が巾広くなり、以前は通りやすかった場所がバキーで通るのが難しくなってしまいました（おそらく車椅子の方もお困りだと思います）そこを通行する全ての人のことを考えた計画を立ててほしいです。

・散歩の際、危険性を感じるので歩道の整備、信号機の設置をしっかりして欲しい。また、園庭のない保育園が多く、公園を活用しなければならない。遊具の整備、トイレの設備を整えて欲しい。

・屋外遊園の環境整備（柵の破損ヵ所の修理、砂場のゴミ除去など）（児童遊園等）

◇保育者としてについて・・・２件

・子ども一人ひとりが尊重され、子どもにとって大切なこと、必要なことを守っていく。子どもの代弁者として大切なこと、必要なことを発信していく

・保育士も保護者もお互いがお互いを尊重し、協力しあいながら子どもたちを見守っていく姿勢をとれるようにしていきたい。

◇保育の質について・・・２件

・待機児童の問題などで保育所の確保に重きを置かれている様に感じます。しかし、今一度この自分の興味関心に一番正直で様々な感覚を身につけていくこの幼児期に、子ども達にとって何が一番大切なのかを考えていただきたいです。この時期に目には見えない人の「生きる力」を養っておくことが、子どもが大きくなった時に羽ばたく力となる折れない力となることを十分ご理解いただき、それが出来る保育とは？保育所とは？を検討してくださることを、切に願います。

・①待機児童対策で多くの保育施設が出来たり、受け入れ人数を増やしたりしているようだが、保育の質を保てない施設を減らして欲しい。量より質を優先的に求めて欲しい。②市内の園児が多く利用する公園の遊具や砂場等の整備をして欲しい。壊れた遊具や衛生的でない砂場をよく目にする。

◇巡回相談について・・・２件

・支援を必要とする子や気になる様子の見られる子を巡回相談などで専門の先生方に見ていただくことができるとよりその子に合った対応が園でも行えると思うので是非巡回相談を実施していただきたい。

・加配児に対する、専門職の方の保育園の巡回。又、アドバイスをして頂きたい。

◇保護者対応について・・・２件

・年々保護者からの理不尽な要望が増えており、どう対応してらいいのか困っています。なのでそういう時に保育課の方と連携がとれたら心強いと感じます。今後とも宜しくお願いします。

・近年は「意見」と称して、個人的な要望を言ってくる家庭が増え、対応に困る。園の決まりごととして提示しても我を通す方もいるため、他園とも共通するような事柄は、役所の方でも保護者へ説明したり、対応したりして欲しい。

◇処遇改善について・・・２件

・保育士への処遇改善で給与面を何とかして欲しい

・働いている保育者のモチベーション向上のためにも市に期待することではないと思うが、給与の増額をしてもらいたい。

◇その他・・・13 件

・市立と民間保育園が一体となって小金井市の保育を考えていって欲しい。

・各園で何を大事にしてどういう保育をしているのかがわからなくなっている。もう少し明確にしてほしいと思う。

・園と市役所が、入園してくる子供の情報共有をもっと出来るといいと思う。子ども達や保護者にとってどうする事が最善なのかを一緒に考え、連携する事が出来れば、育児に悩む保護者を市役所と園で支援していく事が出来ると思う。

・保育要録を作成しても小学校の先生が全く見ないという話を聞きました。作成しなくて良いのでは？縦の連携が取れていないので安心して就学出来るようにして下さい。

・延長保育のスポット利用が出来ていないので、早期に実現されると良い。

・就労の為、保育の必要な市民だけでなく、家庭保育で息抜き（リフレッシュ）、専門的アドバイス、共育てしてくれる人の存在の重要性を考えると一時保育の事業の拡大は市民のニーズと平等性に合っている。

・経験年数が少ない保育士が多い園にベテラン保育士が指導に入ってほしい。公立職員が教えに来るなど。

・保育園の待機児の減少（0）、幼稚園の新設（小金井市に足りていない）を願みます。

・他園との交流が増えるとよいと思う。その園その園によって状況は違うので、同じには出来なくとも、とり入れられる子どもにとって良いところは各園で努力していくべきではないか。

・環境のいい保育園を作ってほしいです

・障がい児についての理解や対応ができるような研修を考えて欲しい。また障がい児と判断されていないが、集団生活に困難な様子があるような子に対して、市から巡回してくれる PT・OT などしていただけたら子の成長や小学校に向けてよりよい環境が整えられるのではないかと思う。また園での使用済みおむつは市で無料回収して欲しい。

・小金井市の保育ビジョンの明確化。保護者支援、障がい児保育、要保護児童、医療的ケアーやアレルギーのあるお子さん。それに伴いアレルギー除去食の必要性など、さまざまな支援が必要となるご家庭や子ども達が今まで以上に増えるのではないかと思います。保護者や子ども達が安心して保育や教育が保障され、定住したいと思える町を期待します。

・決められた保育時間内でのお迎えを保護者に頼みたいです。

③　小金井市らしい保育の特色として大切にして欲しいこと

◇自然・公園について・・・20 件

・都心に近いわりには、緑が多く、自然に恵まれている。この環境を市として守っていき子育てし易い環境であって欲しい。

・自然にとても恵まれているので、その自然を大事にしてほしい。子ども達がたくさん体験できる場を充分に残してほしいと思う。

・小金井公園など、自然とふれあえる環境もあるので、子ども達が自然とふれあえる街づくりを大切にして欲しい。・地域で農家をやっていらっしゃる方がいるので、そういった地域の方と連携して保育を進められるような街づくりを大切にして欲しい。

・自然に恵まれた環境で保育ができるよう、園庭がない保育園が増えていることもあり、公園が増えたら良いと思います。また、子どもと丁寧に関われるよう、保育の人員の水準を下げないでください。

・豊かな自然の中で体を動かしたり季節を感じることが出来、十分な外遊びができること・子どもが自分で考え行動できるように考えられているカリキュラムと保育者の働きかけ

・農地が住宅となり、住宅も細切れになり緑が減ってきている中、畑や緑の維持、自然を生かした公園の維持をしてもらい、子どもがのびのびとすごせる環境を大切にしてほしい。コンクリートだらけの中では大人も心がすさんでいく気がします。

・小金井市の保育の特色はあるのだろうか。何を大事にしてほしいのか、小金井市の自然特に野川や小金井公園に行く機会をもっと増やしていってほしい。

・緑や自然が豊富で公園もたくさんあるので、その中で四季を感じながら戸外遊びができること、とても良いことだと思います。自然豊かに遊べる場所の整備など今後もお願いしたいです。

・駅前にマンションができ、今後更に人が増えるが、遊び場もない、園庭もない園など不安ばかりです。又、働く保育者たちのケアもしてほしい。サービス業となっている。園や公園もつくれば良いではなく、良質なものにしてほしい。

・恵まれた自然を大切にし、子どもたちがのびのびと遊べる事。整備された公園だけではなく自然のまま残せるところは残し子どもが自然にふれあう場所を大切にして欲しい。

・小金井公園や武蔵野公園など、自然が豊かなので園外遊びを大切に充実できるようにして欲しいです。

・緑が多い（野川）、四季を感じられる木がある、畑がある環境の中で保育ができること。

・緑、公園と自然が残っているので、自然や季節を感じながらの保育を忘れないといいと思う。子ども時代に感じる素直な感性を大切にしてほしい

・小金井の一番の特徴は豊かな自然環境があることだと思います。だからこそ、多くの野外保育、野外活動の団体が存在し、保護者も外で過ごすことの大切さを気付き始めているのだと感じます。外遊びで子どもが主体的にあそび、育つ環境を、豊かな自然の中で快・不快も合わせて子ども自身が直接目で肌で耳で鼻で口で全身で感じて、感性豊かに育っていく保育こそが小金井の保育であると是非そうなって欲しいと願っています。保育園・幼稚園無償化の流れで金銭の面だけで選ばれない対象外の保育施設が出ないよう、子どもの育ちにとって必要な保育所が正しく選ばれるようルール作りも併せて進めていっていただきたいです。

・自然豊かなので保育施設が使いやすいようにしてほしいです。（有料施設を保育施設は無料で使用できるなど）

・自然が豊かな公園が小金井にはたくさんあるのが幸せなことだと思います。子ども達がのびのびとすごせるような保育園作りをして下さい。小金井には畑もたくさんあります。旬の野菜にこども達が接することができ、食育の環境にはとてもいいと思うので、農家さんと連携して保育ができたらいいなと思います。

・自然に多く触れ、自分でやってみようと思って選んで取り組むことができる環境・保護者とのつながり。

・自然を残し、自然に触れられる保育・安全に戸外活動を十分に充実されることの出来る環境作り。

・自然の中でのびのびと健やかに保育生活が過ごせるように公園をたくさんつくって欲しい。保育時間が延長している傾向であるが保護者と子どもたちの関係の希薄性が感じられる。保護者との時間がとれるような取組みを市として考えて欲しいと考えます。

・たくさんの園が散歩を楽しむ様子が見られ、豊かな自然も嬉しい限りです。工事が多い事もあるのですが・・・公道が子どもにとって歩きやすいと嬉しいです。

◇環境整備について・・・４件

・自然が多いからこそ、ゴミやたばこがあると目立つし、子どもにとっても良くない為きれいで安全に遊べる場所を大切にして欲しいです。

・自然とふれ合う機会が多く持てることが特色と言えるので、公園や歩道の整美を続けてほしいです。

・自然の中で伸び伸びとできる環境を整えていってほしい。

・緑の多い小金井市なので、子どもが自然に多く触れ合える保育の提供を引き続き大切にして欲しい。市としては、その環境の整備に努めて欲しい。

◇保育の質について・・・２件

・子どもの気持ちや経験してほしい事を一番に考えた保育内容、行事つくりを考え、日々の生活を大事にした保育。

・子どもたち一人ひとりにあわせたていねいな関わり方、保護者との信頼関係を構築し、園と家庭とで連携して子育てを支援している。ベテランから後輩へ、うけつぐとともに職員全体で学び合い、さらに向上していくことにつとめていきたい。

◇保育士・職員の確保について・・・２件

・各クラス補助の保育士を必ずつけて欲しい。※１才クラス→子供６人対保育士 1 人は危険です

・給食職員の充実（正職不足）3 品の食事提供は小金井市がほこれるもの。小金井市らしい保育の特色として何をもって示しているのか説明してほしいくらい職員体制は厳しいものです。

◇お泊り保育について・・・２件

・お泊まり保育（他市ではほとんどやっていない）等、代々受け継がれている行事をこれからも続けていきたい。良い保育は伝承していきたい。

・小金井市の公立園でしかやっていない年長児のお泊り保育や自然がまだ多く残されているため身近で子ども達が、季節の移り変わりを感じながら日々、自然に囲まれて遊んだり、さまざまな体験ができることは子ども達の成長には欠かせないことです。子ども達は自然の中で沢山のことを学びます。そして保育園でも季節ごとの行事を子ども達には大切に伝えています。このように、季節ことの行事やその由来など子ども達には引き続き伝えていきたいと思います。・異年齢保育は同年齢では見られない子ども達の成長や姿がよくわかります。(同年齢保育を否定しているわけではありません)同年齢の中では、なかなか馴染めない子どもや子ども達同士で認めてもらえない子ども達がいる中、異年齢保育の中では、他年齢の子ども達から好かれ、憧れをもたれ、認めてもらえることで自信がつき自分らしさを出せる子ども達がいます。自分もやってみたら出来た、自分も認められた、自分もこのクラスの一員なんだという気持ちを幼少期の頃から体験することを大切に育ててあげたいと思います。

◇その他・・・７件

・小金井市らしい保育とは何ですか？

・いろんな特色の保育所があるが、子どもが主体であることを一番に考え、あそびを通して学んでいける場であって欲しい。自然が多い小金井市、子どもが思いきり遊べる整った美しい環境を保って欲しい。

・他市に比べて、給食面は、一日のメニューの種類が豊富。子どもの食育にもおおいに役に立っているので、是非この質は落とすことなく、継続していってほしい。・正規の担任が複数配置されていることで、様々な公園や野川、遠くの場所へも散歩に週 2～3 回は行くことが可能。自然に多く親しめ、子どもたちの体力作りにもつながっているので、散歩に行ける機会確保できるよう、常に職員の確保を。

・どんな日でも参加できるような’場’があると、子ども同士の関係の広がりもありおもしろいと思います。？す、辺子正以外も仲間に入れてください！保育者同士の交流もしたいです。

・緑が豊かで子育てしやすい環境であるのだから保育園近隣住人の理解を得られるよう子育て世代以外もまきこんだ保育イベント等

・地域のつながりや自然の多さには保育の面でも特に良い影響があると考える。これからも大切にして欲しい。

・家賃補助はありがたく生活の支えになっているので続けていってほしい。

（３）保護者への簡易アンケート集計結果

①　第三者評価の調査項目

（１）保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っていますか　　　　　　２５件

◇心身ともに発達・成長している・・・５件

・入園してから体力が付き、言葉をたくさん覚えました。園のお陰で順調に成長しています。

・日々親と 2 人ではできない体験をしており成長に役立っています。自立したと思います。

・子供が健やかに育っているため。

・リズムができたことで心身が安定したように思う

・お友達や先生方との関わりの中で、とても良い刺激を受け、入園から大きく成長できています。

◇様々な活動がある・・・３件

・毎日新しい発見があり、楽しそうです。
・小規模ですが、よく工夫されて活動をしてくださっています。
・色んな公園に連れて行ってもらってます。

◇社会性がある・・・２件

・保育園に行くようになってから声や動きが変わった。1 人でなく友達と接する事ができるのも良いと思う

・保育所に通っていない子供と比較し、社会性に富んでいる

◇できることが増えた・・・２件

・保育園でやっていることを家でもよくします。自分でできることが増えているのがわかります。

・入園時は手づかみ食べができなかったけれど保育園での練習がきっかけで出来るようになりました。保育士さんたちの協力もあり、つかまり立ちもできるようになった

◇友達との関わりがある・・・２件

・お友達と接する機会が増えるため。

・第 1 子で兄弟がいなく、近い年の子と関わる貴重な環境のため

◇まだ不明・・・４件

・まだ通園したばかりだから分からない。

・まだ日が浅い為

・４月から入園したため、まだわかりません

・０才なので、まだよくわかりません。

◇その他・・・７件

・個々の状況を見極めて指導してくれる

・毎日公園で楽しく遊べているようです。

・保育参加する機会が無く、よくわかりませんが、ノートを拝見するかぎりは良いと思います

・小規模でアットホームな雰囲気があり、一人一人をよく見て対応してくれていると思う。

・小さい子のお世話をするようになった。

・まだ分かりませんが、出来ることが少しずつ増えている感覚はあります。

・０才の中で１番大きいので、０才だけだと少したいくつしそうです。

（２）保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていますか　20 件

◇遊びが充実している・・・９件

・興味や関心を持って遊んだりしている様子を知れたから

・おもちゃなど楽しそうに遊ぶ為

・自宅では用意できないおもちゃなども用意してくれている。色々やってみることを見守ってくれているように思う

・おもちゃや公園での活動など、発達に沿って適切に選択されている。

・楽しげな写真がいっぱいある

・屋内・外の活動もたくさん実施して頂き、遊びだけでなく食育も取り入れて頂いています。

・雨天時でも、工作などの室内活動を行っている。

・季節の歌を歌ったり、外での身体の動かし方も自由にやらせてもらっているのでどんどん発達しています。

・子どもの様子をしっかりと見ていてくれて、お散歩へ行ったときも、子どもが好きなものを使って遊んでくれています。

◇行事が充実している・・・２件

・リトミックや食育を行っており、子共はよく園で覚えた歌を家で歌っています。
・季節ごとの行事（おひなさま、クリスマス等）やお誕生会があり楽しくすごせています。

◇楽しく生活している・・・２件

・「保育園楽しい？」と聞くと「うん！」と嬉しそうに答えてくれます。
・実際に見る機会が少ないが、楽しそうな様子で話してくれるので。

◇まだ不明・・・３件

・活動内容まで詳しく見ていない為。

・まだ１ヵ月も経っていないのでわかりません。

・４月から入園したため、まだわかりません

◇その他・・・４件

・たくさん遊べているよう。ただやはりせまい空間なので限界がある。特に 0 才クラスはせまい。4・5 月生まれの子には厳しい。
・保育参加する機会が無く、よくわかりませんが、ノートを拝見するかぎりは良いと思います
・小規模でアットホームな雰囲気があり、一人一人をよく見て対応してくれていると思う。
・子供にも好みがあり、興味のある事柄やそうでないものもある

（３）提供される食事は、子どもの状況に配慮されていますか　25 件

◇きめ細かく配慮されている・・・８件

・食事については色々と配慮してもらったり、教えてもらったり、大変満足しています。

・ミルクが進まないことに関して温度調整をこまめにしてくれた

・毎日写真で見せてくれるが離乳食の進み具合に合わせてくれている

・子どもの様子をみて内容を検討してもらっています。

・入園当初 1 才をすぎていたのに食が進んでおらず、9 ヶ月の子供用の食事にかえてもらえました。

・離乳食からよく配慮いただいています。

・個々の子供の成長、体調に合わせ、担任の先生、栄養士の先生が常に細やかに対応して下さいます。

・食事の段階（離乳食の）毎になっている様ですし、おかわりもできて量も子供毎に合わせられるので。

◇適量である・・・５件

・最初は少なかったが、お願いしたら適量にしてもらえた
・よく食べる子ですが、毎日おかわりをさせてもらっています。
・「おかわり」制がとられているので、娘も満足している。
・いつも柔軟に対応して頂いています。おかわりなどもさせてもらって安心しています。
・毎日残さず食べている。

◇多様なメニューである・・・３件

・行事に合わせたメニューを提供される等助かる。
・色々な物を食べさせてくれ、ありがたいです。
・基本和食なので家で出さないものもあり、ありがたいです。

◇献立に不満がある・・・３件

・給食センターのお弁当なので、揚げ物が多く、野菜が少ない。
・お弁当なので、味付け、内容をみると必ずしも子どもに合っているとは思えません。
・給食センターから届く食事のため、大きい子に合わせた食事内容で揚げ物メニューが多く、小さい子には食べにくい部分と栄養バランスに不安を感じます。

◇まだ不明・・・３件

・実際の食事を見たことがないのでわからない。（メニューは知っていますが）
・献立は頂いていますが、それがどの程度の量なのか分からないからです。子どもの食べている様子も見たいです。
・実際に見えないので

◇配慮されている・・・２件

・保育参加する機会が無く、よくわかりませんが、ノートを拝見するかぎりは良いと思います
・概ね配慮されている

◇その他・・・１件

・チョコレートを食べさせていなかったが、保育園でチョコレートケーキがでていてびっくりした。やめてほしいとは思わないが感想

（４）保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっていますか　20件

◇自然とのふれあいがある・・・９件

・花や虫の名前を覚えたり、2 才になってよりお友達との関係も深くなりました。
・草花や虫に対する興味がとてもあります。
・天気がよければほぼ毎日散歩があることが一番嬉しいです。雨があがれば午後にと柔軟です。
・保育参加する機会が無く、よくわかりませんが、ノートを拝見するかぎりは良いと思います
・保育園の近くに大きい公園がたくさんあり、緑や花、昆虫などに触れる時間が多いです。
・公園ではのびのびと自然とふれあいながら過ごしているのが分かる。
・野川沿いのお散歩で、虫や魚に触れることが出来ていると思います。
・いろいろな公園に行って虫や鳥、花などと触れ合っているようです。
・毎日のように公園など外遊びさせて頂いています。

◇地域交流がある・・・２件

・毎日地域の公園へ連れていってくれる。ハロウィンの際は商店街の方などと交流している。
・毎日のお散歩で自然に触れたり、近所の農園でのイモ掘りを通して地域社会との関わりも作って下さっています。

◇その他・・・５件

・毎日のおさんぽの様子からそう思った。
・公園や消防署へ頻繁に連れていってもらっています。
・外遊びも季節に合わせた遊びをしていただいている。
・日々の保育の中で、とても丁寧にかつ愛情をもって接して下さっています。親としても家族のように親身になってくださる園にとても信頼しております。保育の内容も手作りを重視され、1つ1つ可愛らしい作品などを作ってくださいます。とても感謝しております。
・お散歩で公園に行ったり、雨の日はJAの施設へ遊びに出かけるようですので、一応あると思います。

◇まだ不明・・・4件

・まだ日が浅い為
・まだ入所後間もないため自然との接点は少ない。社会との関わりも同様
・月齢低く、まだ周囲に散歩に行くていどのため不明です。
・まだ年れいが低いので、朝1回のお散歩時間に眠ってしまうことが多い。

（5）保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されていますか　23件

◇不十分なところがある・・・7件

・育休中の方は、16時か16時半まで（ほんとうは、もっと長くあずけたい）おむかえと言われたが、それ以外は対応して頂いている。
・兄の保護者会などにも子どもをあずけて見ていただけて大変助かっています。GWの4/27（土）は保育ができないということで勤務を変わってもらうことを調整しなければならず困りました
・慣らし保育中、1週間以上9：00～10：15までという状況が続き、他園に比べて非常に短く、慣らし保育も長く感じた。市としてある程度決めてもらえると、不満を感じなくて済むと思う。
・前日までに書面での提出が必要とのこと。メールや電話にて受けつけていただきたいです。
・土曜保育が急になくなり困っている
・結果的に対応して頂けているものの、申請ルールが厳しく、柔軟では無いと感じます。
・週5日預けていますが休日にどうしても仕事が入ってしまいその週は週に6日預けてもよいか相談したところ結局は預かってくれましたがイマイチな反応をされました。市の方から言われているとの事でしたが毎週といっているわけではなくその日たった1日だったのにダメなのかな？とぎもんに思った事はあります。仕事なのでもう少し柔軟に対応してほしかったです。

◇まだ不明・・・4件

・まだ日が浅い為
・まだ入所後間もないため不明
・まだ慣らし保育中なので不明
・まだ慣らし期間なので不明

◇対応してもらえなかった・・・3件

・年度が変わるタイミングまで、変更を受け付けてもらえなかったです。他のご家族では、変更できる場合もあったりで、理由がよく分かりませんでした。
・こちらが希望する朝一からの保育を断られました（その時間から預け入れを希望していたのは我が家のみ）。母の体調不良も考慮して頂けませんでした。数か月に1度の突発的延長は対応して頂いています。
・通常保育時間内でお迎え時間を今までより15分遅くして欲しいと申し出たが認められなかった。

◇直前でも対応してもらえる・・・3件

・突発な残業なども快く「気をつけておこし下さい」と言ってくれるので助かります。料金も30分500円位なので、わかりやすいです。
・急な延長保育も対応してもらえる。
・少々の時間変更は直前でも快く対応頂いています。

◇SNSで柔軟対応してもらえる・・・2件

・LINEでいつでも連絡がとれる

・LINE での連絡が出来るので助かってます。

◇その他・・・４件

・家庭の状況を良く理解して下さり、同時に子供の状態とのバランスを考え、密に相談に乗って下さいます。

・本当に柔軟に対応して頂き助かっています。

・対応してもらえている。

・他の子供の保育時間の範囲では柔軟

（６）安全対策が十分取られていると思いますか　　　　　１８件

◇不安なところがある・・・６件

・ただバルコニーのとびらがすこし危なそうで心配です。

・園内に動物がいることや、よく外へ散歩なので完全に安全か？と聞かれれば少しギモンがあるかも

・入り口のセキュリティがどの程度万全かは不明。(一応インターフォンで開閉しますが)またガラス戸なので、やや不安あり。

・デイサービスの方とも関わっているのでどこまで安全対策が取られているかわかりませんし不安も多少ありますが、今のところ問題は一度もありません

・園内にゲートなどで事故防止はされていますが、衛生面に少々不安があります。オモチャや布団など子どもが使うものの消毒や除菌はきちんとされているか

・セキュリティという意味ではリスクが高めだと思います。保育内容では問題ないです。

◇不十分なところがある・・・４件

・たまにぶつけた、はさんだ等の報告を受ける（見ていなかったなど）

・新しい園ということもあり、設備という点で、まだ十分ではなく思います。

・遊具の扱い方について危険を察知していない事が伺える。（子供の危険な遊びに対し注意しない→子供がケガをする）

・１才児クラスの頃、一時期頻繁にケガが多く、やや心配になった。（階段から落ちた、ブランコから落ちた等。いずれも大きなケガではなかったが、打ち所が悪かったらと心配だった）

◇その他・・・８件

・園での様子は見たことがないから

・取られていると思う

・いつもきちんと整理整頓されているので危ないと感じたことはありません。

・今のところ問題ない

・保育室は整頓されており、安全。避難訓練も定期的に行っている。

・施設設備だけでなく、常に保育者側のサポートが手厚くなされています。

・大人が多く、みんなが見守ってくれているのを感じます。

・基本的には配慮されていると思います。

（７）行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分ですか　　　　　１６件

◇行事が少なく良い・・・５件

・大切な保護者会や災害時の訓練程度で非常に助かっています。

・行事の数自体少なく、予定を調整しやすい。

・保護者参加のイベントが少なく、父母会や役員決めもないので助かっています。

・保護者が何かをすることが無いので、助かります。

・行事（保ゴ者参加型）がなく、逆に助かっています。子ども達だけでも充分楽しそうです。

◇まだ不明・・・３件

・まだわかりません

・まだ行事はないので。

・保護者の関わる行事が全くないのでどちらとも言えません。子供たちには季節に応じた行事があって楽しんでいます。

◇早めの通知が良い・・・２件

・前もって日程をお知らせ頂いているので、困ったことはありません。
・早いタイミングでお知らせ頂けるので調整しやすいです。

◇行事を増やしてほしい・・・２件

・行事がほとんど無いのが残念です
・行事がほとんどないです。せっかくなので、多少あっても良いのかなと思います。

◇配慮がない・・・２件

・保護者が平日の日中で、会社を休むのが当たり前な感じでした。土日の設定がムリだとしても、せめて平日の夕方以降にしてほしかった。

・行事が仕事と重なる平日昼になる。

◇その他・・・２件

・良心的な設定をして下さっています。とても参加しやすいです。
・基本的に土日でありがたい。兄弟ともにコスモで兄が進級して別のコスモに行きました。行事の日程がかぶるのでズラしてもらえるとありがたい。

（８）子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係がありますか　　　　　　１８件

◇安心感がある・・・４件

・逆に、不信感を抱いたことはありません。

・信頼して子供を預けられている。

・とても親身になって頂いています。安心しています。市の保育課よりずっと親身になってくれます。

・安心して預けることができます。

◇日々の会話がある・・・４件

・1対1で、たくさん話したりアプリを通じてやり取りしてくれる
・今のところ問題ないです。毎日きちんと状況を教えてくれます
・日々話す時間があります。
・その日あったことを毎日丁寧に話して下さっています。

◇毎日の連絡帳がある・・・３件

・連絡帳に丁寧に書いてくれる。
・毎日の連絡帳で、こちらの要望など伝えるようにしています。それに対してきちんと配慮してくれています。
・はじめは手書きの連絡ノートがめんどうでしたが、先生との交換日記のようで子どものようすもわかり、先生へ信頼をもてるようになった

◇今のところ、まだ不明・・・３件

・今のところそう思います。

・今のところ

・まだかよい始めたばかりなのでどちらともいえません。

◇その他・・・４件

・姉の時にも利用
・子供だけでなく、両親や他の兄弟の事も考えて下さり強い信頼関係が築けています。
・すぐに連絡いただけてたすかります
・保育所は問題なしです。夫とは意思疎通が取れていない気がします・・

（９）施設内の清掃、整理整頓は行き届いていますか　　　　　　　　１８件

◇きれい・清潔である・・・９件

・こまめにそうじをしているのを見るから。
・全体は見えませんが見える所はきれいです
・整理整頓されており清潔です。
・とてもキレイです。
・保育室は整頓されており、安全。避難訓練も定期的に行っている。
・施設内はもちろん、園周辺も含め、いつもきれいにして下さっています。
・毎日、迎えに行くころは清掃されています。
・とてもキレイ。
・いつもきれいです。

◇行き届いていない・・・３件

・砂やほこりが目立つ時が多い
・床や水回りが汚く感じることが多い、玄関も
・若干、汚いです。

◇まだ不明・・・３件

・中に入る機会がないので不明。活動の記録写真では問題ないように感じる。
・中に入れないので、入り口以外の清掃程度は不明です。
・室内に入ることがないので不明です。

◇気になる箇所がある・・・２件

・不潔な印象はありませんが、衛生面が気になります。
・室内で動物を飼っているため、色々ありますが、逆に良い環境だと思ってます。

◇その他・・・１件

・基本的にはキレイだと思いますが、先生の清潔感（臭い・・・）にギモンを持つ事があります。（一人）

（１０）職員の接遇・態度は適切ですか　　　　　　　　１９件

◇親切丁寧である・・・７件

・きもちよく対応していただいています
・親切丁寧です。
・子供と共に家族に対しても常に優しく、同じ目線でいて下さっています。
・親切に対応していただいていると思います。

・子供は先生たちが大好きです。親もいつも親身になって頂き、信頼しています。

・皆さんとても優しいです。名札など全て無いので園長先生以外名前を全く知らず・・・残念です。

・皆とても丁寧で優しい印象があります。

◇適切ではない・・・３件

・保護者の見えない所で子供に対し罵声を浴びていた。保育者同士で子供のいる前で陰口をしていた。

・施設長は”園の都合”（例：シフトを理由に対応×等）を優先する言い回しが多く気になります。言い方にギモンを持つ方が多い

・子どもの名前を呼び捨てにしているのが気になる。親しみの表現なのだろうとも思うが、呼び捨てにされている子、されていない子、がいるとその区別は何なのかと思う。また親の前ではくん付けで呼んでいるので、親がいない間は呼び捨てにされているのかな、とかいろいろ気になる。

◇話しやすい・・・２件

・明るい職員が多く、話しやすい。
・ベテランの保育士さんが多く、何かあれば相談などもしやすく、話しやすいです。

◇連携されている・・・２件

・職員全員で把握されているような環境でありがたいと思っています。
・みなさん（担任以外の方も）きちんと対応くださいます。きちんと引継がれていると感じます。

◇その他・・・４件

・初期は伝達不足なところがあったが、日に日に改善されている。
・時々、降園時はちょっとお忙しそうです。
・安心して預けることができます。
・職員によりけり

・あまり見えないので。

（１１）病気やけがをした際の職員の対応は信頼できますか　２２件

◇きめ細かい報告がある・・・８件

・少しの変化も心配してくれる。報告も必ずしてくれる。

・どういう状況でけがをしたのかや、ケガの処置法など詳しく説明して下さるので信頼しています。

・小さなみみずばれでも報告があり、こちらが驚くぐらいです。

・親も気づかない小さなケガにも気づいて教えてくれます。

・いつも丁寧に説明があります。

・きちんと教えてくれる。

・何かあれば、連絡が入る。

・小さなことでも報告いただいています

◇適切な対応である・・・５件

・保育時間中、一度、顔面から転んで口の中を切った時、歯医者にすぐに連れて行ってくれ、対応がありがたいと感じた。ただ、その時の園長先生と変わってしまったので、今後も同様の対応してくださるかはやや心配。
・軽いケガであれば処置をしてくれる。
・迅速かつ適切に対処して下さっています。
・子どもが熱性けいれんを起こして入院したときこちらの様子を聞いて下さって、子どもの状況を優先して対応してくれました。
・きちんと対応頂いています。

◇まだ不明・・・８件
・まだ大きなものはないのでわかりませんが今のところは問題ありません
・まだそのような状況になっていないので何とも言えない
・まだ始まって１ヶ月未満ではわからない。そもそもアンケートの時期がおかしい
・まだその機会がない。
・まだその状況になっていない。
・今のところ特にけがなどないので。
・病気やケガをしたことがまだないのでどちらともいえません。
・まだ経験がありません

◇その他・・・１件
・けがをするのは仕方ないことですが、報告を受けることはほとんどない。

（１２）子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できますか　　　　　　　２３件

◇まだ不明・・・１８件
・まだそのような状況になっていないので何とも言えない
・まだ始まって１ヶ月未満ではわからない。そもそもアンケートの時期がおかしい
・まだないから分からない
・まだ経験したことがない
・まだ実？がありません。親同士の直接やりとりを禁じているので良いかと
・トラブルが起きたことを聞いたことがないのでよくわかりません。
・まだ無い為わかりません
・まだその機会がない。
・トラブルがあると言われたことがないためわからない。
・去年は０才クラスでまだトラブルもなかったので
・トラブルが起きてない
・今のところあてはまりません。
・月齢低く、まだ不明です。
・未だありません
・あまり状況が見えてこない。
・まだ経験がありません
・トラブルの報告を受けたことがないのでわかりません。
・ほとんど聞いたことがないので。おそらくないのだと思いますが。

◇その他・・・５件
・子供間、家族間でトラブルにならない様、細やかな配慮が感じられます。
・ケガがあった時以外聞くことはありませんがうまくいっているようです。
・何かあれば、謝罪があるから。

・特にトラブルで困ったこともないし、他の親ごさんから聞くこともありません。
・ケガの恐れがある時はきちんと対応していると思う

（１３）子どもの気持ちを尊重した対応がされていますか　　　　　　　１４件

◇まだ不明・・・６件

・まだ始まって１ヶ月未満ではわからない。そもそもアンケートの時期がおかしい
・まだ日が浅い為
・おそらく問題ないと思いますがまだ間もないので不明です
・まだ無い為わかりません
・わかりません。
・まだ経験がありません

◇先生になついている・・・４件

・先生大好き、先生に後追いしている。
・子供もとても先生になついています。親のかわりにしつけがされています。
・毎日子供が〇〇先生と～した。と話しているので。

◇その他・・・５件

・一人一人の発達段階に合わせて色々対応して下さっているようです。
・小規模ゆえ、一人ひとりをよく見てくれる。
・常に親と同じ目線で子供を思い、接して下さっています。
・個人個人にあった保育をして頂いてとても感謝しています。
・（当然ながら）日中の保育の様子は見れないので実際はわかりませんが、恐らく適切な対応をしてくださっていると思います。

（１４）子どもと保護者のプライバシーは守られていますか　　　　　　９件

◇守られている・・・６件

・いいと思います
・他のご家庭のプライバシーについて聞いたことがないので、守られているのだと思います。
・しっかりと対応して下さっています。
・今のところプライバシーが守られていないと思うことはないので。
・特に問題を感じたことはありません。
・特にきになったことはありません

◇まだ不明・・・２件

・まだ始まって１ヶ月未満ではわからない。そもそもアンケートの時期がおかしい
・正直分からない

◇守られていない・・・１件

・園長先生が話の流れの中で親の職業を勝手にお話しされていたことがあり、もう少し配慮してほしいと思った。

（１５）保育内容に関する保護者への説明はわかりやすいですか　　　　　　１６件

◇連絡帳による説明がある・・・５件

・連絡帳に詳細を書いてくださるのでわかりやすいです。

・連絡がシステム化されているので、見やすくなくすこともないので助かっています。

・連絡帳に活動を書いてもらえる

・連絡帳やおたより、Facebook でわかりやすく伝えてくれる。

・連絡帳や、日々会話する中で感じます。

◇毎月のお便りがある・・・３件

・毎月のおたよりや保護者会を通して、わかりやすく伝えて下さっています。
・月一の新聞で一応理解できます。
・毎月のおたより、毎日のおたより帳等でていねいに説明頂いています。

◇分からないこともある・・・３件

・具体的なこと（1 日の活動の詳細）までは分からないこともあります。
・毎日教えてはくれるが、細かい説明までは聞いていない。

・あまり細かい説明はないように感じます。

◇その他・・・３件

・わからなくても聞けば答えてくれそうです
・今日あったことや食事に関することをこまめに教えて下さいます。
・相談にのってくれる
・たまに忙しいのか伝達事項がもれることがある

・自由。特に何か説明されたようには（入所時以外）記憶していません。

（１６）保護者の不満や要望に対応されていますか　　　　　　　１５件

◇まだ不明・・・７件

・そういう場面がまだない

・不満や要望をあまり伝えた事がないので今の所は不明です

・まだない。

・現状さほど不満がないので分からない。

・今のところあてはまりません

・不満や要望を伝えていない。

・伝えたことがありません。

◇柔軟な対応である・・・３件

・要望を伝えた際、すぐに対応してもらえた。

・常に臨機応変に対処して下さっています。

・何か希望・要望があれば気軽に伝えられ、対応可能であればすぐ対応してくれます。・おもちゃや公園での活動など、発達に沿って適切に選択されている。

◇対応してもらえなかった・・・２件

・預け入れ時間の件のみ不満です。毎日母一人に送迎の負担がかかることになってしまいました。仕事の始業時間は選べないので始業時間が同じくらいのご夫婦と比べて不公平感を感じます。

・土曜保育が急になくなり困っている

◇その他・・・２件

・5.でも書きましたが、対応してもらえる場合と、理由も分からず先送りされる場合とがあります。

・立場が違うから

◇その他・・・１件

・なるべく応えようとして下さる姿勢を感じます。

（１７）外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられていますか　１８件

◇覚えていない・・・６件

・聞いたかもしれないのですが失念しました。

・入園時などに説明があったかもしれませんが、特に記憶にありません。

・最初に伝えられたかもしれないが、はっきり明示はされてない。

・伝えられているかもしれないが、記憶に無い

・あまり説明を受けた記憶がない

・記憶にない

◇説明を受けていない・知らない・・・４件

・知りませんでした。

・特に、説明はありませんでした。

・どこかに書いてあるのかもしれませんが、知りませんでした。

・知りませんでした。

◇説明があった・・・２件

・面談時にあった。

・入園時にご説明頂きました。

◇その他・・・５件

・外部ではなく、保育園ママ同士で相談してます。

・特に苦情なし

・外部の苦情窓口があることを広報するのは行政の役目です。しっかり働いて下さい。

・土曜保育の件で知りたい

・保育料の値上げに納得できる説明がない。行政は不誠実で横暴だ。